



P D F 版

霽和辞典

かえる 編

塾
己
谷
部

雫和辞典

二〇二六年九月一日 発行

かえる / kaeru2193 編

160 150
 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔
 盤 皿 戰 軍 兵 乘 越 跳 走 脚 長 遊 伴 等 恨 基 立 粒 粉 米
 84 70 73 84 116 170 8 13 174 175 7 47 125 137 14 141 23 53 102 48

180 170
 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔
 地 仁 掬 曉 透 能 画 做 座 隣 姊 代 旭 巾 交 丘 川 熱 体 数
 153 157 54 129 143 172 95 156 126 128 19 164 26 164 177 102 160 98 113 129

200 190
 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔
 田 秒 分 刻 千 百 十 零 九 八 七 万 森 僻 静 央 啊 压 追 昇
 56 140 18 56 43 69 39 76 162 145 44 182 168 180 106 116 182 130 168 48

220 210
 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔
 骨 鉄 固 硫 黄 礬 輕 銅 銀 金 箔 泡 瑠 石 尿 清 宗 如 何 永
 117 157 124 157 44 129 85 22 42 111 15 89 25 158 85 94 132 143 122 152

240 230
 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔
 止 香 鼻 苦 乳 子 糖 齒 尻 通 糞 藥 医 穩 笑 創 痘 包 痛 病
 104 19 98 45 38 16 143 179 59 108 12 180 17 179 41 141 101 80 137 57

260 250
 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔
 温 杖 杯 樂 帳 求 席 椅 机 機 車 高 瓶 粘 琥 板 美 乙 甲 重
 40 21 69 166 94 113 175 150 140 182 32 177 104 174 5 147 37 172 77 171

280 270
 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔
 暗 憤 危 奏 貨 多 湛 与 結 信 宝 技 働 団 衣 船 報 知 声 音
 35 17 69 24 4 50 40 41 136 18 5 106 6 71 118 60 172 23 173 27

300 哇 丫 蚩 楓 邛 墨 迨 公 卒 夏 雲 覓 壹 荒 煥 遜 付 叁 柘 罗
 法 岐 消 違 被 福 遍 由 模 事 態 帝 壁 架 古 夫 母 守 訓 隱
 174 56 122 152 25 157 1 66 136 13 36 148 46 145 71 69 77 63 81 24

320 杏 吻 荷 可 敗 桴 平 𠂔 岡 莖 𤝵 仰 𤝵 燄 𤝵 圭 囚 墨 咻 祀
 舌 唇 頰 耳 睫 落 流 眉 顏 肌 新 後 遣 奪 崩 血 真 陰 歌 則
 123 71 45 12 173 28 59 2 1 135 112 40 61 132 82 57 120 61 173 60

340 𦍋
 脇 並 腕 背 腹 奶 胸 肩 首 莖 根 鬚 髭 髮 毛 喉 額 顎 頤 話
 18 99 119 59 24 4 161 11 57 175 7 88 70 179 75 88 8 70 26 60

360 𦍋
 嘔 吐 入 出 鬼 魔 惡 吹 夕 餐 淚 息 跂 踵 膝 故 爪 指 掌 肘
 77 116 10 2 147 85 47 63 45 45 1 86 135 147 39 45 93 167 156 35

380 𦍋
 卵 針 拈 鏡 汁 燒 餅 麵 卷 測 父 兄 弟 妹 活 庵 店 經 絞 吸
 138 169 59 108 71 20 180 86 91 114 166 173 182 12 76 31 80 52 158 175

400 𦍋
 探 物 籠 動 片 焉 敬 慶 集 味 掃 握 酒 玉 乾 淨 平 猫 犬 鳥
 182 4 52 173 66 44 171 121 117 125 51 99 173 11 90 85 83 62 73 48

420 𦍋
 西 東 取 羅 珠 据 弩 弓 定 綠 名 冬 秋 葉 夏 豐 春 蒼 算 花
 156 1 25 12 28 128 96 164 148 51 29 92 127 70 56 123 36 56 79 81

580	𧈧	𧈨	𧈩	𧈪	𧈫	𧈬	𧈭	𧈮	𧈯	𧈰	570	𧈱	𧈲	𧈳	𧈴	𧈵	𧈶	𧈷	𧈸	𧈹	𧈺	𧈻	𧈼	𧈽	𧈾	𧈿
引	磁	累	輪	常	曙	苗	灯	釣	垂	茸	馬	羊	枯	柱	凝	踏	方	区	擊							
32	10	178	5	84	101	174	70	86	160	29	35	55	92	69	169	79	103	120	30							

[illegible]

620 610
 颯 癢 瑤 蛻 颯 醺 矢 柴 兕 瑤 寃 慄 甕 巢 醅 窠 兕 墀 丟 嶮
 靈 撮 肺 膨 檻 唱 育 獎 易 癒 覺 愛 浸 埋 錯 夢 伏 客 哀 葱
 52 58 90 119 175 11 164 149 60 159 6 135 74 142 54 166 89 51 177 175

640 630

𪛗 𪛘 𪛙 𪛚 𪛛 𪛜 𪛝 𪛞 𪛟 𪛠 𪛡 𪛢 𪛣 𪛤 𪛥 𪛦 𪛧 𪛨 𪛩 𪛪 𪛫 𪛬 𪛭 𪛮 𪛯 𪛰 𪛱 𪛲 𪛳 𪛴 𪛵 𪛶 𪛷 𪛸 𪛹 𪛺 𪛻 𪛼 𪛽 𪛾 𪛿 𪜀 𪜁 𪜂 𪜃 𪜄 𪜅 𪜆 𪜇 𪜈 𪜉 𪜊 𪜋 𪜌 𪜍 𪜎 𪜏 𪜐 𪜑 𪜒 𪜓 𪜔 𪜕 𪜖 𪜗 𪜘 𪜙 𪜚 𪜛 𪜜 𪜝 𪜞 𪜟 𪜠 𪜡 𪜢 𪜣 𪜤 𪜥 𪜦 𪜧 𪜨 𪜩 𪜪 𪜫 𪜬 𪜭 𪜮 𪜯 𪜰 𪜱 𪜲 𪜳 𪜴 𪜵 𪜶 𪜷 𪜸 𪜹 𪜺 𪜻 𪜼 𪜽 𪜾 𪜿 𪝀 𪝁 𪝂 𪝃 𪝄 𪝅 𪝆 𪝇 𪝈 𪝉 𪝊 𪝋 𪝌 𪝍 𪝎 𪝏 𪝐 𪝑 𪝒 𪝓 𪝔 𪝕 𪝖 𪝗 𪝘 𪝙 𪝚 𪝛 𪝜 𪝝 𪝞 𪝟 𪝠 𪝡 𪝢 𪝣 𪝤 𪝥 𪝦 𪝧 𪝨 𪝩 𪝪 𪝫 𪝬 𪝭 𪝮 𪝯 𪝰 𪝱 𪝲 𪝳 𪝴 𪝵 𪝶 𪝷 𪝸 𪝹 𪝺 𪝻 𪝼 𪝽 𪝾 𪝿 𪞀 𪞁 𪞂 𪞃 𪞄 𪞅 𪞆 𪞇 𪞈 𪞉 𪞊 𪞋 𪞌 𪞍 𪞎 𪞏 𪞐 𪞑 𪞒 𪞓 𪞔 𪞕 𪞖 𪞗 𪞘 𪞙 𪞚 𪞛 𪞜 𪞝 𪞞 𪞟 𪞠 𪞡 𪞢 𪞣 𪞤 𪞥 𪞦 𪞧 𪞨 𪞩 𪞪 𪞫 𪞬 𪞭 𪞮 𪞯 𪞰 𪞱 𪞲 𪞳 𪞴 𪞵 𪞶 𪞷 𪞸 𪞹 𪞺 𪞻 𪞼 𪞽 𪞾 𪞿 𪟀 𪟁 𪟂 𪟃 𪟄 𪟅 𪟆 𪟇 𪟈 𪟉 𪟊 𪟋 𪟌 𪟍 𪟎 𪟏 𪟐 𪟑 𪟒 𪟓 𪟔 𪟕 𪟖 𪟗 𪟘 𪟙 𪟚 𪟛 𪟜 𪟝 𪟞 𪟟 𪟠 𪟡 𪟢 𪟣 𪟤 𪟥 𪟦 𪟧 𪟨 𪟩 𪟪 𪟫 𪟬 𪟭 𪟮 𪟯 𪟰 𪟱 𪟲 𪟳 𪟴 𪟵 𪟶 𪟷 𪟸 𪟹 𪟺 𪟻 𪟼 𪟽 𪟾 𪟿 𪠀 𪠁 𪠂 𪠃 𪠄 𪠅 𪠆 𪠇 𪠈 𪠉 𪠊 𪠋 𪠌 𪠍 𪠎 𪠏 𪠐 𪠑 𪠒 𪠓 𪠔 𪠕 𪠖 𪠗 𪠘 𪠙 𪠚 𪠛 𪠜 𪠝 𪠞 𪠟 𪠠 𪠡 𪠢 𪠣 𪠤 𪠥 𪠦 𪠧 𪠨 𪠩 𪠪 𪠫 𪠬 𪠭 𪠮 𪠯 𪠰 𪠱 𪠲 𪠳 𪠴 𪠵 𪠶 𪠷 𪠸 𪠹 𪠺 𪠻 𪠼 𪠽 𪠾 𪠿 𪡀 𪡁 𪡂 𪡃 𪡄 𪡅 𪡆 𪡇 𪡈 𪡉 𪡊 𪡋 𪡌 𪡍 𪡎 𪡏 𪡐 𪡑 𪡒 𪡓 𪡔 𪡕 𪡖 𪡗 𪡘 𪡙 𪡚 𪡛 𪡜 𪡝 𪡞 𪡟 𪡠 𪡡 𪡢 𪡣 𪡤 𪡥 𪡦 𪡧 𪡨 𪡩 𪡪 𪡫 𪡬 𪡭 𪡮 𪡯 𪡰 𪡱 𪡲 𪡳 𪡴 𪡵 𪡶 𪡷 𪡸 𪡹 𪡺 𪡻 𪡼 𪡽 𪡾 𪡿 𪢀 𪢁 𪢂 𪢃 𪢄 𪢅 𪢆 𪢇 𪢈 𪢉 𪢊 𪢋 𪢌 𪢍 𪢎 𪢏 𪢐 𪢑 𪢒 𪢓 𪢔 𪢕 𪢖 𪢗 𪢘 𪢙 𪢚 𪢛 𪢜 𪢝 𪢞 𪢟 𪢠 𪢡 𪢢 𪢣 𪢤 𪢥 𪢦 𪢧 𪢨 𪢩 𪢪 𪢫 𪢬 𪢭 𪢮 𪢯 𪢰 𪢱 𪢲 𪢳 𪢴 𪢵 𪢶 𪢷 𪢸 𪢹 𪢺 𪢻 𪢼 𪢽 𪢾 𪢿 𪣀 𪣁 𪣂 𪣃 𪣄 𪣅 𪣆 𪣇 𪣈 𪣉 𪣊 𪣋 𪣌 𪣍 𪣎 𪣏 𪣐 𪣑 𪣒 𪣓 𪣔 𪣕 𪣖 𪣗 𪣘 𪣙 𪣚 𪣛 𪣜 𪣝 𪣞 𪣟 𪣠 𪣡 𪣢 𪣣 𪣤 𪣥 𪣦 𪣧 𪣨 𪣩 𪣪 𪣫 𪣬 𪣭 𪣮 𪣯 𪣰 𪣱 𪣲 𪣳 𪣴 𪣵 𪣶 𪣷 𪣸 𪣹 𪣺 𪣻 𪣼 𪣽 𪣾 𪣿 𪤀 𪤁 𪤂 𪤃 𪤄 𪤅 𪤆 𪤇 𪤈 𪤉 𪤊 𪤋 𪤌 𪤍 𪤎 𪤏 𪤐 𪤑 𪤒 𪤓 𪤔 𪤕 𪤖 𪤗 𪤘 𪤙 𪤚 𪤛 𪤜 𪤝 𪤞 𪤟 𪤠 𪤡 𪤢 𪤣 𪤤 𪤥 𪤦 𪤧 𪤨 𪤩 𪤪 𪤫 𪤬 𪤭 𪤮 𪤯 𪤰 𪤱 𪤲 𪤳 𪤴 𪤵 𪤶 𪤷 𪤸 𪤹 𪤺 𪤻 𪤼 𪤽 𪤾 𪤿 𪥀 𪥁 𪥂 𪥃 𪥄 𪥅 𪥆 𪥇 𪥈 𪥉 𪥊 𪥋 𪥌 𪥍 𪥎 𪥏 𪥐 𪥑 𪥒 𪥓 𪥔 𪥕 𪥖 𪥗 𪥘 𪥙 𪥚 𪥛 𪥜 𪥝 𪥞 𪥟 𪥠 𪥡 𪥢 𪥣 𪥤 𪥥 𪥦 𪥧 𪥨 𪥩 𪥪 𪥫 𪥬 𪥭 𪥮 𪥯 𪥰 𪥱 𪥲 𪥳 𪥴 𪥵 𪥶 𪥷 𪥸 𪥹 𪥺 𪥻 𪥼 𪥽 𪥾 𪥿 𪦀 𪦁 𪦂 𪦃 𪦄 𪦅 𪦆 𪦇 𪦈 𪦉 𪦊 𪦋 𪦌 𪦍 𪦎 𪦏 𪦐 𪦑 𪦒 𪦓 𪦔 𪦕 𪦖 𪦗 𪦘 𪦙 𪦚 𪦛 𪦜 𪦝 𪦞 𪦟 𪦠 𪦡 𪦢 𪦣 𪦤 𪦥 𪦦 𪦧 𪦨 𪦩 𪦪 𪦫 𪦬 𪦭 𪦮 𪦯 𪦰 𪦱 𪦲 𪦳 𪦴 𪦵 𪦶 𪦷 𪦸 𪦹 𪦺 𪦻 𪦼 𪦽 𪦾 𪦿 𪧀 𪧁 𪧂 𪧃 𪧄 𪧅 𪧆 𪧇 𪧈 𪧉 𪧊 𪧋 𪧌 𪧍 𪧎 𪧏 𪧐 𪧑 𪧒 𪧓 𪧔 𪧕 𪧖 𪧗 𪧘 𪧙 𪧚 𪧛 𪧜 𪧝 𪧞 𪧟 𪧠 𪧡 𪧢 𪧣 𪧤 𪧥 𪧦 𪧧 𪧨 𪧩 𪧪 𪧫 𪧬 𪧭 𪧮 𪧯 𪧰 𪧱 𪧲 𪧳 𪧴 𪧵 𪧶 𪧷 𪧸 𪧹 𪧺 𪧻 𪧼 𪧽 𪧾 𪧿 𪨀 𪨁 𪨂 𪨃 𪨄 𪨅 𪨆

660

𪗇 𪗈 𪗉 𪗊 𪗋 𪗌 𪗍 𪗎 𪗏 𪗐 𪗑 𪗒 𪗓 𪗔 𪗕 𪗖 𪗗 𪗘 𪗙 𪗚
泳 幕 冠 縮 餛 芋 滴 抽 枝 巡 湖 緞 劈 殼 秀 床 覆 令 泊 短

650

𪗛 𪗜 𪗝 𪗞 𪗟 𪗠 𪗡 𪗢 𪗣 𪗤 𪗥 𪗦 𪗧 𪗨 𪗩 𪗪 𪗫 𪗬 𪗭 𪗮 𪗯 𪗰
65 140 142 8 13 96 39 149 44 5 52 63 11 46 140 129 109 70 26 179

[illegible][illegible]

天	聖
雖	鎮
⋮	⋮
97	14

7

七画

𪔐	𪔑	𪔒	𪔓	八画	𪔔	𪔕	𪔖	𪔗	𪔘	𪔙	𪔚	𪔛	𪔜	𪔝	𪔞	𪔟	𪔠	𪔡	𪔢
飛	持	王	国		低	滑	張	蛆	羽	麦	育	伏	哀	標	区	互	幹	刺	解
49	64	149	121		96	167	100	78	141	22	164	89	177	48	120	74	126	46	178
𪔣	𪔤	𪔥	𪔦	𪔧	𪔨	𪔩	𪔪	𪔫	𪔬	𪔭	𪔮	𪔯	𪔰	𪔱	𪔲	𪔳	𪔴	𪔵	𪔶
如	田	百	万	森	画	盤	戰	遊	基	粉	狩	材	肉	領	字	刈	倫	步	然
143	56	69	182	168	95	84	73	47	141	102	4	27	116	73	21	131	42	7	2
𪔷	𪔸	𪔹	𪔺	𪔻	𪔼	𪔽	𪔾	𪔿	𪕀	𪕁	𪕂	𪕃	𪕄	𪕅	𪕆	𪕇	𪕈	𪕉	𪕊
眉	遍	模	帝	架	隱	危	貨	多	与	働	船	音	温	香	尻	糞	笑	包	箔
2	1	136	148	145	24	69	4	50	41	6	60	27	40	19	59	12	41	80	15
𪕋	𪕌	𪕍	𪕎	𪕏	𪕐	𪕑	𪕒	𪕓	𪕔	𪕕	𪕖	𪕗	𪕘	𪕙	𪕚	𪕛	𪕜	𪕝	𪕞
唯	爾	憶	日	憐	困	雪	彩	宇	春	物	敬	酒	猫	卵	胸	首	根	頤	舌
17	93	131	147	21	48	116	18	52	36	4	171	173	62	138	161	57	7	26	123
九画	𪕟	𪕠	𪕡	𪕢	𪕣	𪕤	𪕥	𪕦	𪕧	𪕨	𪕩	𪕪	𪕫	𪕬	𪕭	𪕮	𪕯	𪕰	𪕱
	斧	嵌	瓦	芋	秀	混	昂	獎	折	匙	灯	奇	兔	浮	哉	忘	成	建	洞
	8	130	174	96	140	67	92	149	9	88	70	36	87	138	164	101	73	82	104
𪕲	𪕳	𪕴	𪕵	𪕶	𪕷	𪕸	𪕹	𪕺	𪕻	𪕼	𪕽	𪕾	𪕿	𪖀	𪖁	𪖂	𪖃	𪖄	𪖅
創	尿	宗	何	僻	啊	地	代	越	長	灰	筋	豚	回	紙	来	油	今	含	居
141	85	132	122	180	182	153	164	8	7	44	140	81	64	123	159	84	17	143	75
𪖆	𪖇	𪖈	𪖉	𪖊	𪖋	𪖌	𪖍	𪖎	𪖏	𪖐	𪖑	𪖒	𪖓	𪖔	𪖕	𪖖	𪖗	𪖘	𪖙
動	片	卷	庵	嘔	鬼	惡	淚	髮	血	陰	事	訓	憤	宝	求	席	機	粘	通
173	66	91	31	77	147	47	1	179	57	61	13	81	17	5	113	175	182	174	108

崗	魯	現	慘	楓	崧	絃	匝	叢	素	罌	亞	琬	吮	烹	熾	愈	悴	歟	參
廻	阻	太	煙	菜	強	拘	到	昆	深	少	跨	魂	冷	搖	綠	冬	葉	蒼	算
170	105	34	181	26	44	159	33	21	85	158	165	121	66	9	51	92	70	56	79
達	吮	土画	翊	邪	將	龔	瓠	充	晃	姦	煇	咲	齒	莧	呖	咎	漚	崑	崑
榮	晴		喘	吩	抱	床	短	覺	浸	勇	選	唔	輪	馬	凝	投	且	泰	緩
107	25		136	18	131	129	179	6	74	39	15	182	5	35	169	57	45	142	166
憂	喜	煩	遜	菱	炫	硃	欵	瑤	炆	堅	冢	岩	帝	亟	厝	現	蒼	規	胃
福	壁	古	夫	信	技	知	杯	椅	机	清	曉	熱	軍	乘	等	腦	都	向	現
157	46	71	69	18	106	23	69	150	140	94	129	98	84	170	137	151	32	130	112
翁	邈	晏	娑	炮	姦	泚	涇	飴	兕	娑	瑛	璽	舂	怦	莖	咻	楓		
翠	返	珠	味	掃	玉	汁	燒	餅	弟	經	吐	掌	脇	背	奶	落	肌	歌	違
103	78	28	125	51	11	71	20	180	182	52	116	156	18	59	4	28	135	173	152
齡	彰	煇	鼠	囡	蕪	輝	筋	桼	嵐	煇	狐	怙	檢	煩	睦	毓	狐	煇	颯
齊	沙	茸	羊	方	散	溢	具	乏	祈	炸	備	傾	買	妻	明	錄	注	茶	季
112	171	29	55	103	58	183	69	68	105	106	54	30	5	151	120	27	71	103	180
栗	酌	殺	亞	策	壺	囡	硯	朮	土画	瑞	憚	響	乘	嶺	鳳	詒	窠	崑	豎
糖	銀	秒	座	數	塩	園	記	書		遼	殼	軟	尖	焦	靈	膨	夢	位	薄
143	42	140	126	129	179	24	61	96		176	46	4	169	180	52	119	166	47	17
舒	毡	桃	赧	零	痞	困	烜	叁	窠	颯	災	馳	瑛	閭	荷	戛	馥	飴	
逃	污	碎	紋	論	据	集	乾	測	入	魔	餐	踵	腹	顎	頰	睫	奪	声	帳
147	17	68	107	54	128	117	90	114	10	85	45	147	24	70	45	173	132	173	94

賈	岫	士 二画	甬	罔	輒	羸	暗	緬	莖	策	腔	國	咄	愉	瞿	繇	岫	岫	硃
瑠	蛩		啼	紗	柿	冠	令	紐	癒	埋	客	城	曙	柱	習	飾	蜘蛛	糊	尋
25	68		35	31	25	142	70	113	159	142	51	170	101	69	135	67	175	171	107
硃	頰	壘	悚	逦	蜚	彪	紇	痺	奧	蛩	荒	罔	馮	逦	逦	逦	逦	逦	訥
律	萄	尾	梭	弱	恐	纏	蔓	酸	取	籠	慶	淨	平	麵	崩	守	瓶	痘	金
14	119	130	42	94	56	46	34	30	25	52	121	85	83	86	82	63	104	101	111
琚	士 三画	甬	彰	查	睥	荇	致	颀	聚	鉅	挑	蓼	菩	憐	蛩	赫	逦	甬	硃
臧		笛	旋	鄉	航	泳	滴	摩	單	栽	沸	暇	敏	愛	樣	釘	累	衝	墨
49		80	149	169	36	65	39	68	55	26	136	116	67	135	41	154	178	97	154
嶺	輒	跡	嚙	登	砲	些	寂	罨	銛	珣	脊	嶺	罔	佬	佬	魁	鎬	珣	嶺
燧	路	島	影	控	赦	秋	探	鏡	店	腕	額	奏	報	杖	琥	硫	銅	拋	炭
107	10	83	154	86	136	127	182	108	80	119	8	24	172	21	5	157	22	54	93
雲	崑	曙	士 十四画	菩	園	嚙	璋	鸞	賸	杞	堯	奎	澄	掣	掣	掣	掣	掣	掣
態	鐵	京		哈	沫	鳴	空	艷	鰻	抽	湖	泊	澄	浪	撮	葱	醉	引	常
36	157	101		152	62	44	139	46	51	149	52	26	124	157	58	175	78	32	84
鮑	嵒	翔	瑤	髻	鸞	興	煙	莖	莖	礎	對	誌	脂	掣	羣	羣	禽	禽	硃
希	巡	臣	肺	塵	許	垂	枯	踏	筒	談	從	億	弩	握	針	吸	鬚	髭	話
167	5	101	90	94	137	160	92	79	84	83	60	36	96	99	169	175	88	70	60
礎	繼	繼	繼	士 十六画	甬	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒
唱	疊	囊	絞		瑛	軒	業	毒	幕	跡	擊	原	燦	肩		鎮	攪	詞	蝦
11	103	120	158		176	170	163	76	140	8	30	101	55	11		14	1	101	9

二十二画	鰐 釣	二十画	魑 磁	十九画	囙 融	十八画	𪗇 勞	𪗈 縮	𪗉 緻	𪗊 劈	𪗋 錯	𪗌 徒	十七画	樞 鍵	𪗎 鋏	𪗏 柳	𪗐 餽	綖 覆	緱 檻
	86		10		150		66	8	63	11	54	76		27	171	86	13	109	175

															攣 盥	二十四画	𪗒 錠	𪗓 磐
															20		103	129

kaogisqai 名 物理学。

金 270 名 口巾 上古 khweks 後中 khok

宝。価値のあるもの。資産。財産。

金庫 名 口巾 土フ kàowò

金庫。宝箱。金蔵。ロッカー。蔵。貴重品や価値のあるものが盗み出されないように補強された、頑丈な収納具。

車輪 577 名 口巾 上古 khweks 後中 khosh

① 車輪。ホイール。② 車。軸を中心に回る機構。

歯 名 口巾 八フ kàosso

タイヤ。車輪。車輪の外周に取り付けられ、衝撃の吸収や滑りの防止などの役割を担う部品。現代ではゴム製であることが多い。

金 470 名 口巾 上古 khwems 後中 khomh

及動 買う。購入する。払う。手に入れる。／対価を払って商品やサービスを手に入れることを指す。対義語 金 (88 ジェ) 例文 金 表紙。『こんな服を買いたい。』

唎 651 名 口巾 上古 khweik 後中 khok

及動 ① S が O を 運へ 運ぶ。持つて行く。送る。届ける。配送する。持つてくる。／物を他の場所へと動かすこと。零語には「持つてくる」に相当する単独の動詞が存在せず、唎 (53 ジェ) 匹 (33 ジェ) 平 (7 ジェ) (ここに運ぶ) などのフレーズで表現される。不及動 歩き回る。動き回る。移動する。動く。さまよう。／目的の有無などに関わらず、移動することそのものに焦点を当てた表現。十 (12 ジェ) は目的地に向かつて移動すること、匹 (47 ジェ) は固定されず動き続けることを指す。また 卑 (13 ジェ) は移動以外にも変形や変化などの動きを含む。類語 十 (12 ジェ)、匹 (47 ジェ)、卑 (13 ジェ) 関連語 唎十 (5 ジェ)

唎 名 口巾 土フ kàoldúa

及動 ① どかす。どける。押し退ける。退ける。動かす。取り除く。／道の通行やその他の行為の進行の妨げになっているような物品や人を、一旦別の場所に動かす動作。② を除く。／以外で。／は置いておいて。／は考慮しない。／文中で考慮しない、例外を示す表現。唎 (5 ジェ) 唎 (39 ジェ)、白 (15 ジェ) … という形でも多く用いられ、／で

ない限り…という表現になる。

唎 名 口巾 八木々 七

人。／一つの場所に店舗を構え、商品を持つて移動しながら販売を行う人。

唎 名 口巾 土フ kàolyám

不及動 運動する。物理学において、物体が速度を持つて移動する現象。

唎 名 口巾 八木々 又凡

運動エネルギー。／運動する物体が持つエネルギー。関連語 唎十 (5 ジェ)

唎 名 口巾 土フ kàolwò

不及動 散歩する。ぶらぶら歩く。歩き回る。逍遙する。徘徊する。名 散歩。逍遙。散策。／特に目的地を定めないで行う、歩き回ることそのものを目的とした活動。例文 唎マ 石影空。「浜辺で散歩しました。」

帛 246 名 口巾 上古 khaj 後中 khe

名 樹脂 語成分 プラスチック。石油製品。

飛行機などに乗っているとき、揺れにより吐き気を催す現象。現代では映像や3D機器による同様の現象をも指す。

桌平冬

【揺流雷】
口ヨメヤ巾了凡

交流電流。交流。
kùncáosmǎin 名

【揺糸】ヨコエ 子午 kuanbù

名 振り子。一点を固定して周期的に振動するようにした機構。

【揺眠子】ヨミナ 七ノ目

くわんろうぐん 眠る赤子を揺する。
 成句

る。藪をつついて蛇を出す。／＼一度収まった議論が宣華を再び持ち出す。二、三件事を引き起

ハナハナ。

後中 kham

移動する。【例文】
 甲 焔 對 弘 太 古、 𠂇 察 矣 𠂇
 mǎ hǔn duì hóng tà gǔ, 𠂇 cǎ yǐ 𠂇

岩爪。野菜を丁度いい大きさに切り、熱湯に入れる。」

𪔐 𪔑 𪔒 𪔓 𪔔 𪔕 𪔖 𪔗 𪔘 𪔙 𪔚 𪔛 𪔜 𪔝 𪔞 𪔟 𪔠 𪔡 𪔢 𪔣 𪔤 𪔥 𪔦 𪔧 𪔨 𪔩 𪔪 𪔫 𪔬 𪔭 𪔮 𪔯 𪔰 𪔱 𪔲 𪔳 𪔴 𪔵 𪔶 𪔷 𪔸 𪔹 𪔺 𪔻 𪔼 𪔽 𪔾 𪔿 𪕀 𪕁 𪕂 𪕃 𪕄 𪕅 𪕆 𪕇 𪕈 𪕉 𪕊 𪕋 𪕌 𪕍 𪕎 𪕏 𪕐 𪕑 𪕒 𪕓 𪕔 𪕕 𪕖 𪕗 𪕘 𪕙 𪕚 𪕛 𪕜 𪕝 𪕞 𪕟 𪕠 𪕡 𪕢 𪕣 𪕤 𪕥 𪕦 𪕧 𪕨 𪕩 𪕪 𪕫 𪕬 𪕭 𪕮 𪕯 𪕰 𪕱 𪕲 𪕳 𪕴 𪕵 𪕶 𪕷 𪕸 𪕹 𪕺 𪕻 𪕼 𪕽 𪕾 𪕿 𪖀 𪖁 𪖂 𪖃 𪖄 𪖅 𪖆 𪖇 𪖈 𪖉 𪖊 𪖋 𪖌 𪖍 𪖎 𪖏 𪖐 𪖑 𪖒 𪖓 𪖔 𪖕 𪖖 𪖗 𪖘 𪖙 𪖚 𪖛 𪖜 𪖝 𪖞 𪖟 𪖠 𪖡 𪖢 𪖣 𪖤 𪖥 𪖦 𪖧 𪖨 𪖩 𪖪 𪖫 𪖬 𪖭 𪖮 𪖯 𪖰 𪖱 𪖲 𪖳 𪖴 𪖵 𪖶 𪖷 𪖸 𪖹 𪖺 𪖻 𪖼 𪖽 𪖾 𪖿 𪗀 𪗁 𪗂 𪗃 𪗄 𪗅 𪗆 𪗇 𪗈 𪗉 𪗊 𪗋 𪗌 𪗍 𪗎 𪗏 𪗐 𪗑 𪗒 𪗓 𪗔 𪗕 𪗖 𪗗 𪗘 𪗙 𪗚 𪗛 𪗜 𪗝 𪗞 𪗟 𪗠 𪗡 𪗢 𪗣 𪗤 𪗥 𪗦 𪗧 𪗨 𪗩 𪗪 𪗫 𪗬 𪗭 𪗮 𪗯 𪗰 𪗱 𪗲 𪗳 𪗴 𪗵 𪗶 𪗷 𪗸 𪗹 𪗺 𪗻 𪗼 𪗽 𪗾 𪗿 𪘀 𪘁 𪘂 𪘃 𪘄 𪘅 𪘆 𪘇 𪘈 𪘉 𪘊 𪘋 𪘌 𪘍 𪘎 𪘏 𪘐 𪘑 𪘒 𪘓 𪘔 𪘕 𪘖 𪘗 𪘘 𪘙 𪘚 𪘛 𪘜 𪘝 𪘞 𪘟 𪘠 𪘡 𪘢 𪘣 𪘤 𪘥 𪘦 𪘧 𪘨 𪘩 𪘪 𪘫 𪘬 𪘭 𪘮 𪘯 𪘰 𪘱 𪘲 𪘳 𪘴 𪘵 𪘶 𪘷 𪘸 𪘹 𪘺 𪘻 𪘼 𪘽 𪘾 𪘿 𪙀 𪙁 𪙂 𪙃 𪙄 𪙅 𪙆 𪙇 𪙈 𪙉 𪙊 𪙋 𪙌 𪙍 𪙎 𪙏 𪙐 𪙑 𪙒 𪙓 𪙔 𪙕 𪙖 𪙗 𪙘 𪙙 𪙚 𪙛 𪙜 𪙝 𪙞 𪙟 𪙠 𪙡 𪙢 𪙣 𪙤 𪙥 𪙦 𪙧 𪙨 𪙩 𪙪 𪙫 𪙬 𪙭 𪙮 𪙯 𪙰 𪙱 𪙲 𪙳 𪙴 𪙵 𪙶 𪙷 𪙸 𪙹 𪙺 𪙻 𪙼 𪙽 𪙾 𪙿 𪚀 𪚁 𪚂 𪚃 𪚄 𪚅 𪚆 𪚇 𪚈 𪚉 𪚊 𪚋 𪚌 𪚍 𪚎 𪚏 𪚐 𪚑 𪚒 𪚓 𪚔 𪚕 𪚖 𪚗 𪚘 𪚙 𪚚 𪚛 𪚜 𪚝 𪚞 𪚟 𪚠 𪚡 𪚢 𪚣 𪚤 𪚥 𪚦 𪚧 𪚨 𪚩 𪚪 𪚫 𪚬 𪚭 𪚮 𪚯 𪚰 𪚱 𪚲 𪚳 𪚴 𪚵 𪚶 𪚷 𪚸 𪚹 𪚺 𪚻 𪚼 𪚽 𪚾 𪚿 𪛀 𪛁 𪛂 𪛃 𪛄 𪛅 𪛆 𪛇 𪛈 𪛉 𪛊 𪛋 𪛌 𪛍 𪛎 𪛏 𪛐 𪛑 𪛒 𪛓 𪛔 𪛕 𪛖 𪛗 𪛘 𪛙 𪛚 𪛛 𪛜 𪛝 𪛞 𪛟 𪛠 𪛡 𪛢 𪛣 𪛤 𪛥 𪛦 𪛧 𪛨 𪛩 𪛪 𪛫 𪛬 𪛭 𪛮 𪛯 𪛰 𪛱 𪛲 𪛳 𪛴 𪛵 𪛶 𪛷 𪛸 𪛹 𪛺 𪛻 𪛼 𪛽 𪛾 𪛿 𪜀 𪜁 𪜂 𪜃 𪜄 𪜅 𪜆 𪜇 𪜈 𪜉 𪜊 𪜋 𪜌 𪜍 𪜎 𪜏 𪜐 𪜑 𪜒 𪜓 𪜔 𪜕 𪜖 𪜗 𪜘 𪜙 𪜚 𪜛 𪜜 𪜝 𪜞 𪜟 𪜠 𪜡 𪜢 𪜣 𪜤 𪜥 𪜦 𪜧 𪜨 𪜩 𪜪 𪜫 𪜬 𪜭 𪜮 𪜯 𪜰 𪜱 𪜲 𪜳 𪜴 𪜵 𪜶 𪜷 𪜸 𪜹 𪜺 𪜻 𪜼 𪜽 𪜾 𪜿 𪝀 𪝁 𪝂 𪝃 𪝄 𪝅 𪝆 𪝇 𪝈 𪝉 𪝊 𪝋 𪝌 𪝍 𪝎 𪝏 𪝐 𪝑 𪝒 𪝓 𪝔 𪝕 𪝖 𪝗 𪝘 𪝙 𪝚 𪝛 𪝜 𪝝 𪝞 𪝟 𪝠 𪝡 𪝢 𪝣 𪝤 𪝥 𪝦 𪝧 𪝨 𪝩 𪝪 𪝫 𪝬 𪝭 𪝮 𪝯 𪝰 𪝱 𪝲 𪝳 𪝴 𪝵 𪝶 𪝷 𪝸 𪝹 𪝺 𪝻 𪝼 𪝽 𪝾 𪝿 𪞀 𪞁 𪞂 𪞃 𪞄 𪞅 𪞆 𪞇 𪞈 𪞉 𪞊 𪞋 𪞌 𪞍 𪞎 𪞏 𪞐 𪞑 𪞒 𪞓 𪞔 𪞕 𪞖 𪞗 𪞘 𪞙 𪞚 𪞛 𪞜 𪞝 𪞞 𪞟 𪞠 𪞡 𪞢 𪞣 𪞤 𪞥 𪞦 𪞧 𪞨 𪞩 𪞪 𪞫 𪞬 𪞭 𪞮 𪞯 𪞰 𪞱 𪞲 𪞳 𪞴 𪞵 𪞶 𪞷 𪞸 𪞹 𪞺 𪞻 𪞼 𪞽 𪞾 𪞿 𪟀 𪟁 𪟂 𪟃 𪟄 𪟅 𪟆 𪟇 𪟈 𪟉 𪟊 𪟋 𪟌 𪟍 𪟎 𪟏 𪟐 𪟑 𪟒 𪟓 𪟔 𪟕 𪟖 𪟗 𪟘 𪟙 𪟚 𪟛 𪟜 𪟝 𪟞 𪟟 𪟠 𪟡 𪟢 𪟣 𪟤 𪟥 𪟦 𪟧 𪟨 𪟩 𪟪 𪟫 𪟬 𪟭 𪟮 𪟯 𪟰 𪟱 𪟲 𪟳 𪟴 𪟵 𪟶 𪟷 𪟸 𪟹 𪟺 𪟻 𪟼 𪟽 𪟾 𪟿 𪠀 𪠁 𪠂 𪠃 𪠄 𪠅 𪠆 𪠇 𪠈 𪠉 𪠊 𪠋 𪠌 𪠍 𪠎 𪠏 𪠐 𪠑 𪠒 𪠓 𪠔 𪠕 𪠖 𪠗 𪠘 𪠙 𪠚 𪠛 𪠜 𪠝 𪠞 𪠟 𪠠 𪠡 𪠢 𪠣 𪠤 𪠥 𪠦 𪠧 𪠨 𪠩 𪠪 𪠫 𪠬 𪠭 𪠮 𪠯 𪠰 𪠱 𪠲 𪠳 𪠴 𪠵 𪠶 𪠷 𪠸 𪠹 𪠺 𪠻 𪠼 𪠽 𪠾 𪠿 𪡀 𪡁 𪡂

【**及動**】 見つける。発見する。探し出す。【**例文**】
 宜^{yasu} 亥^{igai} 五^{go} 金^{kin} 回^{kaikou} 寮^{ryou} 田^{den} 川^{kawa} 中^{naka}。「条件に合う商
 品が一個見つかりました。」

【人通】 口亨 今市へ上 kúanfào

【及動】① SがOを末に入れる。投入する。差し込む。挿入する。差し入れる。／物

動詞。②(弾薬や矢などを)装填する。詰め

る。装弾する。弾込めする。類語 亅(132 ペー)、
宣(130 ペー)、燵(63 ペー)、窆(10 ペー)

【入門】 リョウモン Ryōmō **Kuānfūo**

コ名 入口。エントランス。玄関。不及動 (建物や部屋などに) 入る。入室する。入易する。

入館する。侵入する。対義語 退出 (2 ページ)

【入嵌】
了八文 Kuammū

る。入れる。差す。はめる。／宜(130ページ)とほ

は同義だが、項と前置詞の取り方は、宴(10
ジ)と同じで、宣(130ジ)のそれとは全く異

なることに注意。

【**不及動**】Sが寺に参加する。加わる。参

入する。加入する。登録する。／既に複数人で構成された集団に加わることを指す。

579
19画
kuai
後中
khnik

名 磁石。マグネット。／磁場を発生させ鉄などを引き付ける物体。日用語としては𩺰

寝(3ジ)が多く月いられる
 関する物事。
 計月分 破欠い

【磁力】
 コロネ 又 凡 kùal'nai

[名] 磁気 磁力 磁性 / 磁性体の間に働く
引力と斥力の総称。また、その現象。

【磁向】
クニモ 了ハ kùalmù

名 コンパス。方位磁石。方位磁針。羅針盤。

穴元pozi 吡bu 回xi 雞zheng
 茵wan 叭an 咻g 方ang 位ang 磁ang 石ang の 乙ang 極ang

だって。ややこしいな！」

朝 546
【路】
13画
くろ 只
後上古
中 khju
khu

（15ジベ）が人や物の往来のために作られた

場所としての道を指すのに対し、朝(10時)

10

上の道を指す。

【路車】
只个 kuotè
名列

車。電車。汽車。機関車。／線路に沿って走る
大型の車両を指す。 **関連語** 冊乙(12ページ)

例文 平^{Hei} 𨔵^{Kan} 𨔵^{Tsu} 𨔵^{Su} 𨔵^{Hu} 替^{Kae} 匹^{Pi} 𨔵^{Su} 登^{To}。 「この電車はまもなく燦川駅に到着します。」

648 劈 **【劈】**
17画 kùo ㄎㄨㄛˋ
上古 khjyh
後中 khuh

● 割れる。壊れる。裂ける。弾ける。
不及動

生じ、元の形を保てずに複数の部分に分解すること。㊦(68ジ)が細かい破片に分かれることを含意するのに対して、㊧(11ジ)は単に複数のに割れることを指す。㊨咲く。開花する。花開く。／花のつぼみが開き、花びらが表に出てくること。㊩(雨)が止む。上る。晴れる。／主語には凡(160ジ)が取られる。

𪛗
615
【唱】
16画
𪛗 kùò 𪛗 khwups
後中上古
khup

【及動】読む。読み上げる。声に出す。音読する。朗読する。語る。／文章や言葉を声に出して言う動作。

【唱】 只 上 kùo'ua

及動 SがOを規に読み聞かせる。語る。
伝える。話す。／出来事や物語を他人に語つ

て聞かせること。【類語】**哥尔**(148ページ) 【例文】**功**
碯 wi 一 **叩** ho **碯** chhi **矣** ce **不** hai。「私がそいつに二つ
 物語を語ってあげよう。」(後端 28:1)


 387
【玉】
 10画
 𠂔 kuon 𠂔 khwun
 後中 khunt 上古 khwunt

語成分 宝石。宝玉。貴重な宝物。／本来はこ

の字単体で透き通らない宝石や上等な宝物を指しており、**賈**(ニ 五 ヰ)と対になる語であった。現代では専ら通貨単位として用いられる字であり、宝石の意味では代わりには**名** **賈**(ニ 五 ヰ)などの熟語が用いられる。

雲国の通貨単位。玉。 **閼連語** **賈**(ニ 五 ヰ)

【例文】 **交珎平蠻** **笮笮** **×** **奈** **今平**「この袋を開けられたら中の**玉**(紙幣)をあげるよ」

【玉川】
 ㄩㄣˋ ㄅㄛˋ
 kùnhú

○ **名** 玉川。クオン川。 **世界観** 霧国南部の神旭山脈から北東に向かって流れ、豊東洋に注ぐ同国最長の河川。古代より文明の掬り所となってきた河川であり、その文化的歴史的影響は非常に広範囲に及ぶ。

𩚑 333
【肩】
15画
kuol 肩
khui 上古
khui 後中

名 肩。かた。胴体の上部、首の周りの部分。
腕の付け根の関節。

肩こり。肩痛。
【肩痛】
口々了々 Kuolmno

日 g

妣

367 妹 6画 日小 上古 gā
後中 gā
妹。年下の女兄弟。

可

317 耳 5画 日小 上古 gai
後中 gāi

名 耳。耳介。イヤー。／頭の両脇にある、音を聞くための器官。及動 聞く。聴く。音を聞く。【関連語】風(フヅ) 【例文】夢林(リ)可(可)耳(耳)私(私)大(大)机(机)。「そしてアリスはこれ聞いて、さほど不思議だとは思いませんでした。」(竹六 33)

可

317 耳 5画 日小 上古 gai
後中 gāi

物語。ストーリー。お話。昔話。故事。／ある物事の一部始終について、古くから語り伝えられる話。【例文】妄(妄)可(可)破(破)形(形)对(对)登(登)同(同)吟(吟)。「その物語は長い間語り継がれている。」

可

317 耳 5画 日小 上古 gai
後中 gāi

聴力。耳の良度。／耳が良いといった表現では形容詞大(20ジ)を用いる。

可

317 耳 5画 日小 上古 gai
後中 gāi

イク。集音器。／音を取得する機械。

厩

230 糞 8画 日小 上古 gēi
後中 gēi
糞。体外に排出される消化された食物からなる固体。

冊

417 羅 5画 日小 上古 gwan
後中 gānH

名 列。行列。並び。不及動 連なる。並び。／たくさんのもものが繋がって並ぶこと。【例文】口(口)一。妄(妄)入(入)旋(旋)吟(吟)破(破)命(命)死(死)后(后)私(私)留(留)。「口を慎め…。そいつは時々、デイスブレイの符号の羅列を読んだ。」(後端 57:1)

冊

417 羅 5画 日小 上古 gwan
後中 gānH

名 レール。鉄道。線路。路線。／列車が通る道としての「鉄道」と、交通機関としての「鉄道」のどちらの意味でも用いられる。【関連語】軀(ク) (11ジ) 【例文】私(私)宣(宣)鳳(鳳)本(本)左(左)理(理)圖(圖)掘(掘)后(后)亡(亡)。「季節外れの大雪が鉄道の運行に影響している。」

冊

417 羅 5画 日小 上古 gwan
後中 gānH

熟語。連語。句。／複数の零字からなる単語。

冊

417 羅 5画 日小 上古 gwan
後中 gānH

フ gāncāigō 名 接続詞。／零語における

伝統的な品詞分類の二。

冊

417 羅 5画 日小 上古 gwan
後中 gānH

名 文章。連続した文。テキスト。段落。／二つ以上の文が並ぶことで構成される文章。但し実際には単独の文を指しても使われることがあり、あらゆる文章を指す(疎(6ジ))の類語的な側面が大きい。【対義語】衆(55ジ)

川

28 川 3画 日小 上古 gēi
後中 gāi

数 3.さん。【例文】川(川)中(中)大(大)罪(罪)矣(矣)。「三人の人が(さん)に(さん)に(さん)に。」

川

28 川 3画 日小 上古 gēi
後中 gāi

ハ gāimānmū 名 3次元。三次元。立体。

川

28 川 3画 日小 上古 gēi
後中 gāi

凡 gāllacāi 名 三角形。トライアングル。／三本の線分と二つの角からなる多角形。

口

7 口 3画 日小 上古 gēi
後中 gāi

名 口。【例文】岩(岩)口(口)形(形)夢(夢)林(林)可(可)耳(耳)私(私)大(大)机(机)。「暑い日が続いて水分が足りず、私は喉が渴いてしまいました。」(ZpDnC 5)

不及動 黙る。沈黙する。口を噤む。言い淀む。
言葉に詰まる。／それまでの発話を中断し、
 何も言わない状態になること。黙れによ
 うに、強い口調で相手の言動を制止すると
 きにも用いられる。【例文】**黙口**、平弘heira風fu
 本寺honji至shiz。【黙れ。蛙様の御前だぞ。】

【名】 通行止め。通行禁止。足止め。**【及動】** 通行止める。通行を規制する。足止める。
【例文】 悪天候で、**足止め**。交通が、**通行止め**。
 「現在この道を工事しているため、通行止めです。他の道をお使い下さい。」

ぐんま **gōngcùnduòl** 名 **血小板**／出血
 時に固まって止血する働きを持つ血球。

縁を切る。絶交する。決別する。別れる。／人間関係を終わらせる行為。

嫌う。避ける。恨む。厭う。／対象を好

まず、意図的に避ける状態を指す。形嫌いな。苦手な。【例文】 吾人私煙ヲ厭ひ。彼ほど野菜を嫌う人はいない。」

名 不満。クレーム。苦情。／納得できないこと
とや不公平なことに対しての怒り。

gòn'guahà 名 クーター。

抑える。押さえる。抑制する。止める。

鎮める 防ぐ 留める。／物が動かないように物理的に押し留めること。転じて、ある事態が起るのを防ぐこと。形 ①ずしりと②した。重い。動かしづらい。／単なる夫(ハブ)よりも、「その場に留まっていて動かしづらい」というニュアンスが加わっている。①ど

【鎮事】日一、日十、gǐng 名

gə'gɪəm 名 貴ガス。第18族元素。不活性ガス。ヘリウムを始めとする、化学的に不活性な第18族に属する元素の総称。

重病。大病。重症。／簡単には対処できない
ような病気。

質量。マス。／物理的な質量。力に対して

物体がどれだけ加速されにくいかの指標。一般的な「重さ」という表現には**重量**（**重さ**）、物理的な文脈で物体に働く重力としての「**重量**」に言及する場合は**質量**（**重さ**）が用いられる。

り。ルール。／＼**名**①**法則**。仕組み。システム。規則。決まり。ルール。／＼**記**(60ページ)は国家の法令や規則。

【箔枯】 日ハ、ルハ、
gū'son

【箔紐】 日ハ、フヘ
gū'vōl

【箔網】 日ハ、了E
gū'mūa

【箔筋】 日ハ、七ハ、
gū'liās

【子】 235 画 日ハ、
gūm 後中 gūmH

【子】 235 画 日ハ、
gūm 後中 gūmH

【子】 235 画 日ハ、
gūm 後中 gūmH

【子】 235 画 日ハ、
gūm 後中 gūmH

【子】 235 画 日ハ、
gūm 後中 gūmH

【子】 235 画 日ハ、
gūm 後中 gūmH

【子】 235 画 日ハ、
gūm 後中 gūmH

【子】 235 画 日ハ、
gūm 後中 gūmH

【子】 235 画 日ハ、
gūm 後中 gūmH

【子】 235 画 日ハ、
gūm 後中 gūmH

【子】 235 画 日ハ、
gūm 後中 gūmH

【子】 235 画 日ハ、
gūm 後中 gūmH

【子】 235 画 日ハ、
gūm 後中 gūmH

【子】 235 画 日ハ、
gūm 後中 gūmH

て時折用いられる。**世界観** 語源に関しては様々な説があり、北方の神話由来であるとする説や、音写による借用語であるとする説などがあるが、結局のところ語源は未詳である。

姦呑 【彩言】 日ヶ 子ハ又
guòbùn

名 お世辞。おべつか。
不及動 媚びへつらう。

【彩幕】
日へ七ふ又
guò lǎn

名冠。王冠。帽子。／貴族や旭天など身分の高い人々が、階級を示すために頭に被った装飾品。その色によつて身分が区別されていたことから。

170
 【姉】
 4画
 guōng 日
 後中 上古
 gūnūng 日
 gūng 日

[名] 姉。年上の女兄弟。**[例文]** 姪と甥をこころ
 五郎、四郎曾執^{ごごろうそくしつ}へ。「姉のクッキーをこそ
 り食べようとしたが、姉に止められた。」

姊妹 日午 日木 guon gga

名 姉妹。女きょうだい。


 239
【香】
 8 画
 日 月 七
 後 中 上 古
 gōng sǐ jūn
 gū huī

及動 SがO(香り)を嗅ぐ。匂いを感じる。
名 匂い。香り。臭い。 例文 梔子金石 *myō yānkō shō*
香る。

金元聖徳太子、^{（一）} 出立所飛来^{（二）} 炎^{（三）}、^{（四）} 出立所^{（五）}
 細田^{（六）} 嶺^{（七）} 田^{（八）} 平^{（九）} 本^{（一〇）} 至^{（一一）} 入^{（一二）} 宇宙の遙か
 彼方で家に帰り、突然ご飯の香りに気づいて、見知ったドアの目の前で再び夢を見よう
 としているそのために。」（後端 60c）

【香杖】
日々七 中
guòlǒng
名

お香。線香。芳香のある煙を出す道具。

金匱 香藥 日下 十凡^又 guoliwán

コ【名】ハーブ。薬草。香草。スパイス。【類語】
＊素吟（169ページ）【例文】×表金私音松松末
状。「〇種類のスパイスがあなたを健康にし
ます。」

𩇛風
【銅材】
巾巾、下凡へ了
qàojiām

五
144
立
4画
quai 虫凡
stjhe 上古
tsyne 後中

不及動 立つ。直立する。／支えなしでも倒れ

たり崩れたりしない状態。【例文】八咫唐后
 委弓 廿叱大罽弓夢叱大素奈、酉林刀
 芑矢、狂齒父罽米弓叱咤、酉五世子規瘳
 米叱素三、玄略咄、「その日は暑くて、とて

も眠く頭がぼんやりしていたのでよく考えられませんでした。アリスはゆつくりと考ええていました、ヒナギクで輪を作るのはきつとていました、立つて花を取りに行くのも面倒だし、どっしりしようかと。」〔竹六二二〕

五 立跳 𧢲 𧢲 qàigō 及動

立ち上がる。行動を起こす。蜂起する。

匹 pǐ wèn dùo 匹 mòng gài 匹 kǐ nò ké nò nénlǐ sùo híméi kén
 匹 pǐ wèn dùo 匹 mòng gài 匹 kǐ nò ké nò nénlǐ sùo híméi kén

迎 yíng 迎刃而解 yíng rěn ér jiě
迎刃而解 yíng rěn ér jiě
迎刃而解 yíng rěn ér jiě

白兔が上着のポケットから時計を出し、それを

を見て再び走り出したとき、アリスは上着にポケットがあつて、服から時計を出すゝゝな

ど見たことがないと気付いたので、すぐ立ち上がりました。」(竹六 35)

五出 𤇗 𤇗 𤇗 𤇗 𤇗 qàitàng

及動 火をつける。着火する。燃やす。

五珪 【立橋】 虫凡 七ヶ **gǎilùo** 名

踏み台。足場。／高い場所のものを取ったりするために足場として使う小型の椅子や机。より大掛かりなものは**臺凳**(178ページ)と呼ばれ区別される。

𠂔
【立人】 𠂔 𠂔 𠂔
qāihà
名 大

人。成年。成人。／成人を経験した人間

【世界観】 霧国を含む永球の多くの国家では、出生から満10永球年(10地球年)経過することが法律上の成人の基準とされている。

五方 **【立高】** 虫凡 十一 へ
qāiwǎng

名 背丈。身長。体高。丈。／「背が高い」は方

(17_ジペ)、「背が低い」は古(165_ジペ)で表現される。

𠂔 263
【知】
10画
qāi 𠂔
後中上古
tsvneH stjɛjs

●知っている。分かっている。存じてい

る。②知る。学ぶ。理解する。知識を蓄える。【例文】杞^き矣^ひ。 「だから知っている。」（後端 17:2）

𪛗 𪛗

【知悉】 𪛗 𪛗

qàixùo

形

おなじみの。馴染みの。慣れた。知り尽くした。親密な。幼馴染の。詳しい。／長い間知り合いで、互いによく知っているような仲。また、何度も経験や学習をしたためにもはや疑問を抱かない物事。

【例文】**掘り出し品** **金平聖徳庵** **八世** **改姓** **鳳来飛雲** **栄光** **改姓** **岩田** **改姓** **堀江** **和泉** **本名** **本太夫入**「宇宙の遙か彼方で家に帰り、突然ご飯の香りに気づいて見知ったドアの目の前で再び夢を見ようとしているそのために。」（後端 60c）

𪛗 𪛗

【知思】 𪛗 𪛗 qāi·sào

名 知識。 例文 殫心狀迷 殆死、 起死回生。

知恥醜ちしづしう吞入。「彼はいつも適当な知識を広めるので、すぐに嘘つきだと思われるてしまう。」

𦍋 𦍋

及動 興味を持つ。気になる。知りたがる。詮索する。**例文** 林刀**研** **込**今矣、**起**對不**収**辱 (kei kin yō kon ya, qǐ duì bù xiū rú)

旦后玗玗下全。「アリスがそれに興味を持って、兎を追って野原を渡ると、白兎が垣の下大きな穴に飛び込むところを見るのにちょうど間に合いました。」(竹六三六)

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

【名】音。曲。ミュージック。楽器などで演奏

氣に罹る。災難や損害に遭う。【例文】
 気にかかると、災難や損害に遭う。
 Kairarete kagigaru shōkame wa kairarete shō baa
 気にかかると、災難や損害に遭う。
 Kanaiko wa, tsunamida kara akairin go o mora
 う。(ZPDIC #4)

【賜病】
下千モ ャハヌ jécúm
病気に罹る。罹患する。感染する。
不及動

【賜善】
下千々 三九
jèl'úas
感

ありがとうございます。ありがとう。感謝を
 伝える挨拶。／概ね相手との関係性に関わ
 らず使える挨拶。特定の事柄に関して感謝
 を伝える際は「二世(40ページ)一充(26ページ)」と
 表現する。

𨮑
632
【栽】
12画
上中古 sdjaws
後中 dzyoH

[及動] 植える。植え付ける。蒔く。作付けする。
栽培する。／植物を発芽させるために、地面などに人為的に種子や苗を埋めること。**[名]**
種・種子。シード。**核**。／穀物や草木が芽を出し育つ元になるもの。**[例文]** 小麦は入冬前（こぞ）に蒔く。
可^{may}蒔^{plant}、野^{wild}稻^{rice}、刈^{harvested}斥^{land}、風^{wind}テ^{the}木^{tree}ヲ^{and}木^{wood}ノ^{of}節^{branch}。
「そしてそいつは物語の中を進む。Julianと呼べられた人に植ええられた情報の森を。」(後編 52-3)

【栽田】
フク
ヤーヌ
jòcùn

る。／育てるために作物の種や苗を植える。作業。田か畑かは問わない。②準備する。根回しする。下準備をする。工作する。段取りする。／実際に行動を起こす前に、水面下で密かに準備を行うこと。

【栽草】
カサヅル *jōcài*
名作

物。農作物。農産物。青果。／畑や田に植え
られる植物の総称。

𩇛 322 頤 8画 上 古 sɕjaŋ 後 中 dʒyɪ

名 おとがい。頤。顎。あご。顎の先端。／顎の
 下端にある尖った部分。唇より下をすべて
 指す間(70ページ)との違いに注意。

泉
 168
 【旭】
 7画
 上 古
 後 中
 dzjuk
 dzjuk

名朝・午前／日が昇ってから昼までの時間
 帯を指す。これより早い時間帯は**暁**(101ページ)とされることが多い。**不及動** 灼陽が出る。

京漿
 【旭餐】
 下ハ斗フヘ七
 jūdōi
 名

[illegible]

理を作ってくれます。」(ZpDIC #1)

【旭天】
八人 juväs
名

旭天。霧国の王。

泊 642 13画
jung; 下
後中 上古
dzyungH sqjung

名 港。港湾。船着き場。波止場。埠頭。／船が泊まることの出来る施設。
語成分 泊まる場所。休憩所。

焔
 509
 菜
 9画
 上 古
 後中
 dzult
 dzult

[名] 野菜・蔬菜。青果。青菜。／日用語としては専ら焔ヒヤク（ヒヤク）が用いられる。**[類語]** ＊焔ヒヤク（ヒヤク）**[例文]** 「焔ヒヤク野菜ヒヤク大旨、逆菜矣。」
牛蒡ヒヤク。「野菜を丁度いい大きさに切り、熱湯に入れる。」

焔氷
 【葉田】
 戸八七
 一ノ又
 jūcîn

名 畑。耕作地。／野菜や穀物を栽培するた
めの耕作地。特に野菜のものを指すことが
多い。

焗 **【菜名】** ㄐㄨˋ ㄘㄞˊ jùcài **名**

野菜。蔬菜。青果。青菜。葉物。／食用になる植物の総称。栽培されているか自生かは含意しない。場合によってはキノコなどの菌類

【音板】ロコ 十凡 jūa'tai 名

レコード。CD。

【音機】ロコ 千々 jūa'el 名 ス

ピーカー。／音を鳴らす機械。

【落】315 画 ロコ 上 古 zyat

【不及動】落_る。落_下する。物が重力によって移動する。接頭_しきる。完全に_{する}。し終える。最後まで_{する}。／動作を中断せず、最後まで行_うユアンスを動詞に加える。【例文】林_リ刀_ト日_ニ叩_ヒ仰_{ヨウ}評_{ヒョウ}「アリスは永遠に落ちきらないのでしょうか。」(竹六_{タケロク})

【落立】ロコ 虫凡 jūa'gan 名

垂直。鉛直。／凡₍₁₂₄₎や二₍₁₃₁₎が体の向きを基準とするのに対し、こちらは重力が働く方向を指す。【関連語】巨凡₍₁₃₁₎【例文】配_ヘ平_{ヘイ}扁_{ヘン}回_{ヘイ}評_{ヒョウ}于_ニ評_{ヒョウ}五_ゴ。「手を離すと物は垂直に落ちる。」

【落食】ロコ 千 jūa'bua

【及動】食_{べる}。完食する。食_べつくす。平らげる。／扣₍₇₎に接辞評₍₂₈₎が付いた形。残さず_{して}食_{べる}こと。

【落喉】ロコ 八 jūa'sas

【及動】飲_{みる}。飲_み干_す。完飲する。／凡₍₈₈₎に接辞評₍₂₈₎が付いた形。残さず_{して}飲_むこと。

【落力】ロコ 又凡 jūa'nai

【名】重力。引力。グラビティ。【例文】齒_シ平_{ヘイ}垢_コ疳_{カン}、野_ノ評_{ヒョウ}九_ク、今_{イマ}三_{サン}凡_凡。「もう一度体を持つて、大気の中で、重力に従_うんだ。」(後端_{コノヘ})

【落数】ロコ アール jūa'nis

【及動】カウントダウンする。秒読_みする。／大きい数から小さい数に向_かつて順に数を讀_み上げる動作。【類語】呆_{バカ}策₍₂₉₎

【落羽紙】ロコ 七 jūa'tengnas 名 パラシウト。落下傘。／頭上_に広_げて風を受け、その力で落下速度を調整_{する}ことを目的とした道具。

【落地】ロコ ロフ jūa'hó

【不及動】失_敗する。し_くじる。ミスする。頓挫する。やり損_なう。／成句「歪_ヒ凡_凡評_{ヒョウ}豆_{トウ}(34)」由来の表現。方法や状況が悪_{かつ}た

めに目標が達成されず、悪い結果がもたらされること。

【落指肘】ロコ 一 jūa'vohim 成句「Sが末に「げんこつを食_らわせる。懲_らしめる。制裁を加える。お仕置_{する}。懲罰_{する}。／対象を拳で殴ること。転じて悪事を働_{いた}者を痛_い目に遭_わせて懲_らしめること。」

【落重】ロコ 十 jūa'vân

【名】重量。ウエイト。／物理的な意味での重量。特定の環境下で物体に働く重力の大きさを指す。【類語】癡₍₁₄₎

【珠】416 画 ロコ 上 zyans

【丸】10 画 ロコ 後 zyanH

【丸】丸。まる。円形。丸いもの。【名】赤血球。／酸素を運ぶ血球の一種。

【珠花】ロコ 千 jūanxàs

【名】菊。キク。／花びらが放射状に並んでいる、円形の花を持つ植物。【例文】凡_凡叩_ヒ岩_ガ豆_{トウ}、廿_ニ凡_凡平_{ヘイ}野_ノ家_カに_ニ交_{カウ}奏_{ソウ}、林_{リン}刀_ト茸_{コノ}

吐架【昼餐】ムトメ ヌフヘ tassai

名 昼ごはん。昼食。

吐口【昼南】ムトメ ナー tassung

名 正午。真昼。／30刻の分丁度。または、灼陽が子午線を通過する時刻。標準時子午線上に在る場合台には両者が一致する。

金 365 画 ムトメ 上古 twang
tang 後中 tang

名 家。民家。うち。ハウス。一般人が住む住宅。不及動 住む。居住する。生活する。例文 田舎金全金。『落ち着いた家の夢を見た。』(後端 11:4)

金夷【庵昆】ムトメ 中 tangqi

家族。ファミリー。親族。親戚。例文 田金夷 倉金夷又大珍愛田金夷。『家では絶対に家族みんなが、私にはすごい勇気があると思うわー』(竹六 7:2)

金燈【庵蔓】ムトメ ムフメ tangtòn

名 LAN。ローカルエリアネットワーク。

金礎【庵談】ムトメ テー tangxi

雑談。おしゃべり。日常会話。／礎(8ジ)の

中でも、特に日常的な会話を指す。類語 氷礎(6ジ)

金瑛【庵癒】ムトメ ロエメ tanghua

不及動 入院する。療養する。／病気の治療のために、病院などの施設に滞在して生活することを指す。

風 677 画 ムトメ 上古 tang
tang 後中 tang

名 ① そよ風。風。弱風。心地良い風。／嵐のように強くない、心地良い程度の日常的な風。② 薄布。ペール。レース。箔。薄く作られた軽い布。また、金属を薄く伸ばした箔。

出 16 画 ムトメ 上古 tang
tang 後中 tangh

名 ① 火。炎。② 木教の五元素の一つ。③ 酸素。／出風(31ジ)の略。例文 平出風 田出風 聖幹全金。田出風 聖幹全金。『このプレイヤーは日光と森林の夢を見た。火と水の夢を見た。』(後端 11:1)

出炭【火憤】ムトメ 田 tanggua

名 激怒する。激しく怒る。

出風【火材】ムトメ 戸メ tangjia

名 酸素。O。

出風【火圃】ムトメ ヌメ tangdai

名 オープン。かまど。竈。炉。

出和【火食】ムトメ 戸 tanghua

名 ① 燃料。焚物。火種。薪。炭。ガソリン。／暖を取ったり、動力を得たりするために燃やす可燃物。直訳では「火の餌」といった意味合い。② やる気。モチベーション。意欲。熱意。気概。情熱。原動力。動機。／ある物事に積極的に向かおうとする意欲。例文 田出和 田出和 田出和 田出和。田出和。『今日は勉強せずに今すぐ寝たいな。やる気が起きないんだ。』

出風【火門】ムトメ ヌメ tangfū

名 建物などの南口。南側の出入り口。／丁風(150ジ)の出(31ジ)が方角の南に対応することから。

出火【火天】ムトメ 人 tangyās

名 焰星。

出火【火天慶】ムトメ 人 tangyās

名 焰星節。／霽国において最も重要な祭日である火天(11ジ)の一つ。

𪔵𪔶𪔷

【引磁】
△キム
□キム
tèkuàn

名 磁石。マグネット。／**魅**(10ジペー)と同義。

【引車】
今、今 tête
名 馬

車。荷馬車。／馬などの動物に引かせる、荷物や人を運ぶための車両。

𧈧平

【引手】

△千△
△巾△
tètāos

【及動】Sが^二連れて行く^一。導く。案内する。率いる。／対象は間に挟んで、^二魁（32ペ）／半（37ペ）^一という形で「^レを連れて行く」という意味で用いられる。

魁平夸
【引手土】
𡵓 𡵔 𡵕 𡵖 𡵗 𡵘 𡵙 𡵚 𡵛 𡵜 𡵝 𡵞 𡵟 𡵠 𡵡 𡵢 𡵣 𡵤 𡵥 𡵦 𡵧 𡵨 𡵩 𡵪 𡵫 𡵬 𡵭 𡵮 𡵯 𡵰 𡵱 𡵲 𡵳 𡵴 𡵵 𡵶 𡵷 𡵸 𡵹 𡵺 𡵻 𡵼 𡵽 𡵾 𡵿 𡶀 𡶁 𡶂 𡶃 𡶄 𡶅 𡶆 𡶇 𡶈 𡶉 𡶊 𡶋 𡶌 𡶍 𡶎 𡶏 𡶐 𡶑 𡶒 𡶓 𡶔 𡶕 𡶖 𡶗 𡶘 𡶙 𡶚 𡶛 𡶜 𡶝 𡶞 𡶟 𡶠 𡶡 𡶢 𡶣 𡶤 𡶥 𡶦 𡶧 𡶨 𡶩 𡶪 𡶫 𡶬 𡶭 𡶮 𡶯 𡶰 𡶱 𡶲 𡶳 𡶴 𡶵 𡶶 𡶷 𡶸 𡶹 𡶺 𡶻 𡶼 𡶽 𡶾 𡶿 𡷀 𡷁 𡷂 𡷃 𡷄 𡷅 𡷆 𡷇 𡷈 𡷉 𡷊 𡷋 𡷌 𡷍 𡷎 𡷏 𡷐 𡷑 𡷒 𡷓 𡷔 𡷕 𡷖 𡷗 𡷘 𡷙 𡷚 𡷛 𡷜 𡷝 𡷞 𡷟 𡷠 𡷡 𡷢 𡷣 𡷤 𡷥 𡷦 𡷧 𡷨 𡷩 𡷪 𡷫 𡷬 𡷭 𡷮 𡷯 𡷰 𡷱 𡷲 𡷳 𡷴 𡷵 𡷶 𡷷 𡷸 𡷹 𡷺 𡷻 𡷼 𡷽 𡷾 𡷿 𡸀 𡸁 𡸂 𡸃 𡸄 𡸅 𡸆 𡸇 𡸈 𡸉 𡸊 𡸋 𡸌 𡸍 𡸎 𡸏 𡸐 𡸑 𡸒 𡸓 𡸔 𡸕 𡸖 𡸗 𡸘 𡸙 𡸚 𡸛 𡸜 𡸝 𡸞 𡸟 𡸠 𡸡 𡸢 𡸣 𡸤 𡸥 𡸦 𡸧 𡸨 𡸩 𡸪 𡸫 𡸬 𡸭 𡸮 𡸯 𡸰 𡸱 𡸲 𡸳 𡸴 𡸵 𡸶 𡸷 𡸸 𡸹 𡸺 𡸻 𡸼 𡸽 𡸾 𡸿 𡹀 𡹁 𡹂 𡹃 𡹄 𡹅 𡹆 𡹇 𡹈 𡹉 𡹊 𡹋 𡹌 𡹍 𡹎 𡹏 𡹐 𡹑 𡹒 𡹓 𡹔 𡹕 𡹖 𡹗 𡹘 𡹙 𡹚 𡹛 𡹜 𡹝 𡹞 𡹟 𡹠 𡹡 𡹢 𡹣 𡹤 𡹥 𡹦 𡹧 𡹨 𡹩 𡹪 𡹫 𡹬 𡹭 𡹮 𡹯 𡹰 𡹱 𡹲 𡹳 𡹴 𡹵 𡹶 𡹷 𡹸 𡹹 𡹺 𡹻 𡹼 𡹽 𡹾 𡹿 𡺀 𡺁 𡺂 𡺃 𡺄 𡺅 𡺆 𡺇 𡺈 𡺉 𡺊 𡺋 𡺌 𡺍 𡺎 𡺏 𡺐 𡺑 𡺒 𡺓 𡺔 𡺕 𡺖 𡺗 𡺘 𡺙 𡺚 𡺛 𡺜 𡺝 𡺞 𡺟 𡺠 𡺡 𡺢 𡺣 𡺤 𡺥 𡺦 𡺧 𡺨 𡺩 𡺪 𡺫 𡺬 𡺭 𡺮 𡺯 𡺰 𡺱 𡺲 𡺳 𡺴 𡺵 𡺶 𡺷 𡺸 𡺹 𡺺 𡺻 𡺼 𡺽 𡺾 𡺿 𡻀 𡻁 𡻂 𡻃 𡻄 𡻅 𡻆 𡻇 𡻈 𡻉 𡻊 𡻋 𡻌 𡻍 𡻎 𡻏 𡻐 𡻑 𡻒 𡻓 𡻔 𡻕 𡻖 𡻗 𡻘 𡻙 𡻚 𡻛 𡻜 𡻝 𡻞 𡻟 𡻠 𡻡 𡻢 𡻣 𡻤 𡻥 𡻦 𡻧 𡻨 𡻩 𡻪 𡻫 𡻬 𡻭 𡻮 𡻯 𡻰 𡻱 𡻲 𡻳 𡻴 𡻵 𡻶 𡻷 𡻸 𡻹 𡻺 𡻻 𡻼 𡻽 𡻾 𡻿 𡼀 𡼁 𡼂 𡼃 𡼄 𡼅 𡼆 𡼇 𡼈 𡼉 𡼊 𡼋 𡼌 𡼍 𡼎 𡼏 𡼐 𡼑 𡼒 𡼓 𡼔 𡼕 𡼖 𡼗 𡼘 𡼙 𡼚 𡼛 𡼜 𡼝 𡼞 𡼟 𡼠 𡼡 𡼢 𡼣 𡼤 𡼥 𡼦 𡼧 𡼨 𡼩 𡼪 𡼫 𡼬 𡼭 𡼮 𡼯 𡼰 𡼱 𡼲 𡼳 𡼴 𡼵 𡼶 𡼷 𡼸 𡼹 𡼺 𡼻 𡼼 𡼽 𡼾 𡼿 𡽀 𡽁 𡽂 𡽃 𡽄 𡽅 𡽆 𡽇 𡽈 𡽉 𡽊 𡽋 𡽌 𡽍 𡽎 𡽏 𡽐 𡽑 𡽒 𡽓 𡽔 𡽕 𡽖 𡽗 𡽘 𡽙 𡽚 𡽛 𡽜 𡽝 𡽞 𡽟 𡽠 𡽡 𡽢 𡽣 𡽤 𡽥 𡽦 𡽧 𡽨 𡽩 𡽪 𡽫 𡽬 𡽭 𡽮 𡽯 𡽰 𡽱 𡽲 𡽳 𡽴 𡽵 𡽶 𡽷 𡽸 𡽹 𡽺 𡽻 𡽼 𡽽 𡽾 𡽿 𡾀 𡾁 𡾂 𡾃 𡾄 𡾅 𡾆 𡾇 𡾈 𡾉 𡾊 𡾋 𡾌 𡾍 𡾎 𡾏 𡾐 𡾑 𡾒 𡾓 𡾔 𡾕 𡾖 𡾗 𡾘 𡾙 𡾚 𡾛 𡾜 𡾝 𡾞 𡾟 𡾠 𡾡 𡾢 𡾣 𡾤 𡾥 𡾦 𡾧 𡾨 𡾩 𡾪 𡾫 𡾬 𡾭 𡾮 𡾯 𡾰 𡾱 𡾲 𡾳 𡾴 𡾵 𡾶 𡾷 𡾸 𡾹 𡾺 𡾻 𡾼 𡾽 𡾾 𡾿 𡿀 𡿁 𡿂 𡿃 𡿄 𡿅 𡿆 𡿇 𡿈 𡿉 𡿊 𡿋 𡿌 𡿍 𡿎 𡿏 𡿐 𡿑 𡿒 𡿓 𡿔 𡿕 𡿖 𡿗 𡿘 𡿙 𡿚 𡿛 𡿜 𡿝 𡿞 𡿟 𡿠 𡿡 𡿢 𡿣 𡿤 𡿥 𡿦 𡿧 𡿨 𡿩 𡿪 𡿫 𡿬 𡿭 𡿮 𡿯 𡿰 𡿱 𡿲 𡿳 𡿴 𡿵 𡿶 𡿷 𡿸 𡿹 𡿺 𡿻 𡿼 𡿽 𡿾 𡿿 𢀀 𢀁 𢀂 𢀃 𢀄 𢀅 𢀆 𢀇 𢀈 𢀉 𢀊 𢀋 𢀌 𢀍 𢀎 𢀏 𢀐 𢀑 𢀒 𢀓 𢀔 𢀕 𢀖 𢀗 𢀘 𢀙 𢀚 𢀛 𢀜 𢀝 𢀞 𢀟 𢀠 𢀡 𢀢 𢀣 𢀤 𢀥 𢀦 𢀧 𢀨 𢀩 𢀪 𢀫 𢀬 𢀭 𢀮 𢀯 𢀰 𢀱 𢀲 𢀳 𢀴 𢀵 𢀶 𢀷 𢀸 𢀹 𢀺 𢀻 𢀼 𢀽 𢀾 𢀿 𢁀 𢁁 𢁂 𢁃 𢁄 𢁅 𢁆 𢁇 𢁈 𢁉 𢁊 𢁋 𢁌 𢁍 𢁎 𢁏 𢁐 𢁑 𢁒 𢁓 𢁔 𢁕 𢁖 𢁗 𢁘 𢁙 𢁚 𢁛 𢁜 𢁝 𢁞 𢁟 𢁠 𢁡 𢁢 𢁣 𢁤 𢁥 𢁦 𢁧 𢁨 𢁩 𢁪 𢁫 𢁬 𢁭 𢁮 𢁯 𢁰 𢁱 𢁲 𢁳 𢁴 𢁵 𢁶 𢁷 𢁸 𢁹 𢁺 𢁻 𢁼 𢁽 𢁾 𢁿 𢂀 𢂁 𢂂

ガイド。案内人。案内役。

魁木 【引昇】 とくへ tédài 及動

① 引き上げる。引っ張り上げる。持ち上げる。引く。／物体を上から引き寄せて持ち

上げる動作。②救う。助ける。救済する。困難な状況に置かれた者に手助けをして、その状況から抜け出させることを指す。

【例文】吾人凡て救難本主義。「それは我々が救えることではない。」（後端19:3）

凡
56
風
4画
tem
上中後
tjemp
temp

名
一 風。気流。ウィンド。
二 旗。幟。／目印

の。現代では普通冷風（48ページ）と呼ばれ、単体では造語成分としてのみ使われる。

不及動 **（風が）吹く。そよぐ。** **【類語】** **（吼）**（63ページ）

圀 風物 𠄎 𠄎 𠄎 ténkào

名 気体。ガス。／物質の状態の一つ。 関連語

云クモ屋ヤ(12ジ)、平ヘイ屋ヤ(59ジ) 例文 鴨カモ父ファ父ファ齒シ

風車 風輪 ふうくる ふうくる

5 **名** 風車。ウィンドミル。／風を受けて回

転力を生み出す機構

関連語

西暦(6ジ)

【風音】
風の音。風切り音。

𠂔
489
到
9画
ㄌㄢˊ
tài
上古
後中
tèl

行き着く。たどり着く。到着する。

と。最終的に。【類語】**干**(162ページ)【例文】**平**までいへ。／**範囲**の終点となる場所や時間を示す。【副】**ついに**。やっと。ようやく。とうとう。

「この電車はまもなく
 榑^{kyote}×栗^{hongo}×**匹**替^{hiki}×**匹**×**全**^{zen}。
 く燦^{sen}川^{sen}駅^{eki}に到着します。」

【到任詞】
 今斗八又土木

五 teldunzàng 名 目的語。客語。賓語。

文の構成要素の一つで、主に動作の対象を表す部分。**関連語** 允宣礪(97ページ)、誓宣礪

【到居做字】ム千七 ヲ千へ

了 可へて 中 *télbênhĩlqò* 名 及動詞。

𠂔 𠂔
【到天】
𠂔𠂔 人个
tél'vās

成功する。達成する。成就する。果たす。

[illegible]

「新しい計画は成功する確率が低いが見返りは大きい。」

𤝵 【𤝵】 ㄊㄠˋ ㄅㄨˋ tāngmù

17 (ジヘン) 対義語 互入 (23 (ジヘン)) 例文 旺丁 旺

川、玄工由昭燃矢。二子供であつても、自分の自由な考えによつて行動するべきだ。」

旺

厝

春等

厶巾了个儿
tao'nuos

名 春分。恒星が春分点を通過する日。

𠂔 244 【美】 7画
tào 𠂔
後中 thok 𠂔
上古 thweks 𠂔

形 美しい。綺麗な。きれいな。／人物の容貌や景観、物品など様々なものの美しさを形容できる。**【例文】**夏合王磯^{なつあひおういそ}某本^{みづほん}を^て読^よむは、世^よに大^{おほ}く状^{さう}す。

「言語は素晴らしく美しいコミュニケーションの方法を作り出す。そして万能だ。」(後端 6:1)

【美技】
△巾、△干 tāofē
名 芸

術。美術。アート。工芸。／絵画、音楽、彫刻
工芸などを含む狭義の芸術。〔類語〕＊尨狂（
％ジェー）

美人 𠂇𠂇𠂇𠂇 tànhà 名

顔立ちが整った人。美女。イケメン。

平 ³【手】 4画
tâos 中古 invest
後中 thosp

【名】手。／手首及びその下の腕部分は含まない。【例文】**平半** heiban **竝** hebi **同** do **平** heiban **寸** sun **平** heiban **五** go。「手を離すと物は垂直に落ちる。」

半忙 **【手根】**
ム巾へ 口ア *tāoskài*

名 手首。手の付け根。

平 纒 **【手覆】** ム巾^ムハ^ハ ヲ^ヲケ^ケ **tàosfuo**

【名】手袋。手套。グローブ。軍手。ミトン。／寒さなどから手を守るために被せる袋状のもの。それぞれの指が独立していないミトンのような手袋も指す。こちらは主に柔らかい布や毛で出来た防寒用のものを指し、汚れや負傷から手を守る頑丈なものは鉄俵(てつへい)と呼ばれる。

半啗 手何 ム巾へル 又巾へ七 tâosnào

一 **代名** どれ。どっち。どちら。／ 選択の疑問詞。少数の選択肢から選ぶ際に用いる。

半現 手腦 ㄊㄨㄢˋ ㄒㄩㄢˋ ㄒㄩㄢˋ ㄒㄩㄢˋ tāoshǎ

名 スマートフォン。スマホ。

平手 **【手巾】** へんてい ハンカチ tâosyé 名

タオル。手ぬぐい。ハンカチ。／手や顔、体などを拭くための布製品。語源的には手を拭くものを指すが、現代では大きさを問わず、全般的に用いられる。

𠂔
427
【異】
7画
上古 them
後中 thom

【形】違う。異なる。別の。違った。同じでない様子。
 【例文】
 配肴^{はいやく}八合、^{hachigō} 状^{じょう}所^{じょ}夾^{くわ}^{kyō} 癰^{よう}肴^{やく}白^{はく}回^{かい}そして宇宙^{うちゅう}は、君^{きみ}は他の全^{ぜん}ての物^{もの}と比べて違^{ちが}うといふはな^ない言^いった。」(後端 7:11)

【異言】ムロ 子ハ又 tàmbù

コ 不及動 反論する。対立する。異なる意見を主張する。

【異眞】
ム巾了 又ー了
tāomnī

三 形 偽の。フェイクの。 名 偽物。フェイク。

𡗗 異国 ム国 又ハ又 taomnu

その国以外の国家。外国。

【異外】
△巾了 可一又
tāomhìn

形 特殊な。特別な。例外的な。特異な。変則的な。唯一無二の。／他と異なつた性質や内

ユアンスが強く、例えば目上の者が部下などに仕事を割り振ることは指さない。【例文】^英 碓氷丸来^{碓氷丸来} 狛^狛。【訳】「その問題は私の得意分野だ。任せなさい。」

【狛猪扱^{狛猪扱}】 【与据向玉川^{与据向玉川}】

行^行 ムニョ^{ムニョ} ア^ア アハ^{アハ} □ケ^{□ケ} ロケ^{ロケ} □ト^{□ト}

tualmō'mukūonhōyām 成句 玉川の流

れに委ねよ。明日は明日の風が吹く。なるようになる。万事うまく行く。／将来のことを深く考えず、自然の流れに身を任せる姿勢を指す成句。先のことを考えて心配する人を励ます際に良く用いられる表現。

【狛^狛】 【写雷口^{写雷口}】 ムニョ^{ムニョ} ア^ア 凡^凡 日

干^干 tualmāin'gē 名 コンセント。電源口。

【狛^狛】 【写獎^{写獎}】 ムニョ^{ムニョ} 七^七 tualūo

不及動^{不及動} 「Sが木に」投票する。票を入れる。票を投じる。賛成する。反対する。

【狛^狛】 【桜^桜】 505 画 ム^ム 上^上 古^古 thu

名 桜。サクラ。春に花を咲かせる樹木。ピンク色の。桃色の。桜色の。【形

【狛^狛】 【桜玉^{桜玉}】 ム^ム □ケ^{□ケ} ヌ^ヌ tuokūon

名 さくらんぼ。チェリー。／桜の果実。

【悚^悚】 【桜彩^{桜彩}】 ム^ム 日^日、 tuogūo 名

ピンク。ピンク色。桃色。桜色。／薄く明るい赤色を指す。【例文】^日 又^又 悚^悚 四^四 本^本 吹^吹 穿^穿 鳳^鳳 之^之 世^世 界^界。【その時、ピンク色の目の白兔が突然走ってきました。】(竹六二二)

【否^否】 【倫^倫】 84 画 ム^ム、 上^上 古^古 thuks

名 いい。良質な。悪くない。良い。【副】 上手に。上手く。良く。【例文】 否^否。 「良いね。」(後端 351)

【否^否】 【倫強^{倫強}】 ム^ム、 七^七、 tuode 形

健康な。大丈夫な。健全な。良好な。／病や憂いがない状態を指すほか、問題なく機能する様子として生物以外にも使用される。

名 健康。健全。安泰。【例文】 × 喪^喪 之^之 親^親 音^音 否^否 否^否 不^不 状^状。【「C種類のスパイスがあなたを健康にします。」】

【否^否】 【倫味^{倫味}】 ム^ム、 ヌ^ヌ、 tuonūo

形 美味しい。おいしい。味が良い。【例文】 奇^奇 恥^恥 所^所 現^現 否^否 否^否 恥^恥 否^否 否^否 恥^恥 「お前もこの蜜柑が美味しいと思わないか?」

【否^否】 【倫季^{倫季}】 ム^ム、 十^十、 tuowai

名 好機。良い機会。良い頃合い。良いタイミング。チャンス。／人に何かを推奨したいときなどに「否^否 (7 ジェ) 恥^恥 (83 ジェ) 否^否 (42 ジェ) 損^損 (130 ジェ) 」という柔軟な口調に聞こえるため、円滑なコミュニケーションのために是非覚えておきたい語である。【例文】 平^平 恥^恥 否^否 損^損 否^否 可^可 破^破。 「そろそろ物語を語るのに良い頃合いだ。」(後端 38:6)

【約^約】 【銀^銀】 212 画 ム^ム、 上^上 古^古 thwut

名 ① 銀。白銀に輝く金属。② 銀元素。／約風^{約風} (42 ジェ) の略。

【約^約】 【銀材^{銀材}】 ム^ム、 下^下 凡^凡、 tuojām

名 銀元素。Ag。

【約^約】 【銀紗^{銀紗}】 ム^ム、 ム^ム、 tuotàng

名 銀箔。／銀を薄く伸ばした金属箔。

【約^約】 【銀雪天^{銀雪天}】 ム^ム、 ヌ^ヌ、 ヌ^ヌ、 人^人

名 氷神星。

【約^約】 【銀影^{銀影}】 ム^ム、 ロ^ロ、 tuohi 名

写真。画像。【例文】 状^状 方^方 來^來 碓^碓 平^平 約^約 否^否 本^本 机^机 賣^賣

斗 d

旭

395【焉】
4画 斗 上古 dwa
後中 da

情 しる。さ。そ。であれ。／相手に
対する呼びかけや強調を表現する。命令文
の末尾に付く場合も多い。【例文】
奚必入心 必、○○。「そのプレイヤーは君だ、
○○。」(後端 4:1)

牟

652【枝】
6画 斗 上古 djak
後中 dak

名 枝。樹枝。／木の幹から分かれて伸びて
いる部分。形 下位の。準。副。予備の。
サブの。補欠の。補助の。／主要な部分に付
属する様子。補助的な要素。助数
条。／細長いものを数える助数詞。

一牟廿

【枝足】 斗 日ト dayuas
名

● 小枝。落枝。柴。／細い枝。専ら元の木か
ら離れて地面に落ちているものを指す。●
ひ弱な人。華奢な人。もやし子。臆病者。／
体格が細く筋肉もないような人。転じて、意
志や根性が弱い人も指す。

央

216【黄】
6画 斗 上古 de
後中 dah

形 黄色い。黄色の。

屈

137【灰】
9画 斗 上古 dep
後中 dap

名 灰。物が燃えた後の残骸。

屈風

【灰材】 斗 日ト dayaim
名 カルシウム。Ca。

屈蛭

【灰様】 斗 日ト dayium
形 塩基性の。アルカリ性の。アルカリの。／
零語においては「アルカリ」と「塩基」は特に
区別されず、塩基性の水溶液も専ら屈蛭(

小

61【山】
3画 斗 上古 dwas
後中 das

名 山。山岳。高山。峰。マウンテン。／地面が
大きく盛り上がった地形。地形というより
も、高くそびえ立つ単一の山岳としてイメー
ジされることが多い。【類語】尙(102ジ) 【例文】
迫己画于奚小 「トンネルはその山を貫通
していい。」

小册

【山羅】 斗 日ト dayagan
名 山脈。山岳地帯。／山岳が連なった地形。

【類語】小(4ジ)、尙(102ジ)

小岷

【山嶺】 斗 日ト dayagua
名

噴火。火山噴火。不及動 噴火する。

嚙

681【鳴】
13画 斗 上古 djans
後中 danh

不及動 ● 叫ぶ。喚く。騒ぐ。怒鳴る。／人を
脅したり遠くににいる人に呼びかけたりする
ために、大声を出すこと。● S(動物)が「鳴
く。ほえる。囀る。● Sから一音が鳴る。響
く。／主語に無生物を取り、それが音を発
していることを指す。

卩

190【七】
4画 斗 上古 djam
後中 damh

【数】7(12)。なな。【例文】奚屬又卩印之瑤。
「その怪物は7つの心臓を持っている。」

宕

507【強】
9画 斗 上古 djel
後中 dei

形 強い。しっかりしている。パワフルな。激
しい。副 激しく。力強く。きつ。【例文】
查凡否、状叱宕癡状砒奎由「そして宇宙
は、君は君が知っている自分よりも強いと言
った。」(後端 6:1)

宕磡

【強唱】 斗 日ト dayuo
及動 SがOを現に「言い放つ。宣言する。明
言する。断言する。主張する。言い張る。／あ
る物事に対して、強い信念を持ってはっきり
言うこと。」

指すのに対し、**風**(フエ)は死者の霊や妖怪、怪奇現象など、目に見えない超自然的な存在の全てを指す。【例文】石塚明、入道、妖術、双霊小風。四八全、夕八対。上中、太風、勿安太風。惨風。風扇。煤竹見。「かつて、人類は我らを山の霊と呼んだ。父なる太陽、母なる月。祖先の霊、動物の霊、煙の神。お化け。緑葉の頭。」(後端 37.27)

風扇

【霊鬼】斗々々 七巾 duoniào

【名】妖怪。化け物。怪物。モンスター。幽霊。／超自然的な存在。主に人間に対して悪い影響をもたらすものに対して用いられる語である。【例文】吹、白刀風、鬼池風扇。「う、五匹目のカエル以外には化け物が憑いているな。」

風

143 粒 斗々々 上古 ruil
7画 duol 後中 ruil

【名】粒。粒子。塵。／小さい物体。単数を指すことが多い。

風

【粒和】斗々々 土フ々 duoliwo

【名】分子。

丫
c

𪗇 437 **【論】** 11画 丫ト 上古 *stək*
後中 *tsak*

【及動】 説明する。解説する。弁明する。筋道を立てて話す。／ある事柄の理由や過程を説明することのみを指し **𪗇** (81 ページ) のような他者に教えるニュアンスは含まない。 **【類語】** **𪗇** (81 ページ)

𪗇 **【論位詞】** 丫トノハ又トノ

cāduŋzang **【名】** 述語。謂語。／文の構成要素の一つで、主に主語の動作や様態などを表す部分。 **【関連語】** **𪗇** (97 ページ)、**𪗇** (33 ページ)

𪗇 **【論訓】** 丫トトト *caxai* **【名】**

マニュアル。説明書。手引き。ガイド。指南。ドキュメント。手引き。／ある仕事や作業の初心者に教えるために、手順やノウハウなどをまとめた文書。 **【類語】** **𪗇** (136 ページ)

𪗇 **【論正】** 丫ト *caŋa* **【及動】**

① 証明する。裏付ける。論証する。明らかにする。② 証明する。

𪗇 **【論做字】** 丫トローヘ虫

cāhŋqo **【名】** 副詞。／零語における伝統的な語調分類の一つ。

𪗇 606 **【錯】** 17画 丫トノ 上古 *stak*
後中 *tsak*

【不及動】 ① 間違える。誤る。しどろもどろにする。② ずれる。滑る。狂う。動く。食い違ふ。／物があるべき場所から意図せずに移動すること。 **【名】** 間違ひ。誤り。誤謬。ミス。過ち。しくじり。／正しいものから外れた事柄。また、正しくない行動や判断。 **【形】** 間違つた。誤つた。違つた。ズレた。

𪗇 **【錯言】** 丫トノ *caibun*

【名】 うそ。嘘。フエイク。／意図的に他人へ不利益をもたらすために真実と異なつて言及されたもの。悪いニュアンスが強い。 **𪗇** (54 ページ) と混同しないように注意。 **【例文】** **𪗇** (54 ページ) 「その話は虚偽である。」

𪗇 **【錯言人】** 丫トノ *caibun*

【名】 嘘つき。嘘吐き。ホラ吹き。 **【例文】** **𪗇** (54 ページ) 「彼はいつも適当な知識を広めるので、すぐに嘘つきだと思われてしまう。」

𪗇 **【錯做】** 丫トノ *caih*

【名】 エラー。バグ。機械のよくない動き。

𪗇 **【錯言】** 丫トノ *caiwé*

【及動】 **𪗇** が O を言ひ間違える。言ひ損つて失言する。／意図しているものと違う言葉が口から出てしまうこと。また、うっかり失礼な発言をしてしまうこと。 **𪗇** (54 ページ) とよく似ているが、意味は全く違うので使い分けに注意。 **【名】** 言ひ間違ひ。失言。不用意な発言。 **【例文】** **𪗇** (54 ページ) 「見ろよ、彼女がまた調子に乗つてるぞ。今にも失言しそうだ。」

𪗇 178 **【抛】** 13画 丫トノ 上古 *stang*
後中 *tsangh*

【前置】 𪗇 よりも。比較表現。 **【例文】** **𪗇** (54 ページ) 「エタノールは水よりも早く蒸発する。」

𪗇 478 **【備】** 10画 丫トノ 上古 *starn*
後中 *tsanH*

【及動】 **𪗇** が O (準備) を準備する。準備する。／その後に必要になるものを前もって手に入れておくことを指す。 **【副】** 既に。もう。前に。とつくに。済んでいる。／既に物事が完結している様子。方(

【**五日音**】^{あいつね}、^{あいつね}「生が一刻(お分)にわたって絶え間なく話し続けたので、話の全を覚えていいる者は誰もいなかった。」

【**投**】⁵⁵⁴【**投**】⁹画 Y-へト 上古 stwilt 後中 tsilt

【**投**】^{及動} 投げる。放る。投じる。投擲する。【**副**】デタラメに。ぞんざいに。いい加減に。適当に。

【**田**】^{【**投目**】} Y-へト □千 Y cilke

【**田**】^{及動} 気をそらす。目を離す。気が散る。散漫になる。集中が途切れる。／心が特定の物事に集中できず、別のものに惹かれる。

【**生**】^{【**投債**】} Y-へト 田 cilgua 【**名**】

手榴弾。手投げ弾。ハンドグレナード。擲弾。／兵士が手で投げて使用し、爆風や破片で相手を殺傷することを目的とした爆弾。

【**生**】^{【**投湖**】} Y-へト 田 cilual

【**生**】^{及動} ①キープする。保留する。取り置く。カ―トに入れる。／後で使うため、また他人に取られないように品物や金銭を移して自分の管理下に入れる行為。②着服する。横領する。懐に入れる。横取りする。／預かったり任せられたりしていた金銭を、密かに

自分のものにする。

【**生**】^{【**投数**】} Y-へト ール cilmis

【**生**】^名 乱数。／サイコロや籤、電子的な方法などで作られる無作為な数。

【**生**】^{【**投旋**】} Y-へト 七 ciluan

【**生**】^{及動} 振り回す。振るう。ぶん回す。振りかざす。扇ぐ。【**名**】(149頁)に、暴力的で粗雑なユランスを付け加えた動詞。武器や道具を大きく振るうことを指す。

【**生**】^{【**投斧杖**】} Y-へト 七 ciluankuag 【**成句**】斧を振り回す。権勢を振るう。威張る。／強い権力で周囲を思い通りに動かそうとするような態度を指す。

【**生**】^{【**血**】} Y-へト 上古 stung 後中 tsungH

【**生**】^名 血液。血。

【**生**】^{【**血昆**】} Y-へト 中 cungi

【**生**】^名 ①親族。親戚。血族。／血縁関係にある親族。②仲間。同胞。同志。兄弟。／強い絆や連帯感で結ばれた仲間。比喩的に用いられる。

【**生**】^{【**血粒**】} Y-へト 十ケ cingdu

【**生**】^名 血球。血液細胞。／血液中に存在する白血球・赤血球・血小板の総称。

【**生**】^{【**血果**】} Y-へト 十ケ cingba

【**生**】^名 ぶどう。葡萄。グレープ。

【**生**】^{【**血筒**】} Y-へト 十ケ cingxu

【**生**】^名 血管。脈。／生物の体に巡らされた血液を輸送するための管。

【**生**】^{【**血酒**】} Y-へト 十ケ cingwes

【**生**】^{【**ワイン**】} ぶどう酒。

【**手**】^{【**病**】} Y-へト 上古 stwun 後中 tsun

【**手**】^名 病気。やまい。

【**手**】^{【**病蛆**】} Y-へト 十ケ cunbuan

【**手**】^名 ウイルス。

【**手**】^{【**病魔**】} Y-へト 十ケ cunxang

【**手**】^{【**パンデミック**】} (病気の)流行。感染爆発。

【**頁**】^{【**首**】} Y-へト 上古 stuns 後中 tsunH

【**名**】 首。頭と胴体をつなぐ部分。

頁頭

【首垂】Yハチ ロケス cūmhio
コ ネックレス。ペンダント。首飾り。／首

周りにつけるアクセサリーの総称。

流

556 散 10画 Yハチ 上古 styvump
cum 後中 tsump

【及動】散らす。撒く。散布する。噴霧する。掛ける。／液体を上から注いでかける動作も含まれる。【類語】米 砲 (80ペ) 【例文】川中入 寶者、現鑒全例世 戸 帆架 Y 禾。「揚げ物にレモンを絞って掛けるかどうかについて二人が口論した。」

流

【散遍】Yハチ □トチ cūmka
目 形 ありふれた。遍在する。ありきたりな。／こにもある。【類語】流 (一ペ)

流

【散落】Yハチ □トチ cūmjua
不及動 一Sが石に 掛かる。降り掛かる。浴びる。／液体や粉末などが特定の場所に降り掛かる様子。雨やシャワー、調味料など、様々な対象に対して使うことができる。

流

【散撃戦】Yハチ ムトノ ヨト
cumābās 名 ゲリラ戦。遊撃戦。ゲリ

流

【散撃兵】Yハチ ムトノ ヌト
cumāta nai 名 ゲリラ。

流

【散時】Yハチ ムトノ cūmtua
副 時々。たまに。時折。しばしば。時には。／

低い頻度で物事が起こる様子。【例文】暗 魁 炸 米 晒。流 吟 完 煙。「彼にお節介を焼くようなことはしてやるな。時には放っておくことも必要だ。」

流

【散筒】Yハチ テハチ cūmxim
名 じょうろ。スプリングラー。シャワー。／

主に水を撒いたり浴びたりする用途で、容器や管に小さい穴をたくさん開けた道具。

流

【散僻】Yハチ 十凡 cūmwain
不及動 散らばる。離れる。散在する。バラ

バラになる。／動詞としての 砲 (80ペ) とほぼ同義。【例文】妄入含市亞方流 砲 石 只、石 三、石 豆。「そいつに含まれる原子はかつて、草、川、空気、地面に散らばっていた。」(後端 472)

流

619 撮 13画 Y中 上古 sthev
cao 後中 tsho

【及動】つまむ。つまみこる。摘む。拾い上げる。

取る。挟む。／指でものを挟んだり、それを持ち上げて取る動作。【不及動】一Sが木に「触れる。触る。タッチする。接触する。／元は「指でつく」という意味から派生した用法であるが、現代では指に限らず体や物体が接触する行為の全般を指す。【例文】状 狂 齒 逆 流 木 查 八 戸 查 全。「君の体は再び全その所で宇宙に触れている。」(後端 36:10)

流

【撮耳】Y中 日ト cāogā 形

面白い。興味深い。耳寄りの。／人の興味をそそるような、魅力的な物事。

流

【撮取】Y中 □トチ cāojie 及動

摘みとる。ちぎる。もぐ。もぎ取る。摘む。採る。採取する。取り外す。／物体をつまんで引つ張り、無理やり取り外す行為を指す。部分ごとに独立している物、例えば「果物をもぐ」という表現には 焔 焔 (58ペ) を使うのに対し、元が一体であるもの、例えば「紙をちぎる」という表現では 焔 焔 (25ペ) を用いる。

流

【撮撮】Y中 Y中 cāocáo 副

少しつつ。段々と。徐々に。次第に。ちよつと。一歩ずつ。じわじわと。ごんごん。／物

只

【草昆】Y凡 中一 cāiqi 名 植

物。植物界。／自力では移動せず、根や葉などをを用いて環境中から養分を得る生物。只(59ペ)よりも指す範囲が明確で、より学術的な語である。

只

【草糸】Y凡 中一 cāibúo 名 植物繊維。

植物繊維。

對

474【從】画 Y凡 上古 sthwaj 14 画 cāi 後中 tshē

不及動 ①「Sが丁に」従う。ついでいく。従順にする。／相手の言ったことに聞き従うことを指す。②「Sが末に」ついていく。同行する。追う。後追いする。追跡する。／相手と同じ道や手順を進むことを指す。「追い出す」のような意味は含まない。前置 ③「～に従う。～に合わせて。～の通り。～と同時に。～に沿って。④「～の水準で。～くらいで。～のレベルで。／物事の大きさや長さなど、ある度合いが特定の水準にあることを指す。主として度量衡と共に用いられる。【例文】對木机入座。」「奇妙な人物を密かに追跡する。」

對

【從搖】Y凡 中一 cāikuan

不及動 「Sが末と」共鳴する。共振する。シンクロする。／固有振動数に等しい周期の振動を受けることで、自らの振幅が増大する現象。

對

【從口】Y凡 中一 cāidua

成句 勝手に。ひとりで。自。から。自然に。自動で。／他から干渉されずとも動く状態。

對

【從則】Y凡 Y中 cāicua 形

合法の。合法的な。適法の。正当な。

對

【從天】Y凡 中一 cāivās 名

衛星。サテライト。／惑星や準惑星、小惑星の周りを公転する天体。

對

【從下已】Y凡 中一 cāivās

成句 勝手に。好きにする。好きに放題する。／自分の意思のみに従って動くこと。【例文】英叱奇圖。對下由。「それはお前の問題だ。勝手にしろ。」

對

321【話】画 Y凡 上古 sthwajs 14 画 cāi 後中 tshēh

名 文。話。お話。物語。文章。ストーリー。意

味のある纏まった言葉。【例文】平話又圖畫。今臺谷金。この物語は危なくないやり方で、言語の檻の中に真実を含んでいる。(後端 30:2)

對

【話肌】Y凡 中一 cāimua

名 概要。話の全体像。／主に話の前に置かれるものを指し、最後に示される結論やまとめは含まない。

對

301【則】画 Y凡 上古 sthēh 6 画 cūa 後中 tshah

名 ルール。決まり。規則。掟。律令。類語 *

對

【則法】Y凡 中一 cūawēi

名 制度。決まり。システム。規程。類語 * 碓 (14ペ)

對

265【船】画 Y凡 上古 sthat 8 画 cūa 後中 tshat

名 船。水上を移動する乗り物。

對

612【易】画 Y凡 上古 sthwis 6 画 cūas 後中 tshis

形 簡単な。易しい。楽な。単純な。簡潔な。シンプル。／内容が単純で理解や実行が単純である様子。【例文】對凡。對凡。對凡。【對義語】尅机 (17ペ) 【例文】對凡。對凡。對凡。

物であるような物も含む。【類語】米（メ）
 【例文】山園 山園平古。 山園平古。 汚
 い虫は多分この隙間から入ってきてるんだ
 ろう。埋められますか？」

【土痘】Yケ、土、cùozà 【名】

虫刺され。虫などに刺されてでる腫れ。

【沫】692 13画 Yケ、土古 sthwungs
cùong 後中 tshungH

【名】しづき。飛沫。水しづき。【不及動】
 が跳ねる。飛び散る。飛ぶ。／水滴や油な
 どが周囲に飛び散って降りかかる様子。

【園荒】Yケ、Yハ、cùongcu

【不及動】Sが石に「影響する。波及する。
 作用する。飛び火する。火の粉が降りかか
 る。／ある出来事が他に影響（多くは良く
 ない影響）を及ぼすことを指す。【例文】
山園 山園平古。 山園平古。 季節外れの
 大雪が鉄道の運行に影響している。」

【園八】Yケ、ロケ cùonghuo

【名】小雨。霧雨。小糖雨。／本来は粒の細かい
 雨を指す表現であるが、一般的には単に弱
 い雨を指す語として用いられることが多い。

【猫】383 8画 Yケ、土古 sthw:m
cùom 後中 tshumH

【名】猫。ねこ。【例文】山園 山園平古。 山園平古。 猫よ、起
 きなさい。」

涼傘 【冷羽】 まー 七千ふ pīlèng

【名】うちわ。団扇。扇子。扇風機。ファン。／紙やプロペラなどで風を起し涼む冷房器具。

上 105 【雲】 5画 まハ 上古 pūn

【名】雲。クラウド。／空に浮かぶ白いもくもく。【不及動】曇る。曇りになる。曇天になる。／主語としてハ(Ⅲヅ)を取る。また天候としての「曇り」は五(ⅠⅦヅ)と表現することに留意。【例文】表金ハ上(ⅠⅦ)守固。／昆宇では明日曇りになるでしょう。」

上金 Ⅰ 【雲字天】 まハ 斗々人ハ pūdúovás

【名】雲神星。

上 Ⅰ 【雲雲】 まハ 斗々 pūpū

ふわふわの。ふかふかの。やわらかい。

上 Ⅰ 小 【雲虚上山】 まハ 斗々 pūa'lingdás

【成句】山の上に雲はない。喉元過ぎれば熱さを忘れる。／辛いことや苦しいことも、それを乗り越えた後にはすぐに忘れられてしまうの意。

混 630 【混】 8画 まハ 上古 put

後中 put

【皮動】①混ぜる。混合する。調合する。ミックスする。ブレンドする。／いくつかの異なるものを一緒にして一つに纏めることを指す。なお、均一にするためにかき混ぜる動作は輪混(Ⅱヅ)と表されることが多い。②ごまかす。はぐらかす。話題を逸らす。／都合やきまりが悪い時に、その場凌ぎの返事をして話題を変えようとする。【形】混ぜた。ぐちゃぐちゃの。ちや混ぜの。ミックスした。／複数のものが混ざって分離するのが難しくなっている状態。

混 Ⅰ 【混位】 まハ 斗々 pūdùn

【名】エントロピー。嫡。

混 Ⅰ 【混投】 まハ 斗々 pūcū

【形】適当な。でたらめな。ランダムな。行き当たりりばつたりの。無作為の。／はっきりした意思や目的に基づかず、事前に予測できないような性質。【例文】研咄状混投配発。／兜用抑発咄咄合入。／彼はいつも適当な知識を広めるの。すぐに嘘つきたと思われてしまう。」

混 Ⅰ 【混談】 まハ 斗々 pūxi

【名】無駄話。雑談。駄弁。与太話。戯言。／無目的

でとりとめのない雑談。金混(Ⅲヅ)の中でも特に内容が薄い会話。

混 680 【書】 5画 まハ 上古 pun

【皮動】書く。筆記する。／束(Ⅸヅ)の本字。現代ではほぼ用いられず、専ら他の零字の構成要素として出現するのみである。

混 626 【敏】 12画 まハ 上古 pun

【形】速い。素早い。すばい。い。【副】素早く。速く。一瞬で。一気に。一度に。【対義語】鈍(ⅠⅦヅ)類語 水(ⅠⅦヅ)【例文】混(Ⅸ)混爪。／エタノールは水よりも早く蒸発する。」

混 Ⅰ 【敏雨】 まハ 斗々 pūnhúo

【名】にわか雨。タ立。驟雨。ゲリラ豪雨。／突然降り出して短い時間で通り過ぎる激しい雨。季節や時間帯は合意しない。

混 Ⅰ 【敏緩】 まハ 斗々 pūnyúa

【名】速さ。速度。スピード。

混 553 【飾】 11画 まハ 上古 pun

【皮動】①飾る。装飾する。飾り付ける。デコる。美化する。演出する。仕上げる。／賞状

【形】危険な。危ない。【例文】平咄又凶咄又私咄注、今憂否金釧。「この物語は危なくないやり方で、言語の檻の中に真実を含んでゐる。」(後端 30:2)

咄 咄 【危音】 まん 下 咄 pàisúa

名 サレン。警報音。

咄 咄 【危音機】 まん 下 咄 pàisúai

咄 咄 【名】 サレン。サレンを鳴らす機械。

咄 咄 【危報】 まん 下 咄 pàisúai

名 警報。アラート。不及動 警報する。

咄 咄 【髭】 まん 上 咄 phiel

名 ひげ。頬と唇と鼻の間に生える毛。

咄 咄 【葉】 まん 上 咄 phivast

名 葉。葉っぱ。木の葉。植物に備わる光合成をするための器官。

構造の末端。アイデア。案。この意味では咄咄(9ページ)を用いることが多い。

助数 〃枚。〃シート。〃ページ。〃薄く柔らかいもの。特に紙を数える助数詞。書籍などで順序を含意して用いられる「〃ページ」と

いう表現は「〃風(7ページ)咄(70ページ)」と訳される。【例文】凶咄又私咄注、今憂否金釧。咄咄。日光が揺れる木の葉の隙間から差し込む。」

咄 咄 【葉子】 まん 下 咄 pùagum

名 子孫。子供たち。末裔。

咄 咄 【葉土】 まん 下 咄 pùalià

咄 咄。平社員。組織の中で立場の低い人のこと。

咄 咄 【顎】 まん 上 咄 phask

名 顎。あご。顔の唇より下の部分。物を噛むときに動く部分。このうち特に顎の先端を指す咄(26ページ)とは指す範囲が異なることに注意。

咄 咄 【皿】 まん 上 咄 pheng

名 皿。食器。椀。プレート。主に料理を盛る用途の食器で、咄(6ページ)ほど深くないもの。

咄 咄 【灯】 まん 上 咄 phwingk

名 明かり。ライト。灯り。照明。灯し火。ランプ。電気。照明器具を全般的に指す。

咄 咄 【灯瓶】 まん 上 咄 pùangzu

名 電球。電灯。電気。白熱電球や蛍光灯など、電気で発光する物質をガラス容器に封入した照明器具の総称。受炯(13ページ)は電気式の照明全般を指すが、炯(70ページ)は封入された形の照明のみを指す。

咄 咄 【令】 まん 上 咄 phiant

及動 SがOするよう末に「命令する。指示する。指令する。命じる。言いつける。」立場が上の者が、下の者に対して物事を行うように指令することを指す。

咄 咄 【令唱】 まん 上 咄 pùankúo

及動 SがOするよう末に「指令する。司令する。命令する。号令する。命じる。下命する。」特に軍隊や国家などの組織内で、責任者が司令を下して行動を起させる行為を指す。名 指令。指示。命令。コマンド。命令。コンピューターで、システムに特定の動作を実行させるための命令文。書いたその場で実行される点で受炯(70ページ)とは異なる。

咄 咄 【令鎖】 まん 上 咄 pùanbá

【**皮動**】SがOを「統制する。コントロールする。取りまとめる。監督する。／集団に属するものに指令を下し、円滑に目的に向かって進めるようにする」など。

【**焔焔焔**】**【令領人】** まてヨヘヌ ユノ ロト

puanbāha **【名】** 監督。司令官。指揮者。ディレクター。指導者。／組織を見張ったり指導したりする人物。

【**焔**】 319 **【唇】** 7画 まてト 上古 phwii pual 後中 phil

【**名**】唇。くちびる。口の周りにある赤い部分。
【**不及動**】口笛を吹く。嘯く。／こちらは現代ではまず見られない用法であるが、そもそもこの語自体が口笛のおノマトペに由来している。現代では焔焔（7ペ）など、熟語の構成要素としてこの意味が残っている。

【**焔焔**】**【唇投】** まてト ユーヘト pualci

【**不及動**】Sが根の「気を引く。注意を引く。注目を集める。アピールする。／特に親しくなりたい相手などに対して、相手が関心を向けるような行動や態度を取る」など。

【**焔焔**】**【唇笛】** まてト トー pualbūo

【**名**】口笛。

【**焔**】 376 **【注】** 10画 まて 上古 phwuj pūo 後中 phu

【**名**】つゆ。タレ。ソース。液体状の調味料や食品。

【**焔焔**】**【汁麵】** まて テーメテ phoxuam

【**名**】つけめん。汁につける麵類全般。
【**焔**】 267 **【唇】** 7画 まてト 上古 phup pūo 後中 phup

【**代名**】我等。われら。我々。私たち。一人称複数。／焔焔（8ペ）が「自分と複数人」のように口語的でカジュアルな表現であるのに対し、焔（7ペ）は「結束した自分たちの集団」のように集団全体を指すやや文語的な語である。【**類語**】焔焔（8ペ）【**例文**】**【珠旭】** 焔焔（8ペ）「開けろ！夫京市警だ！」

【**焔**】 447 **【注】** 10画 まてト 上古 phungk pūng 後中 phungk

【**不及動**】Sが末に「注ぎ込む。注ぐ。流れ込む。／主に液体などを流し込む行為」。

【**焔焔**】**【注涙於海】** まてト 口

まてト 口 phungkam'éguan **【成句】** 海に涙を注ぐ。焼け石に水。朝腹に茶漬け。／何の足しにもならない、の意。

【**焔焔**】**【注録】** まてト ヲ中 phungja

【**及動**】アップロードする。別のコンピュータにデータを送信する。

【**焔焔**】**【注水路】** まてト ルフ 口

phungso'kuo **【名】** 上水道。給水。上水。
【**類語**】**【丸】**（9ペ）【**関連語**】**【丸】**（16ペ）

【**焔**】 286 **【注】** 10画 まてト 上古 phun pūo 後中 phunh

【**及動**】励ます。勇気づける。慰める。激励する。ねぎらう。／落ち込んだり困難な状況に陥ったりしている人に、声を掛けるなどして元気づけること。【**類語**】**【氷柴】**（14ペ）、**【丸九】**（41ペ）、**【又愛】**（119ペ）

【**焔**】 286 **【注】** 10画 まてト 上古 phun pūo 後中 phunh

【**名**】過去。昔。かつて。【**形**】古い。昔の。前時代的な。【**不及動**】年月が経つ。経つ。過ぎる。【**例文**】**【焔焔】**「焔焔」。「昔々ある時、一人のプレイヤーがいた。」（後端30:1）

【**焔焔**】**【古事】** まてト 日中 phun'ge

【**名**】歴史。歩み。流れ。【**例文**】**【焔焔】**「焔焔」。「零国は長い歴史がある。」

規

【古仙】

きんえん こんへん

puontai

人物。名（歴史上の）偉人。歴史に名を残す

b7

𠂔
108
【領】
8画
𠂔 ba 上古 bekss
後中 bak

bá 後 bak

名場所。土地。地。敷地。ところ。漠然とした場所を指す、意味範囲の広い単語。但し、(至) (166 ページ) と比べると幅を持った敷地や領地を指すニュアンスが若干強い。**及動** 支配する。統べる。統制する。まとめる。／動詞としては、組織の長が下の者を従わせることを指す。**類語** 尅 (66 ページ)、至 (166 ページ)

纤柔端

きずり出す動作を指す。

踏 564
 踏 14画
 ぶ 子
 後中 上古
 vu bwu

踏み鳴らす。足を叩きつけて音を鳴らす。

類語
返
(170
ジヘ
)

【**玖砂** 矣】【**我僻甚**】 テ千ハ、十凡ハ、Y千

xéwàngcè 【**感**】 お断りします。遠慮します。／比較的フォーマルな断りの表現。【**類語**】 忤逆(114ジ)

【**伍**】 493 【**建**】 8 画 テ千ハ 上古 psjcs 後中 s'yes

【**及動**】 組み立てる。組む。建てる。構築する。建設する。作る。／複数の材料を物理的に組むことで何らかのものを作る作業を指す。【**例文**】 忤伍矣入廷、今婢璫。「そして彼女はそいつの体を、お腹の中で作り上げた。」(後端 44:4)

【**伍眾**】 【**建字**】 テ千ハ 虫 xésgo 【**名**】

【**活字**】 活版印刷に用いられる文字型。【**フォント**】 書体。字体。／コンピュータ上で用いられる書体のデータ。

【**伍風**】 【**建材**】 テ千ハ 口凡ハ xésjain

【**名**】 部品。一部。パーツ。要素。成分。コンポーネント。 忤(6ジ)は均質なものから分離した欠片を指すが、伍風(8ジ)は機構や構造に含まれる二要素を指す。例を挙げると「金属の切れ端」は忤(6ジ)で、機械を構成する歯車「は伍風(8ジ)である。【**例文**】 矣

【**大** 矣 玖 及 忤 平 矣 忤 倉 忤 風】 「そいつは、我々がこのゲームの構成要素だと思っている。」(後端 44:2)

【**伍出**】 【**建火**】 テ千ハ ムハ xéjàng

【**名**】 焚き火。篝火。

【**伍響**】 【**建論**】 テ千ハ Yハ xéscá 【**名**】

【**及動**】 理論。理屈。学説。／ある物事を説明するため、論理的に筋道をつけて組み立てた考え。【**例文**】 忤 矣 命 見 世 音 眾 磔、忤 眾 磔 世 音 磔 磔、忤 眾 磔 世 音 磔 磔、之 響、伍 響、矣 矣、忤 矣 入 廷、善、素 衆 矣、忤 衆 磔 世 音 眾 風、由 眾 風。「符号を解説して単語とし、単語を解説して意味とし、意味を解説して知覚、感情、理論、思想とした。そいつはより速く、より深く息を吸い、そして自分は生きていけると気づいた。自分は生きていく。」(後端 57:3)

【**伍众**】 【**建家**】 テ千ハ F千 xéshé 【**及動**】

【**建築**】 建物を作る。

【**伍因**】 【**建集**】 テ千ハ X千 xénem

【**及動**】 構成する。成り立たせる。組み立てる。／細かい部品や要素を組み立てる。こつて

纏まりの大きな物を作る行為。

【**叁**】 306 【**崩**】 12 画 テ千ハ 上古 psjcs 後中 s'yes

【**及動**】 壊す。破壊する。壊れる。崩れる。【**例文**】 田 狂 回、忤 叁 回 本 矣。 「物を作り、物を壊す夢を見た。」(後端 11:2)

【**叁丟**】 【**崩骨**】 テ千ハ X千 xénès

【**不及動**】 骨折する。骨が折れる。

【**叁以**】 【**崩消**】 テ千ハ 又中 xénào

【**不及動**】 壊れる。崩壊する。崩落する。崩れる。【**例文**】 忤 矣 倉 風 本 矣、忤 平 叁 以。「すでに四百万年の間存在するが、まだ壊れていない。」(後端 12:2)

【**叁凶**】 【**崩泰**】 テ千ハ 七ハ xésio 【**形**】

迷惑な。厄介な。邪魔な。うざい。／集団や社会の中で、他人に苛立ちや不快感を与えるような行為や人物の形容。【**例文**】 婢 璫 矣 來 平、忤 入 眾 磔 矣 矣。 「彼女はあまりに自由奔放なので、皆に少し迷惑に思われている。」

【**叁凶入**】 【**崩泰人**】 テ千ハ 七ハ 口

【**名**】 荒らし。トロール。スパム。

煽り。釣り。／インターネット上で攻撃的または悪意のある書き込みや行動を繰り返して行うユーザー。

罨 384 平 12画 テ干テ 上古 psjɛm
xɛm 後中 syɛm

凹凸がなく滑らかで平坦な様子。①(幾何学での)面。平面。②ページ。頁。紙面。印刷物を構成するそれぞれの面。助数詞(70ヅ)とともに用いられることが多い。日用語としては罨(罨)も良く使われる。不及動 伏せる。倒れる。寝転がる。／物体が直立していない状態を指す。【例文】**罨** 床(13ヅ) 元風(13ヅ) 罨 后(13ヅ) 罨 础。『教科書の394ページを開け。』

罨令 平丘 テ干テ 上フ xɛmzɔ 名

高野。高原。／標高が高い場所にある平野。

罨 平刃 テ干テ 又卜 xɛmna

及動 スライスする。薄く切る。

罨 平心 テ干テ 七ハ xɛmlis

形 中間の。普通の。中立の。どっちつかずの。／(心)はありふれており一般的な様子。罨(84ヅ)は特に異常がなく変わらない

様子。罨(罨)は一般的かどうかに関わらず特定の方向に偏っていない様子を指す。【類語】**罨** (13ヅ)、**罨** (84ヅ)

罨 平旋筋 テ干テ 七コヌ 七卜 xɛmluaniəs 名 ゼンマイ。ぜんまいばね。発条。／金属製の板などを渦状に巻き、弾性を持たせた機械部品。

罨 平丸 テ干テ 七ハ xɛmluon 名 (慣用句)ありえないこと。たこえ。実現する方法がないこと。

罨 平地 テ干テ ロフ xɛmho

名 平野。平地。平原。／広範囲にわたって起伏が少ない地形。

罨 肯定コトヲ。である。感 はい。yes。うん。ええ。／相手の疑問に対する肯定を表す表現。質問文の内容と事実が合致した時に用いられるため、偽である事実に対して否定疑問文で質問された場合も使うことができる。【例文】**罨**。「うむ。(後端 3:1)

罨 島 テ干テ 上古 psjɛw
13画 後中 syo

名 島。島嶼。アイランド。／周囲を水で囲まれた小さい土地。

罨 島羅 テ干テ ロト xɔgàn 名

形 列島。諸島。／多くの島が列状に並んだ地形。

罨 談 テ干テ 上古 psjɛis
14画 後中 syɛi

名 会話。おしゃべり。会談。議論。及動 ①SがOと扱って会話する。話す。／複数人が言葉を交わして思考を伝え合う行為。【例文】**罨** 談。『そんな話は無い。』

罨 談書 テ干テ ハエ xisua

及動 ①筆談する。②テキストチャットする。チャットする。喋る。話す。／主に受発(13ヅ)上で、文字のみを用いて会話する行為を指す。

罨 談架 テ干テ 七ハ xilim

及動 コミュニケーションをとる。交流する。関わる。話合う。対話する。意思疎通する。／互いに意思や感情などを伝え合う行為。【類語】**罨** (14ヅ) 【例文】**罨** 談架。『なるほど、それは最初のコミュニケーション手段だ。』(後端 12:1)

板

160【盤】
8画

テハ 上古 psjuk
後中 syuk

【板】ボード。板材。パネル。プレート。／薄く平たい形をした固いもの。布や紙など柔らかな素材は指さない。

似

【盤】

テハ ヨトハ xubàs

【名】

ボードゲーム。

油

64【油】
9画

テハ 上古 psjujs
後中 syuih

【名】油。燃える液体。

油

【油】

テハ □凡 xūkai

【名】

プラスチック。／石油材料の総称。

油

【油】

テハ 中木 申八 十凡 xugauwàn

【名】バタートースト。

油

【油】

テハ 中木 xupuang

【名】オイルランプ。灯油ランプ。

油

【油】

テハ 又凡 中木 xùnaite

【名】ガソリン自動車。

油

【油】

テハ 十凡 xùwào

【名】

アスファルト。タール。瀝青。

油

576【常】
13画

テハ 上古 psjuip
後中 syup

【副】いつも。常に。ずっと。いつでも。【形】普通の。変わりない。いつもの。【類語】(一) じ、米屋刀 (83 頁) 【例文】 昨午 油 垢 米 所 多 賣。 「彼にはいつも多くの心配事があるようだ。」

油

【常】

テハ □凡 xūkang

【副】毎日。連日。【例文】 多 吹 柳 李 于 油 日 止 吹 柳 対。 「りんごが好きな子供は、毎日母から赤いりんごをもらう。」 (ZPDIC #4)

油

【常】

テハ □凡 xūju

【副】毎朝。毎日の朝。【例文】 凡 油 日 迎 日 登 門、 五 于 冊 余。 「私は毎朝、学校に向かうときに公園を通り抜けます。」 (ZPDIC #7)

油

【常】

テハ □凡 xūju

【名】永久磁石。

油

【常】

テハ □凡 xúcua

【副】習慣。ルーティーン。慣習。習わし。

油

【常】

テハ □凡 xúvó

【副】

毎月。

油

【常】

テハ 又 中木 xùnei

【名】

【通】通衣。シャツ。日常的に着るカジュアルな上半身の衣類の総称。

油

【常】

テハ □凡 xùlai

【副】

毎晩。毎夜。

油

【常】

テハ 十凡 xùwàis

【副】毎年。

油

【軍】

テハ 中木 xung

後中 syungk

【名】軍隊。軍。

油

【軍】

テハ □凡 xungxu

【名】軍盤。／雰国で広く遊ばれる伝統的なボードゲーム。

油

【管】

テハ 中木 xum

後中 syum

【名】管。筒。パイプ。チューブ。／中空の細長い物体を指す。

油

【管】

テハ 中木 xumqaipei

【名】管楽器。笛。吹奏楽器。／筒の中の空気を振動させて音を出す楽器の

【名】管楽器。笛。吹奏楽器。／筒の中の空気を振動させて音を出す楽器の

なが、私にはすごい勇氣があると思うわ！」
(竹六 〇)

【帛風】【悉活】 テケ ヨハ、xiùbù 【名】

人生。一生。生涯。／生まれてから死ぬまでの期間全体を指す。【例文】 卯帛風 李 迄 終 卒 迄 卒 矣。「人生の長い夢が終わったらそこに辿り着くことができるんだ。」(後端 15:3)

【帛太】【悉世】 テケ ヨハ xiùfú 【名】

全世界。世界中。世界全体。

【帛国】【悉国】 テケ ヨハ xiù'nù 【名】

【名】 全国。國中。／特定の国家の全ての領域を指す。【類語】 畜国 (183 ペ)

【帛又】【悉豊】 テケ ヨハ xiù'nú 【名】

【形】 いっぱいの。満杯の。満員の。満タンの。／既に満たされており、新たに物を入れることが出来ない状態。

【帛】【兔】 538 画 テケ ヨハ xiù 【名】

【名】 兔。うさぎ。【例文】 卯 帛 風 李 迄 終 卒 迄 卒 矣。「白兔が言います、「ああ、ああ、遅刻だー」」(竹六 3:2)

八 s

倉 329 14画 八上 上古 pswak
後中 sak

名 ひげ。あごひげ。唇の下の顎から生える毛。

勺 589 2画 八上 上古 psah
後中 sah

助数 すすい。杯。器に入った液体や粉を数える助数詞。**名** 柄杓。ひしゃく。〆(88ペ)の本字であり、字形はこれを象つたもの。ただし現代においてはこの意味では使われず、専ら助数詞として用いられる字である。

匙 590 8画 八上 上古 psah
後中 sah

名 スプーン。匙。れんげ。柄杓。／小さい器に柄がついた構造の、主に液体や粉末を掬うための道具。〔関連語〕状(7ペ)

喉 325 6画 八上 上古 psas
後中 sash

名 喉のど。物を飲み込んだところを通る道。**及動** 飲む。液体などを嘔まずに飲み込む。／液体などを咀嚼せずに飲み込むことを指す。〔類語〕和(7ペ)〔例文〕二人の女性が

その原子を集めた。飲み、食べ、吸った。(後端(7・2・3))

咽 329 14画 八上 上古 pswak
後中 sak

名 窒息する。喉に詰まる。息が詰まる。／異物などによって気道が塞がり、呼吸ができなくなる。

丸 329 14画 八上 上古 pswak
後中 sak

名 喉仏。のどぼけ。

商 449 7画 八上 上古 pswangk
後中 sangk

名 商売。取引。売り買い。商い。**及動** 売る。販売する。／名詞としては「売り買い」を指すが、動詞としては「売る」ことを指す。

商 449 7画 八上 上古 pswangk
後中 sangk

名 商品。製品。品物。／店などで売られている品物。また、売るために作られた品物。〔例文〕宜安全全同(88ペ)。「条件に合う商品が7個見つかりました。」

商 449 7画 八上 上古 pswangk
後中 sangk

及動 売り買いする。取引する。商つ。

商 449 7画 八上 上古 pswangk
後中 sangk

名 店。商店。小売店。スーパーマーケット。コンビニエンスストア。／(80ペ)のうち、特に日用品や食料品を販売している小売店を広く指す。

名 店。商店。小売店。スーパーマーケット。コンビニエンスストア。／(80ペ)のうち、特に日用品や食料品を販売している小売店を広く指す。

名 企業。会社。営利法人。

商 449 7画 八上 上古 pswangk
後中 sangk

名 商人。売人。商売人。店員。／屋さん。／商業を営んでいる人。

商 449 7画 八上 上古 pswangk
後中 sangk

名 経済。財政。金融。エコノミー。ファイナンス。／社会において金銭や物品がやり取りされる活動の全体。

形 ①細い。直径が小さい。周長が短い。②瘦せた。瘦せけた。／生物の体重が標準より小さい様子。③音が高い。高音の。周波数が高い。④幅が狭い。細い。／道や隙間などの幅が小さい様子。対義語が状(50ペ)であることに注意。〔対義語〕現(34ペ)、状(50ペ)

形 ①細い。直径が小さい。周長が短い。②瘦せた。瘦せけた。／生物の体重が標準より小さい様子。③音が高い。高音の。周波数が高い。④幅が狭い。細い。／道や隙間などの幅が小さい様子。対義語が状(50ペ)であることに注意。〔対義語〕現(34ペ)、状(50ペ)

形 ①細い。直径が小さい。周長が短い。②瘦せた。瘦せけた。／生物の体重が標準より小さい様子。③音が高い。高音の。周波数が高い。④幅が狭い。細い。／道や隙間などの幅が小さい様子。対義語が状(50ペ)であることに注意。〔対義語〕現(34ペ)、状(50ペ)

【不及動】寝転がる。伏せる。伏す。寝る。倒れる。【例文】小良全太^{せうぜんたい}大全^{だいぜん}相^{あい}。常^{じょう}對^{たい}丁^{てい}申^{しん}世^{せい}印^{いん}。山^{やま}の頂上^{ていじやう}の大木^{だいき}には神^{かみ}が宿^{やど}つてゐる。勝手^{てい}な判断^{はんぱん}で切り倒^{きりたお}してはならな^い。

【亢氣】【伏播】ハフ ㄟㄣㄣ sékuan

【不及動】倒れる。転ぶ。つまずく。こける。転倒する。物体のバランスが崩れて倒れる。

【例文】癸^{みづ}子^こ蜜^{みつ}木^も碗^{わん}世^{せい}亢^{かう}氣^き。「その犬は柱にぶつかって転んだ。」

【亢豈】【伏低】ハフ ㄟㄣㄣ sésiua

【不及動】跪く。平伏する。ひれ伏す。

【亢珪】【伏椅】ハフ ㄟㄣㄣ séliu

ベッド。寝台。寝床。台になつてゐる寝具。

【亢𠂔】【伏指】ハフ ㄟㄣㄣ séyuo

指。第四指。

【煇瑠】【肺】ハフ ㄟㄣㄣ psajs

【名】肺。肺臓。ルンゲ。脊椎動物に存在する呼吸によつて酸素と二酸化炭素の交換を行うための器官。日用語としては瑠瑠(90ペ)が多く用いられる。【例文】喘^{ぜん}痰^{たん}。

齒^し進^{しん}發^{はつ}。瘡^{そう}瑠^{ろう}石^し狀^{じやう}瑠^{ろう}更^{えい}父^ふ。「息を吸う

んだ、今、もう一度吸おう。君の肺が空気で満たされるのを感じて。」(後端 36:1-3)

【瑠珪】【肺臟】ハフ ㄟㄣㄣ sédais

【名】肺。肺臓。ルンゲ。瑠(90ペ)とほぼ同義。

【瑠豈】【肺筒】ハフ ㄟㄣㄣ séxum

氣道。氣管。氣管支。咽頭から肺胞までを結ぶ、空気が通る管の全全体。

【瑠岩】【肺熱】ハフ ㄟㄣㄣ sésiuo

肺炎。肺の炎症。

【煇】【乾】ハフ ㄟㄣㄣ pswe

【形】乾いた。水気のない。ドライな。乾燥した。【不及動】●乾く。乾燥する。●喉が渴く。カラカラになる。主語として口(12ペ)を伴つて用いられる。【及動】SがOを「放置する。放っておく。ほったらかす。」【対義語】参(64ペ)【例文】哈^は暗^{あん}魁^{けい}冲^{ちゆう}米^{まい}哈^は。熾^し呀^や完^{かん}。

煇。「彼にお節介を焼くようなことはしてやるな。時には放っておくことも必要だ。」

【煇𠂔】【乾柿】ハフ ㄟㄣㄣ séje

柿。柿の実を干した食べ物。【感想】とて

もおいしい。

【煇参】【乾霞】ハフ ㄟㄣㄣ sopes

湿度。湿り気。【例文】平^{へい}全^{ぜん}太^{たい}煇^{けい}参^{さん}。【この場所の湿度は5少(約42%)だ。】

【煇𠂔】【乾勞】ハフ ㄟㄣㄣ sópò

勞。無駄。骨折り損。無駄な努力。苦勞。掛けた時間や金銭に対して思つような結果が得られない努力。

【煇𠂔】【乾乏】ハフ ㄟㄣㄣ sópùn

空腹。腹が空いた。餓えた。お腹の減つた腹への。

【煇吟】【乾果】ハフ ㄟㄣㄣ sóhàon

ドライフルーツ。乾果。果実を自然乾燥させた食べ物を全般的に指す名称。

【煇𠂔】【乾魔】ハフ ㄟㄣㄣ sóxàng

名 干魃。日照り。

【煇𠂔】【乾乾】ハフ ㄟㄣㄣ sóso

らざらした。サフサラした。湿り気のない。

【煇𠂔】【乾衣】ハフ ㄟㄣㄣ sónei

【及動】

【荒从】【昂衆】ルハフ了凡ト sommāi

一【名】三人組。トリオ。三人衆。／三人からなるグループや集団。

【𠂔】【爾】482 画 ルー 上古 pswik
8 画 後中 s'ik

【代名】お前。君。貴様。／目下に対して使う二人称代名詞。【例文】奚叱𠂔𠂔𠂔。野下冉。『それはお前の問題だ。勝手にしろ。』

【𠂔】【炭】138 画 ルー 上古 pswit
13 画 後中 s'it

【名】一炭。黒い固体の燃料。一炭素。カーボン。／幄風（93ペ）の略。

【幄風】【炭材】ルー 𠂔凡ト sjāim

【名】炭素。C。

【二】【氣】73 画 ルー 上古 pswing
3 画 後中 sing

【名】一空氣。エア。大氣。氣體。ガス。／目に見えない、空間を満たしている気体。「大氣」という意味では二風（93ペ）も多く用いられる。一木教の五元素の一つ。一窒素。

／二風（93ペ）の略。【例文】𠂔𠂔𠂔。齒𠂔𠂔。猪琬后𠂔𠂔𠂔𠂔𠂔𠂔。一息を吸うんだ、

今。もう一度吸おう。君の肺が空気で満たされるのを感じて。』（後端 361-3）

【二風】【氣材】ルー 𠂔凡ト singāim

【名】窒素。N。

【二風】【氣風】ルー 𠂔𠂔ト singtēm

【名】空氣。大氣。エア。／地上の空間を満たしている呼吸可能な気体。永球においては海面上でおおよそ105気圧に保たれている。【例文】齒𠂔𠂔𠂔𠂔、野𠂔𠂔𠂔、今二風。『もう一度体を持って、大氣の中で、重力に従うだ。』（後端 367）

【二風】【氣思】ルー 𠂔𠂔ト singšao

【及動】注意する。氣をつける。【例文】二氣。『氣をつける。』（後端 32）

【二炭】【氣熱】ルー 𠂔𠂔ト singšuo

【名】氣温。

【二發】【氣瓶】ルー 𠂔𠂔ト singšua

【名】スプレー缶。ガス缶。

【二風】【氣門】ルー 𠂔𠂔ト singšuan

【名】（建物などの）東口。東側の出入り口。／丁風（103ペ）の二（93ペ）が方角の東に対応するところから。

【二風】【氣天】ルー 𠂔𠂔ト singšas

【名】電星。

【二風發】【氣天慶】ルー 𠂔𠂔ト singšasnu

【名】電星節。／霧国において最も重要な祭日である二風（113ペ）の一つ。立春冬夏至と春分の中間に置かれる。

【二風】【氣囊】ルー 𠂔𠂔ト singni

【名】風船。バルーン。氣球。【類語】二風出元（93ペ）

【二風】【氣】【氣囊船】ルー 𠂔𠂔ト singničua

【名】氣球。／二風（93ペ）のうち、特に氣球を指す。

【二風】【氣位】ルー 𠂔𠂔ト singničua

【名】氣圧。大氣圧。氣体の圧力。／圧力のうち、特に気体によるもの。大氣圧を指すことも多い。

【二風】【氣】344 画 ルー 上古 psin
5 画 後中 sin

【名】爪。つめ。指の先端にある硬い組織。【及動】

掻く。引掻く。ひつかく。

【弱粒】ハハモ ヌケモ sūdhol

名 レプトン。軽子。／物質を構成する素粒子の分類の一つであり、強い相互作用がはたらかないもの。【例文】^{レプトン}レプトン。【類語】^{レプトン}レプトン。

風爛。汎憂。災至。白風狂。【例文】^{風爛}風爛。【類語】^{風爛}風爛。

【例文】「その後天上神、悪魔、天使、怪奇現象、異世界人、地球外生命体。レプトン。クォークとも呼ばれた。」(後端 37:8,12)

【弱指】ハハモ ヌケモ sūlyūo

五指。第五指。

【画】ハハモ ヌケモ sūe
174 8 後中 80

名 絵。アート。絵画。【例文】「雷画」の略。【類語】^{雷画}雷画。

【例文】「雷画」の略。【類語】^{雷画}雷画。【類語】^{雷画}雷画。

【類語】^{雷画}雷画。【類語】^{雷画}雷画。

【画】ハハモ ヌケモ sūokōng

【類語】^{雷画}雷画。【類語】^{雷画}雷画。

【類語】^{雷画}雷画。【類語】^{雷画}雷画。

八

である。① レンダリングする。描画する。／コンピューターなどで、データに演算を加えて画像や動画などを可視化することを指す。【類語】^{レンド}レンド。

【画】ハハモ ヌケモ sūōlā

画家。絵師。イラストレーター。画伯。／絵を描くことを仕事にしている人。

【画】ハハモ ヌケモ sūōhōs

絵の具。顔料。画材。

【画】ハハモ ヌケモ sūōhī

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

【類語】^{レンド}レンド。【類語】^{レンド}レンド。

ラベルに「オレンジジャム」と書かれた瓶を一つ取り出しました。」(竹六 63)

【**束砒**】**【書話上】** ハヨ、ヤ、七、木

stacalia **【名】** 作家。小説家。ライター。物語や文章を書く人。

【**束筋**】**【書心】** ハヨ、マ、ス、pài **【名】**

文房具。筆記用具。筆記具。

【**束砒**】**【書帳】** ハヨ、ハハ、ス、sùs

【名】 ノートブック。

【**束**】**【書門】** ハヨ、マ、ス、sùn

【及動】 編集する。書き換える。

【**束琬**】**【書魂字】** ハヨ、スハ、中

フ sù hùn **【名】** 表意文字。表語文字。象形文字。関連語 琬琬 (101 ペ)

【**束**】**【書声字】** ハヨ、十、中

sùawégó **【名】** 表音文字。音標文字。

【**束**】**【元】** ハヨ、上古 swat

【**形**】**【元】** 前の。始まりの。最初の。前置

から。時間や場所などの始点を指す。

但し、下から上に進む移動や体系だった物の事の始点など、ニュアンス上「根本」が重要である場合は五 (14 ペ) を用いる。① を使

つて。から。製の。物の材料や原料を指す前置詞。助。引く。マイナス。減算の名詞句を作る。文法「引くは本来前置詞として使われていたが、修飾構造にあるという認識が薄れたためここは助詞とする。類語 米五 (14 ペ) 例文 凡 匪 徒 卒 壯 殆 矣。私は数学をあの教師に学んだ。」

【**束**】**【元杖】** ハヨ、中、sùqú **【名】**

元杖。旧杖。世界観 近代化により杖 (21 ペ) の定義が改定される以前の単位。現代の79 の長さに相当し、5 単位換算で約 0.832m である。身体尺であり、腕を左右に広げた幅の半分を由来とする。

【**束**】**【元引】** ハヨ、ム、sùtè **【名】**

元引。旧引。旧テ。世界観 近代化の過程で定義し直される前の杖 (32 ペ) を指す。2016 倍 (21 ペ) (12 進法) 1200 倍 (21 ペ) に相当する長さの単位。5 単位で約 2315m に相当する。人が二四 (56 ペ) (約 24 分) の間に歩く距離を由来とする。

【**束**】**【元杖】** ハヨ、中、sùqú **【名】**

元杖。旧杖。世界観 近代化により杖 (21 ペ) の定義が改定される以前の単位。現代の79 の長さに相当し、5 単位換算で約 0.832m である。身体尺であり、腕を左右に広げた幅の半分を由来とする。

【**束**】**【元引】** ハヨ、ム、sùtè **【名】**

元引。旧引。旧テ。世界観 近代化の過程で定義し直される前の杖 (32 ペ) を指す。2016 倍 (21 ペ) (12 進法) 1200 倍 (21 ペ) に相当する長さの単位。5 単位で約 2315m に相当する。人が二四 (56 ペ) (約 24 分) の間に歩く距離を由来とする。

【**束**】**【元杖】** ハヨ、中、sùqú **【名】**

元杖。旧杖。世界観 近代化により杖 (21 ペ) の定義が改定される以前の単位。現代の79 の長さに相当し、5 単位換算で約 0.832m である。身体尺であり、腕を左右に広げた幅の半分を由来とする。

【**束**】**【元引】** ハヨ、ム、sùtè **【名】**

元引。旧引。旧テ。世界観 近代化の過程で定義し直される前の杖 (32 ペ) を指す。2016 倍 (21 ペ) (12 進法) 1200 倍 (21 ペ) に相当する長さの単位。5 単位で約 2315m に相当する。人が二四 (56 ペ) (約 24 分) の間に歩く距離を由来とする。

【**束**】**【元杖】** ハヨ、中、sùqú **【名】**

元杖。旧杖。世界観 近代化により杖 (21 ペ) の定義が改定される以前の単位。現代の79 の長さに相当し、5 単位換算で約 0.832m である。身体尺であり、腕を左右に広げた幅の半分を由来とする。

【**束**】**【元引】** ハヨ、ム、sùtè **【名】**

元引。旧引。旧テ。世界観 近代化の過程で定義し直される前の杖 (32 ペ) を指す。2016 倍 (21 ペ) (12 進法) 1200 倍 (21 ペ) に相当する長さの単位。5 単位で約 2315m に相当する。人が二四 (56 ペ) (約 24 分) の間に歩く距離を由来とする。

【**束**】**【元杖】** ハヨ、中、sùqú **【名】**

元杖。旧杖。世界観 近代化により杖 (21 ペ) の定義が改定される以前の単位。現代の79 の長さに相当し、5 単位換算で約 0.832m である。身体尺であり、腕を左右に広げた幅の半分を由来とする。

【轡轡】【衝落】 ハニメ、ロニメ suanjua

【不及動】 転がり落ちる。転落する。滑落する。転がる。／地面や障害物などにぶつかりながら落ちる様子。【例文】 林刀知、ノ丸又平表押、起戸対吻丸轡轡 戸端端廿対吻琉啖ー壹、「アリスは思いました、私はもうこんなふうになんか落ちたことがあるんだから、この先私が階段から転げ落ちても何も感じないわ。」(竹六二)

【轡舌】【衝舌】 ハニメ、ニハ suannua

【不及動】 Sが禾と一口論する。口喧嘩する。言い争う。衝突する。揉める。／言葉による争いは轡舌(98ジ)、暴力によるものは率轡(74ジ)として明確に区別される。【例文】 ハ印入轡舌、掲参全竹廿端戸端端ヲ示。「揚げ物にレモンを絞って掛けるかどうかについて二人が口論した。」

【鼻】 238 4画 ハニメ、上古 swim 後中 sim

【鼻】 鼻の

【鼻】 鼻の

些細なことでもよく笑うような気質の人。人物を主語に取り、総主文の形で多く用いられる。【例文】 轡轡ハニメ、可丸端端戸端端、

【轡轡】 轡轡ハニメ、可丸端端戸端端、

【鼻】 鼻の

【鼻】 鼻の

【鼻】 鼻の

【鼻】 鼻の

【鼻】 鼻の

【鼻】 鼻の

【鼻】 鼻の

【例文】 轡轡ハニメ、可丸端端戸端端、

【鼻】 鼻の

【鼻】 鼻の

【鼻】 鼻の

【鼻】 鼻の

【鼻】 鼻の

【鼻】 鼻の

【鼻】 鼻の

【鼻】 鼻の

岩参

【熱露】 八ヶへ ま干ハ sūpēs

名 蒸気。水蒸気。湯気。スチーム。／気体としての水蒸気から液体の霧としての湯気までを包括して指す。

岩参

【熱露働車】 八ヶへ ま干ハ sūpēs kàngtē

名 蒸気機関車。汽車。機関車。蒸気車。

岩吮

【熱冷】 八ヶへ ま一七 sūopi

温度。熱量。

岩兀

【熱水】 八ヶへ 八フへ sūo'sō

名 お湯。湯。熱湯。／霧語には日本語の「湯のように加熱した水を指す基礎語が存在せず、このように表される。【例文】 巾烟對私大宮、^{kyōin} 岩兀 ^{kyōin} 岩兀。」「野菜を丁度いい大きさに切り、熱湯に入れる。」

岩煙

【熱原】 八ヶへ 土木へヌ sūozàn

名 サバンナ。草原。／熱帯の草原。多少の樹木が点在していることを特徴とする。

岩融

【熱融】 八ヶへ 土木へヌ sūo'lios

不及動 融解する。融ける。溶ける。／温度が

上がることで固体の物質が液体へと変化する現象。学術用語であり、日常では融（融）と表現することが多い。

岩生

【熱蒸】 八ヶへ 土木へヌ sūowās

名 炎症。腫れ。腫脹。熱。／病原体が侵入したり体が傷ついた際に体の一部が腫れ、熱を持った痛みを引き起こしたりする現象。

握

389 握 14 画 八ヶへ 土古 swump

及動 掴む。握る。しっかりと持つ。【数】 10。十。【例文】 指の本数を元にした、10進法における10を指す単位。通常は前に数詞を付けて単位として扱われ、「一（10ベ）握（99ベ）」は元（7ベ）と同義である。

握

【握時音】 八ヶへ 土古ムコへ 土古 sūomtuàng

名 懐中時計。

握

【握角】 八ヶへ 土古ロトヌ sūomha

名 取っ手。持ち手。つまみ。柄。グリップ。ハンドル。／道具や機械の中で人間の手で掴んだりつまんだりするための部分。

握

【握絞】 八ヶへ 土古ロトヌ sūomhā

及動 握りつぶす。握り潰す。／握る力で物体を壊す行為。【例文】 押寄、^{shōji} 握絞、^{shōji} 握絞。」「彼は見てろよ」と言い、柿を右手で握りつぶした。」

並

339 並 6 画 八ヶへ 土古 sūit

不及動 並ぶ。列を作る。整列する。【前置】 しながら。／同時に。／の間に。時間的な並立。【例文】 丸喰、^{marikui} 並立、^{marikui} 並立。」「私は毎朝、学校に向かうときに公園を通り抜けます。」(ZpD10 #7)

羅

【並隠】 八ヶへ 土古 sūo'qūa

成句 こっそり。隠れて。密かに。忍んで。【例文】 野木、^{nomiki} 羅。」「奇妙な人物を密かに追跡する。」

止

【並止】 八ヶへ 土古ムコへ 土古 sūolizua

成句 休み休み。途切れ途切れ。断続的に。間欠的に。／途中に間隔が空きながらも動作が継続する様子。【対義語】 五日宮迎（100ベ）

透

【並透雷】 八ヶへ 土古セーアハヌ sūolif'main

成句 雷の落る間に。瞬間的に。一瞬で。瞬く間に。一瞬だけ。／ほんの

艸

142 粉 8画

土フ、上古 sdaws
後中 dzoh

【名】粉。粉末。【例文】平政艸 吟吟吟「一吟
豎豎豎艸。「この白い粉は何ですか？」「純
度の高い小麦粉ですよ。」

艸

粉 8画

土フ、土フ、zozo

さらさらした粉々の非常に細かい。

尙

165 丘 7画

土フ、上古 sdwet
後中 dzot

【名】山。山々。高地。山岳。台地。／一つの山に
限定せず、高い山が密集する山脈や山間部
の様子など、地形としての山を纏めて指す。
【類語】小(44ページ)

尙

丘 7画

土フ、ハエ、zò'sua

ゾー芋。ジャガイモ。じゃがいも。馬鈴薯。ポ
テト。／現界のジャガイモに良く似た丸い芋
で、主に山地や冷涼な土地で栽培される。雰
国の南方神旭山脈が原産地である。ただし
永球で一般的な品種には皮が赤みがかった
ものが多く、慣れていない現界人にはむし
ろ形が歪なサツマイモに見えるかもしれない。

尙

芋 7画

土フ、ハエ、土

／zò'siazo 【名】片栗粉。でんぶん粉。ポテ
トスターチ。／主に尙艸(102ページ)から作られ
るでんぶん粉。

早

85 民 6画

土フ、上古 sdwemp
後中 dzomp

【名】国民。民衆。

早

中 6画

土フ、上古 sdwemp
後中 dzomp

干、日中、ハエ、zòmpèlgào sào

早

中 6画

土フ、主主義。共和主義。

主義国家。

早

中 6画

土フ、上古 sdwelk
後中 dzolk

【及動】掘る。掘削する。掘り進む。／主に地面
を削つてくぼみや洞穴を作ることを指す。

早

中 6画

土フ、日、zòlgim

【名】トンネル。隧道。／地面を貫いて作る道
を指す。【例文】掘り通す「トンネルは
その山を貫通している。」

早

中 6画

土フ、テ、zòl'ia

石油。

早

中 6画

土フ、ハエ、zòl'sia

スコップ。シベル。シャベル。／土砂を掘つ
たりすくったりするための道具。

早

中 6画

土フ、ハエ、zòl'si

石炭。

早

中 6画

土フ、七、zòl'à

鉱夫。鉱山労働者。鉱員。【例文】突入 続
「申込早」八日 本 突入 続。「そいつ
は時々、限りなく平らな世界の上で、自分が
鉱夫となる夢を見た。」(後端 七)

早

中 6画

土フ、七、zòlluo

【及動】発掘する。掘り出す。掘り起す。／地
中を掘り進めて、そこに埋まっているものを
取り出す行為。

早

中 6画

土、上古 sdwiv
後中 dzi

【名】女性。【類語】女入(102ページ)

早

中 6画

土、ロ、zòl'ia

性。女の人。女。／性別としてではなく、特に
人物としての女性に重きを置いた表現。

【関連語】

突入(35ページ) 【例文】一中 突入 突入

古^{antiqu}。改^{change}。改^{change}。改^{change}。「二人の女性がその原子を集めた。飲み、食べ、吸った。」(後端 42-3)

兀 520 端 3 画 土 h 上古 sdng zng 後中 dzng

名 一端。縁。隅。角。へり。／事物が終わる境目の部分を指す。①限界。終わり。際限。

前置 〽の周りで。〽の端で。〽の外縁で。境界に近い内側の部分を指す。〔類語〕米(109 ペ)、白(155 ペ) 〔例文〕米^米卒^卒兀^兀矣。

「その国の国境付近には多くの兵が配置されている。」

兀 端 虚 土 h 土 zng'ua 形

無限の。限りない。終わらない。永遠の。

〔例文〕林^林兀^兀日^日私^私卯^卯管^管叩^叩「アリスは永遠に落ちきらないのです。どうか。」(竹 6-8)

兀 422 南 5 画 土 h 上古 sdwingk zng 後中 dzngk

名 南。／南極点に向かう方向。

兀 南 磁 土 h 土 zngkua

一 名 S 極。磁石の負極。〔例文〕磁^磁現^現本^本丸^丸難^難現^現丸^丸、記^記天^天父^父本^本丸^丸私^私兀^兀難^難現^現本^本丸^丸。 齒^齒兀^兀「方位磁石の S 極は北極を指すから、

永球の北極は S 極なんだって。やーこしい

な」

兀 南 嚙 土 h 土 zng'zās

名 オーロラ。南極光。極光。／オーロラ(丸 咄(6 ペ))のうち南極圏で見られるものが、特にこう呼ばれることがある。〔類語〕米 丸 咄(6 ペ)

兀 南 端 土 h 土 zng'zng

名 南極。南極点。

窓 439 茶 10 画 土 h 上古 sdilk z 後中 dzilk

名 茶。お茶。乾燥させた植物を湯に溶かし出した飲み物。

窓 茶 臣 土 h 土 zilze 名

菓子。お菓子。おやつ。スイーツ。甘味。／原義は「茶のお供」。現代では特に甘いお菓子を指すことが多い。〔類語〕古 梁(16 ペ)

窓 錠 錠 土 h 土 sdus 22 画 後中 dzus

名 錠。錠前。鍵。ロック。／扉や箱などを閉じて固定しておくための道具。①(物品)のメス。凹側。ジャック。コネクタ。／凸側と凹側で二組になる接続端子や部品のうち、受け口になる側。

窓 563 方 10 画 土 h 上古 sdwungs zng 後中 dzung'h

形 ①四角の。四角形の。方形の。②角張った。 名 四角形。直方体。立方体。四角柱。

窓 方 包 土 h 土 zung'huo

名 直方体。直六面体。〔関連語〕所 窓 窓(138 ペ)

窓 翠 土 h 土 zaws 430 10 画 後中 zoh

名 翡翠。ヒスイ。／日用語としては窓(103 ペ)が多く用いられる。形 青緑色の。翡翠のような色の。／#3ab9d0に近い色。

窓 翠 玉 土 h 土 zok'kun

名 翡翠。ヒスイ。

窓 疊 土 h 土 zweep 600 16 画 後中 zop

及動 畳む。重ねる。折る。折り曲げる。折り重ねる。／紙などの二次元的なものを曲げる操作。形 重なった。積まれた。積もった。重複した。被った。／同種物が層状に積み重ねられた状態。砂や雪など、層を形成しないものには窓(178 ペ)を用いる。〔助数〕層。／階。フロア。／主に建物の階層を数える。順序を台意して特定の階を指す場合

は「風(フウ)」を「送(103ページ)」とする。**名** 層。
レイヤー。階層。**類語** 米舎(9ページ)、送(178ページ)【例文】平山又冊送互本友友。「これは8階建てのビルだ。」

送風【覺音】土市、上古 zàofūn **名**

和音。和声。コード。ハーモニ。／複数の音階の音が同時に鳴るもの。

送風【覺鳴】土市、上古 zàofūn **名**

不 及動 **送風**【覺鳴】土市、上古 zàofūn **名**
「Sが規則に」共感する。共鳴する。同感する。分かち合う。共有する。／他人の考えや感情を自分のこととして理解し、自分も同じ感情を持つこと。

送水【覺多】土市、上古 zàodúā **名**

不 及動 **送水**【覺多】土市、上古 zàodúā **名**
二乗。平方。自乗。／同じ数を二度掛け合わせたもの。

送水【覺多解】土市、上古 zàodúā **名**

送水【覺多解】土市、上古 zàodúā **名**
平方根。二乗根。自乗根。ルート。

送瓦【覺瓦】土市、上古 zàowǎ **名**

送瓦【覺瓦】土市、上古 zàowǎ **名**
瓦。粘土瓦。屋根瓦。瓦。レンガ。／粘土を焼いて作った屋根材。

送水【覺多】土市、上古 zàowáng **名**

名 玉ねぎ。玉葱。オニオン。

旦【洞】土市、上古 zǎn **名**

名 穴。あな。／物の表面に存在する深いくぼみ。また、物体を貫通しているような穴。

例文 片旦(104ページ)【洞】「あの力エルはしばらく穴から出て来なさそうだ。」

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

名 蛙。かえる。カエル。両生類の飛び跳ねる生き物。／製作者のかえるではない。日用語としては旦(104ページ)も多く用いられる。

例文 旦(104ページ)【蟾】「私はどうやってカエルになれるんだろう。」

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

旦【蟾】土市、上古 zǎn **名**

球の楼岑州北部に位置する国家。雰語を公用語とする。

【苳𠄎】【栄国】ㄅㄆㄇㄏㄨㄢˊ fúnnún

【名】雰国。雰天国の通称。【例文】苳𠄎又氷熾彙。「雰国は長い歴史がある。」

【器】377【鏡】13画 ㄅㄆㄇㄏㄨㄢˊ 上古 後中 fūnt

【名】鏡。かがみ。ミラー。金属製の光を反射する装置。

【器買】【鏡器】ㄅㄆㄇㄏㄨㄢˊ fūnjā

レンズ。光を曲げる装置。

【廻】231【通】9画 ㄅㄆㄇㄏㄨㄢˊ 上古 後中 fāngk

【皮動】①通る。通過する。通り抜ける。通ります。②貫く。貫通する。穿つ。【類語】廻𠄎(108ジ)、廻𠄎(108ジ)【例文】廻𠄎半象廻𠄎平内食。交廻𠄎平𠄎「汚い虫は多分この隙間から入ってきてるんだろう。埋められますか？」

【廻𠄎】【通𠄎】ㄅㄆㄇㄏㄨㄢˊ fāngku

【不皮動】①Sが丘を「通り過ぎる。通り抜ける。【例文】廻𠄎京廻𠄎丘登𠄎、五子登𠄎。

「私は毎朝、学校に向かうときに公園を通

り抜けます。」(zpidc #7)

【廻𠄎】【通子】ㄅㄆㄇㄏㄨㄢˊ fāngzū

【名】甥。姪。自分の弟か妹の子。【関連語】氷傘𠄎(126ジ)、廻𠄎(108ジ)、廻𠄎(108ジ)

【廻𠄎】【通男】ㄅㄆㄇㄏㄨㄢˊ fāngtū

【名】甥。自分の弟か妹の男子。【関連語】氷傘𠄎(126ジ)、廻𠄎(108ジ)

【廻𠄎】【通女】ㄅㄆㄇㄏㄨㄢˊ fāngzī

【名】姪。自分の弟か妹の女子。【関連語】氷傘𠄎(126ジ)、廻𠄎(108ジ)

【廻𠄎】【通行】ㄅㄆㄇㄏㄨㄢˊ fāngyā

【皮動】①Sが〇を「貫通する。貫く。通り抜ける。【例文】廻𠄎廻𠄎𠄎。トンネルはその山を貫通している。」

【廻𠄎】【通年日】ㄅㄆㄇㄏㄨㄢˊ fāngwàikuáng

【名】周年。記念日。祝祭日。／毎年決まって記念される特定の日付。多くは公的・私的に重要な出来事が起こった日から丁度何年か経った日を指すことが多い。ユアンスは中立的で、吉事と凶事のどちらにも用いられる語である。

【川】29【四】4画 ㄅㄆㄇㄏㄨㄢˊ 上古 後中 fāi

【数】4。よん。【例文】角川印齋弘大𠄎、廿九𠄎。九𠄎。玄玄川𠄎。「二つの都市の間はとても離れていて、たとえ自動車を使っても四刻(96分)かかる。」

【川𠄎】【四先日】ㄅㄆㄇㄏㄨㄢˊ fāiāolkuáng

【名】しあつて。明々後日。3日後／次の次の日。今日から3日後。3日以上離れた未来や過去の日付は(数詞)+𠄎(38ジ)𠄎(8ジ)という形で表されるが、今日を「日目」として数えるため一般的な数え方とズレる点に注意。

【川𠄎】【四平包】ㄅㄆㄇㄏㄨㄢˊ fāixembuós

【名】四面体。

【川𠄎】【四去日】ㄅㄆㄇㄏㄨㄢˊ fāimakuáng

【名】さきおとこ。一昨々日。3日前。／前の前の前日。今日から3日前。数え方については川𠄎(108ジ)を参照。【関連語】氷川𠄎(108ジ)

【川𠄎】【四筋團】ㄅㄆㄇㄏㄨㄢˊ fāiāsdāi

【名】四角形。スクエア。／四本

へ fāiāsdāi

へ fāiāsdāi

へ fāiāsdāi

人 v

訃

21【金】 12画 人々、上古 wick
va 後中 wih●金。黄金に輝く金属。●金元素。／
訃風(Ⅲヅ)の略。

訃風

人々、下凡、vājām

名 金元素。v。

訃罔

人々、ム、vāng 名

金箔。／金を薄く伸ばした金属箔。

訃罔

人々、ム、vāng 名

赤熱。白熱。発光。輝き。／金属などが高温で熱された時に発する光。●夕焼け。朝焼け。黄昏。夕暮れ。／日の出や日の入りの前後に、地平線に近い空が赤く見える現象。霧語では基本的に両者は区別されない。

訃

人々、ム、vāng 名 金

箔。

訃

20【天】 2画 人々、上古 vas
vas 後中 vas

●天。木教において神が住まうとされる場所。●星。天体。／惑星や衛星、恒星

などをまとめて指す。●気候。空。空。空模様。／天気や気温などの気象現象について述べる場合に凡(Ⅲヅ)が主語となる用法がある。【例文】凡(Ⅲヅ)。「今ちょうど雨が降っている。」

凡(Ⅲヅ)。「今ちょうど雨が降っている。」

凡

人々、日、vasgus 名

曆。暦法。カレンダー。

凡

人々、日、vasgus 名

凡(Ⅲヅ)。「天文字。」

凡

人々、日、vasgus 名

星。星がたぐいに見える空。

凡

人々、日、vasgus 名

凡(Ⅲヅ)。「宇宙船。」

凡

人々、日、vasgus 名

凡(Ⅲヅ)。「大災害。」

凡

人々、日、vasgus 名

凡(Ⅲヅ)。「天京」。

凡(Ⅲヅ)。「天京」。

凡(Ⅲヅ)。「天京」。

【例文】凡(Ⅲヅ)。「開けるー夫京市警だ！」

凡(Ⅲヅ)。「開けるー夫京市警だ！」

凡

人々、日、vasgus 名

凡(Ⅲヅ)。「天京語。／霧国の首都凡(Ⅲヅ)で話される霧語の方言。現代の標準語である凡(Ⅲヅ)は主にこの方言を基にして整備された。」

凡

人々、日、vasgus 名

凡(Ⅲヅ)。「狭い範囲に多くの恒星が集まった構造物。」

凡

人々、日、vasgus 名

凡(Ⅲヅ)。「天慶」。

凡

人々、日、vasgus 名

凡(Ⅲヅ)。「天慶」。

凡

人々、日、vasgus 名

凡(Ⅲヅ)。「天慶」。

凡

人々、日、vasgus 名

凡(Ⅲヅ)。「天慶」。

凡

人々、日、vasgus 名

凡(Ⅲヅ)。「天慶」。

【八千】【天也】人々 八千 vasye 名

●永球から見える天の川。永球銀河の中心部。●永球が位置する銀河の名称。永球銀河。【世界観】地球から見える「天の川」とは異なることに注意。

【八十】【天交】人々 十人 vasi 名

カレンダー。／暦に基づき、日付や天体の動きなどを記載した表。【類語】【八磁】(Ⅲペ)

【齡】【齊】587 10 画 人々 十 上古 vāng 後中 wāngH

【形】揃った。整った。等しい。一樣な。均一な。画一的な。／多くのものが同じ状態にあり、等しく揃っている様子。【不及動】揃う。整う。並ぶ。【類語】【妥協】(Ⅶペ)

【齡】【齊混】人々 十 十人 vāngpu

【及動】攪拌する。かき混ぜる。混ぜる。混ぜ合わせる。泡立てる。シャッフルする。／中身を均一にしたり、空気を含ませるためにかき混ぜる動作。液体に限らず、くじやカードの束など集合体の順番を混ぜるときにも使われる。【類語】【湊】(67ペ)

【齡】【齊言】人々 十 十人 vāngpu

【及動】く一致する。く意見が合う。

【齡】【齊数】人々 十 十人 vāngmis

【名】平均値。【及動】平均を取る。

【ト】【右】39 2 画 人々 十 上古 vān 後中 vān

【名】右。

【ト半】【右手】人々 十 十人 vāntāos

【名】●右手。馬手。／本人から見て右側の手である。●右側。右方面。右の方。【関連語】【イ半】(Ⅶペ)【例文】【誤】右側【ト半】、【凸】【誤】「カッパは右側に置いてありますので、自由にお取りください。」

【副】【副】67 10 画 人々 十 上古 vān 後中 vān

【副】●まさに。丁度。ちょうど。今。その時。／まさにその出来事が起こっている最中であることを指す。●くしている。くしている最中。／近代以降の用法であり、外国語の進行相に対応する表現として用いられる。【例文】【八】【八】「今ちょうど雨が降っている。」

【形】【新】310 7 画 人々 十 上古 vāi 後中 vāiH

【形】●新しい。新たな。新時代の。●生まれ

たての若い。【類語】【凶】(Ⅷペ)【例文】【凶】

【凶】【凶】【凶】【凶】【凶】【凶】【凶】【凶】

【名】元日。元旦。／新年で最初の一日。旭

暦における「旬一日」である。

【名】【新報】人々 十 十人 vālvāi

【名】ニース。報道。／最近起こった出来事に関する知らせ。主にマスメディアによってもたらされる物を指してこう呼ぶ。

【名】【新年】人々 十 十人 vālvāis

【名】新年。新しい年。／年末年始などに新しい年の全てを指して用いられる。「正月」のような年始のみの意味は持たない。

【名】【月】25 3 画 人々 十 上古 vuk 後中 vuk

【名】淑月。おつきさま。／永球の持つ唯一の天然の衛星。日用語としてはタハ(Ⅲペ)も多く用いられる。【類語】【タハ】(Ⅲペ)

【名】【月】人々 十 十人 vōkā 名 月

相。月齢。／永球から見られる、淑月の明る

運動。体操。エクササイズ。活動。／仕事のため、また楽しみや健康増進などを目的として行う、肉体を使った活動の全般。楽しみのための活動以外をも含むという点で、日本語の「運動」よりも意味範囲が多少広いことに注意。

旺丸【体重】 人、十ト又 vāovàn

名 体重。生物の重量。

旺 435【非】 人、上古 wāj
7画 vāi 後中 we

【特動】否定コピュラ。でない。【感】いいえ。No. いえ。否。ううん。／相手の疑問に対する否定を表す表現。質問文の内容と事実が異なる時に用いられるため、真である事実に対して否定疑問文で質問された場合も使うことができる。【例文】旺。「いや。」(後端 30-1)

旺【非論】 人、ト vaica 【形】理

不尽な。不条理な。不合理な。／道理や理屈に沿っていない、筋が通らない状態を指す。

旺【非悉】 人、テ vaixuo 【成句】

完全にとはいえない。とまではいかない。【例文】旺旺旺旺。「あの男は完全な

悪者というわけではない。」

旺【非法】 人、十千 vaivai 【感】

いやだ。嫌だ。だめ。無理。／最も簡潔、かつ最も直接的な断りの表現。特に親しい間柄のみで使われることがほとんどである。

【類語】丸刈(丸刈)

旺【非穩】 人、十 vaivai 【形】

不安な。心配な。気がかりな。／未来のことや、不確実な物事に対して恐怖や悩みを感じる状態。不安を引き起こす原因を修飾するので、「心配する人」を「旺(旺)人(旺)」とするのは間違いで、「旺(旺)旺(旺)」とするのは間違いで、「旺(旺)旺(旺)」が正しい。【類語】米穀(米穀) 【例文】旺旺旺旺旺旺。「彼にはいつも多くの心配事があるようだ。」

旺 371【測】 人、上古 wajs
11画 vāi 後中 weh

【皮動】①測る。測定する。計量する。計測する。／特定の物体や事柄に関して、より詳しい情報を得るために触れたり見たりして調べること。②調べる。見る。確認する。点検する。

旺【測目】 人、口 vaiké

【皮動】検査する。審査する。精査する。／物事を詳しく調べ、品質や異常の有無などを評価すること。

旺【測標】 人、ト vaidai 【名】

単位。【ニシト】／数量を計測する際に基準となる量。

旺【測杯】 人、ミ vaipān

【名】計量カップ。液体の量を測る入れ物。

旺【測熱】 人、ハ vaisho

【名】温度計。温度を測る道具。

旺【測尋】 人、ハ vaifu 【名】

テスト。試験。考查。検定。能力試験。資格試験。模試。／学校の定期考査や検定試験などのように、対象者の能力や技量を測定するための試験。入試や選考など、合否を決めるための試験は旺(旺)で表される。

【類語】旺(旺) 旺(旺) 旺(旺)

旺【測門】 人、ト vaifon

【皮動】検閲する。監査する。言論を統制する。

封殺する。／出版物や情報発信の内容を、公的な機関が検査すること。特に、不都合な内容を削除したり書き換えたりして情報を封殺することを指すことが多い。

封今 人凡 七八ハ vāi'lùng

名 定期ものじ。

封丸 人凡 十ハ又 vāi'wàn

及動 計量する。重さを測る。

又 n

叩 98 **【刃】** 3画 又千へ 上古 paks
後中 ndak

名 刃物。刀や包丁、剣、ハサミなどを切るための道具。**及動** ①切る。分ける。分割する。／完全に切断することを指す。②SがOを又で1割る。除算する。**語成分** 止める。

やめる。終わる。**例文** 叩畑野弘大古、**切** 癸十唐爪。「野菜を丁度いい大きさに切り、熱湯に入れる。」

叩 126 **【刃粒央】** 又千へ 又千へ naitolna **不及動** 核分裂を。

叩 185 **【央】** 6画 又千へ 上古 pieh
後中 ndahi

割り算、除算。

前置 〃の中心で。〃の中央で。**形** 〃の中心。〃の真ん中。**例文** 癸入倉叩又風叩古亞里、石大娘叩癸叩癸、今各八各叩全。

「そいつに含まれる七千籽の原子はこのゲームよりもはるか昔に、恒星の中心で作られたものだ。」後端 (21)

回 156 **【央北】** 又千へ まつ、napo **名**

正子。真夜中。／〇刻〇分丁度。

回 126 **【央夜】** 又千へ 七凡 naitai **名**

夜中。真夜中。夜更け。

回 126 **【央虚】** 又千へ 三、naua **形** 穴

の空いた。中空の。／穴が貫通している状態を指す。

叩 126 **【肉】** 8画 又千へ 上古 ptengs
後中 ndangh

名 肉。／(主に)食用にする生物の組織。

叩 126 **【肉片】** 又千へ きー nangpi **名** (肉)の部位。

叩 126 **【肉凝】** 又千へ 十へ nangwa **名** 痙攣。／むり返り。／筋肉が意識と関係なく収縮する発作。動詞としては眩(169ジ)が用いられる。

叩 450 **【雪】** 8画 又千へ 上古 pian
後中 ndan

名 雪。スノー。降雪。／気象としての降雪、または空から降下している段階の雪を指す。地面に積もった物体としての雪は叩(1)

(169ジ)で表される。

叩 156 **【兵】** 6画 又千へ 上古 ptait
後中 ndait

名 兵士。軍人。**例文** 米叩 叩凡各因。「その国の国境付近には多くの兵が配置されている。」

叩 359 **【吐】** 10画 又千へ 上古 pjijs
後中 ndehi

不及動 吐く。吐き出す。息を吐く。**及動** 放出する。出す。流出させる。排出する。捨てる。／あるものの内容を外に出す。**類語** 叩(7ジ)

叩 126 **【吐水】** 又千へ 八フ、néso **及動** 排水する。水を抜く。

叩 126 **【吐水路】** 又千へ 八フ、叩

néso **名** 下水道。排水設備。下水。

叩 629 **【暇】** 12画 又千へ 上古 pjijs
後中 ndep

不及動 休む。休憩する。休息を取る。／叩(169ジ)は企業や店が営業を休止すること、叩(3ジ)は仕事や集まりなどに出ないことを指すのに対し、寧(169ジ)は労働や活動をせざるに安らぐことを指す。**名** 休み。休

【名】紙。文字を書くことができる薄い媒体。

【名】紙幣。お札。

【名】紙幣。お札。

【名】クリップ。ペーパークリップ。／紙の束などを挟み込んで固定する道具。金属製のものが多い。

【名】紙面。紙面。紙面。面。／本を始めとする印刷物を構成する、それぞれの紙面。面。(83ページ)とほぼ同義。

【名】紙面。紙面。紙面。面。／本を始めとする印刷物を構成する、それぞれの紙面。面。(83ページ)とほぼ同義。

【名】紙面。紙面。紙面。面。／本を始めとする印刷物を構成する、それぞれの紙面。面。(83ページ)とほぼ同義。

【名】紙面。紙面。紙面。面。／本を始めとする印刷物を構成する、それぞれの紙面。面。(83ページ)とほぼ同義。

【名】紙面。紙面。紙面。面。／本を始めとする印刷物を構成する、それぞれの紙面。面。(83ページ)とほぼ同義。

【名】紙面。紙面。紙面。面。／本を始めとする印刷物を構成する、それぞれの紙面。面。(83ページ)とほぼ同義。

【名】紙面。紙面。紙面。面。／本を始めとする印刷物を構成する、それぞれの紙面。面。(83ページ)とほぼ同義。

【名】紙面。紙面。紙面。面。／本を始めとする印刷物を構成する、それぞれの紙面。面。(83ページ)とほぼ同義。

【名】紙面。紙面。紙面。面。／本を始めとする印刷物を構成する、それぞれの紙面。面。(83ページ)とほぼ同義。

六(64)

【名】紙重。又ヨハ 十ハヌ nuaswa

【名】ファイルサイズ。コンピュータにおけるデータの大きさ。

【名】澄。又ヨハ 上古 neng 後中 nang

【形】透明な。澄んだ。透き通った。クリアな。／光をよく透過させるような性質。

【名】澄。又ヨハ 上古 neng 後中 nang

【名】澄。又ヨハ 上古 neng 後中 nang

【名】澄。又ヨハ 上古 neng 後中 nang

【名】澄。又ヨハ 上古 neng 後中 nang

【名】澄。又ヨハ 上古 neng 後中 nang

【名】澄。又ヨハ 上古 neng 後中 nang

【名】澄。又ヨハ 上古 neng 後中 nang

【名】澄。又ヨハ 上古 neng 後中 nang

【名】澄。又ヨハ 上古 neng 後中 nang

【名】澄。又ヨハ 上古 neng 後中 nang

【名】澄。又ヨハ 上古 neng 後中 nang

【名】人。基本的な人権は尊重されなければならない。

【名】人。基本的な人権は尊重されなければならない。

【名】人。基本的な人権は尊重されなければならない。

【名】人。基本的な人権は尊重されなければならない。

【名】人。基本的な人権は尊重されなければならない。

【名】人。基本的な人権は尊重されなければならない。

【名】人。基本的な人権は尊重されなければならない。

【名】人。基本的な人権は尊重されなければならない。

【名】人。基本的な人権は尊重されなければならない。

【名】人。基本的な人権は尊重されなければならない。

【名】人。基本的な人権は尊重されなければならない。

【名】人。基本的な人権は尊重されなければならない。

【名】人。基本的な人権は尊重されなければならない。

【名】人。基本的な人権は尊重されなければならない。

と共に用いられ、仮定に当たる文に加えることで接続詞の意味を強調する。【例文】云音因听矣(云)「本当にその計画を実行するつもり。」

【云回】【固物】又モ 口 中 nuálkáo

【名】固体。ソリッド。／物質の状態の一つ。【関連語】平回(59 ページ) 凡回(33 ページ)

【云絆】【固跡】又モ 口 中 nuálkúa

【名】化石。／生物の古い死骸が、長い期間を掛けて硬化し地層中に残ったもの。

【云替買】【固燦瑠】又モ ヨ ト ヲロ nuálcáijá

【名】ダイヤモンド。

【云瘰】【固痘】又モ 土 小 nuálzá

【名】タコ。胼胝。マメ。肉刺。

【云么】【固心】又モ 又 キル nuálnés

【不及動】緊張する。張りつめる。ドキドキする。

【云畧吟】【固畧果】又モ 了ー ヲ 中 nuálmbháon

【名】かぼちゃ。南瓜。

【五】【巨】又モ 上 古 nels
6画 後 中 nahh

【数】12×12=10000000000(12)。【副】めっちゃ。めっちゃ。超絶。マジで。／良い意味悪い意味のどちらにも用いられる強調の語句。

【匹】148 【伴】又モ 上 古 nujs
6画 後 中 nuh

【前置】〜と。〜と一緒に。【副】〜だといひな。〜であれ。〜したい。／芒(182 ページ)は自身の行動など直接干渉できるものに対して意思を表すのに対し、匹(182 ページ)は将来の出来事など干渉できないものに対しての願いを表す。①〜しよう。ぜひ〜してください。②〜ませんか。／勧誘や要望を表す。【類語】芒(182 ページ)、米(167 ページ)【例文】匹芒(182 ページ)「戻ろう。」(後端 46:1)

【匹風々】【伴活穩】又モ ヲ ハ 十 凡 nuóbúwái

【感】じゃあね。またね。パイバイ。くだけた別れの挨拶。

【匹否否】【伴言倫】又モ ヲ ハ 又 ム ケ nuóbuntúo

【感】よろしくお願いします。

初めまして。初対面の人に呼びかける挨拶。

【又】391 【味】又モ 上 古 nup
10画 後 中 nup

【名】味。味覚。食べ物や飲み物の味。テイスト。【及動】味わう。味を感じる。賞味する。【例文】又合(又合)「又合(又合)として宇宙は、君は自分分を味わい、自分と話し、自分の符号を読む宇宙だと言った。」(後端 72:1)

了 m

凡

541 牛 了ト 上古 spjak
5画 後中 mbak

名 牛。主には家畜化された種を指す。

凡

牛乳 了ト 凡 matai 名 牛

乳。ミルク。【例文】狂マ煌マ煌マママ凡マ凡マ。

「小麦と牛乳からクッキーを作る。」

方

22 去 3画 了ト 上古 spar
後中 mbah

副 了トした。了トだった。了ト終えた。了ト過去、または完了を表す。形 直近の。前の。すぐ前の。時間的な過去を指す。名 ① 前。

くらしい前。具体的な時間を指す表現とともに用いて、過去の特定の時点を指す。② 前。その前。以前。／「時間的に」の前に意味する「石(8ペー)／金(2ペー)方(8ペー)」という表現中での用法。【対義語】水マ対(38ペー)【類語】狐(54ペー)、石(8ペー)【例文】憂マ谷マ方マ。凡マ从マ凡マ。【言語は変わった。我々は変わらな。】(後端 37:13)

方

去 了ト 方 makung

名 昨日。きのう。／前の日。話者がいる日より一つ前の日。【例文】新マ鮮マ日マ方マ。昨日、

財布を失くした。」

方

去 了ト 日中 magios

名 昨旬。去旬。前の旬。／旭曆における一つの旬を指す。

方

去 知 了ト 中 magai 感

なるほど。理解したときに使う言葉。【例文】方マ知マ。矣マ叱マ碗マ茶マ凡マ凡マ。なるほど、それは最初のコミュニケーション手段だ。(後端 12:1)

方

去 時 了ト 中 matua 名

くの前。前。以前。過去。／特定の時間より前に位置する部分を指す。【対義語】対マ時マ(38ペー)【例文】必マ天マ方マ可マ喝マ。石マ匪マ碗マ茶マ凡マ凡マ。方マ時マ。「プレイヤーたちはかつて声を聞いた。文字の書き方を覚えるよりも前だ。」(後端 9:1)

方

去 年 了ト 十凡 matwais

名 昨年。去年。前の年。／旭曆における一つの年を指す。

座

172 座 11画 了ト 上古 spep
後中 mbap

及動 座る。地面に腰を下ろす。不及動 ① 留

まる。待つ。止まる。滞在する。ステイする。

／一定時間に渡って一箇所に留まることを指す。② (物事が)うまくいく。成功する。【類語】奎(175ペー)【例文】必マ玄マ木マ凡マ凡マ。奎マ。

登。「私の弟にやらせると何でも上手に行く。」

座

去 座 了ト 凡 mayai 名

地位。身分。立場。身の丈。格。【例文】矣マ入マ凡マ。平マ去マ登マ凡マ方マ時マ。「そいつは以前より高いレベルにいる。」(後端 3:3)

弁

547 幹 7画 了ト 上古 spjan
後中 mbanh

名 ① 根本。基礎。主流。源。起源。② 幹。形 本来の。大本の。源の。／日用語として弁マ(17ペー)も多く使われる。前置 くに

基マいて。を基に。に則マて。に從マて。【類語】水マ互マ(14ペー)【例文】平マ玄マ凡マ凡マ。状マ崑マ弁マ凡マ。この家(の面積)は前の家の三倍の面積だ。」

弁

去 幹 了ト 日 manju

名 甥。姪。自分の兄か姉の子。【世界観】かつて界地域では、年上の兄弟が子を授けられなければ年下の兄弟にその子がやってくると思われていたため、自分の元に来る

た。慣れた。

【杔叩】【秋氏】アキキ ヌキキ meihai
古兵。老兵。古強者。

【杔所】【秋等】アキキ アケル meimio
秋分。恒星が秋分点を通過する日。

【猪】415【据】アフ 上古 spew
11 画 mo 後中 mbo

【及動】①SがOを口に一置く。設置する。配置する。位置を定めて置く。②SがO(金銭や言葉を根に対して)賭ける。賭する。／金銭などを担保にして勝負事で争うこと。【類語】【咥込】(40ペ)【例文】故口猪口ト半、必輝一玄。「カップは右側に置いてありますので、自由にお取りください。」

【猪回】【据物】アフ 口 中 mokiao
賞金。賞品。配当。払い戻し。見返り。懸賞金。利益。／賭けなどの争い事、大会、懸賞などで褒美として与えられる金銭や物品。転じて、ある行動や決断をすることを得られると予想される利益。【例文】狂忌二空ハ李半嵐吹市、因猪回吹大。「新たな計画は成功する確率が低いが見返りは大きい。」

【猪出脂】【据火弩】アフムトム 凡凡
mouangsai 名 火縄銃。事前に火種を作り配置する仕組みの銃。

【猪脂】【据弩】アフ 凡凡 mo'sai 名
大砲。大筒。キャンン。

【猪玢】【据魂】アフヌハチ monum
【不及動】Sが口を一知覚する。実感する。感じ取る。感知する。感じる。名 感覚。知覚。意識。【例文】疾猪猪玢凡凡、又空野四。「君は今、肌と目を通して我々を知覚している。」(後端 38.3)

【猪吟】【据隣】アフ アフ、 mo'mo
【及動】添える。付け合わせる。主体に付属させる。

【猪空】【据処】アフ 口 凡 moyai
【及動】場所を確保する。領有する。占有する。

【吟】171【隣】アフ 上古 spjaws
7 画 mo 後中 mbohi

【形】近い。近所の。そばの。前置 くの隣に。のそばに。【例文】林凡猪吟名后凶空、咲一玄。日尼将大凶空。「アリスは土手でお姉

さまのそばに座って、することが一つもないのでとても退屈し始めました。」(竹六 11)

【吟音】【隣句】アフ、 日中凡 mogios
【名】この前。先日。最近。【例文】凡輝凡吟猪果口吟音 李凶果。「私は先日の投票で8票獲得した。」

【吟翹】【隣臣】アフ、 土中 moze 名
側近。侍従。懷刀。愛弟子。助手。片腕。／主君のすぐ近くに仕えており、信頼されている部下。

【吟夕咽】【隣月声】アフ、 人フ、 土中
／ hioyowe 名 接近音。

【吟炊】【隣糊】アフ、 十中 movam
【不及動】密着する。くっつく。密接する。／物と物が触れ合うほど近くに寄っている様子を指す。互いに押し合っているかなどは含意しない。

【吟烘田覓】【隣糊目瑠】アフ、 十中
ア口ア 木ト movamkeja 名 コンタクト
レンズ。コンタクト。／目に直接被せて使用する視力矯正のための器具。【類語】田覓(

シユカード。【例文】受効宣示受効図。「クレジットカードを挿入してください。」

【受効図】【電機機】了了了 口巾 干

モーター。電動機。

【受効】【電機】了了了 口巾 干

ng 形 電動の電気動力の。

【受効九区】【電機力車】了了了 口

了了了 口巾 干 màinkànguàitē 名 電気自動車。

【受効】【電路】了了了 口巾 màinkuò

名 配線。結線。回路。／電子機器などを動かすために回路として構成された導線。平歯(59ページ)よりも技術用語としての側面が強い。

【受効】【電録】了了了 口巾 màinjào

データ。電子データ。コンピューター上で扱う電子的な情報。

【受効】【電引磁】了了了 口巾 干 màintékual 名 電磁石。

【受効】【電電】了了了 口巾 màintio

コ 名 電電。／現界におけるインターネットに相当する世界規模の情報通信網。インターネット。ウェブ。【関連語】効効(34ページ)

【受効】【電粒】了了了 口巾 màindū

コ 名 電子。エレクトロン。【例文】受入統統収(受効)受効(受効)受効(受効)。それは時々そのかからを「電子」や「陽子」と名付けた。(後端 53:5)

【受効】【電記】了了了 口巾 màincu

名 ウェブページ。サイト。

【受効】【電灯】了了了 口巾 màinpū

ang 名 (電気式)ライト。電灯。電気。

【受効】【電算機】了了了 口巾 干 màinhuà

に比較的小規模な計算を行う小型計算機を指す。コンピュータは受効(134ページ)と呼んで区別される。【類語】受現(134ページ)、効効(受効)

【受効】【電雷】了了了 口巾 màinhúo

ブザー。ピープ音。／電氣的に警星音や機械の通知音などを発する装置。

【受効】【電雷】了了了 口巾 màinsào

名 画面。ディスプレイなどに表示されている内容。

【受効】【電瓶】了了了 口巾 màinzūa

名 電池。バッテリー。

【受効】【電阻】了了了 口巾 màinzūa

名 電気抵抗。抵抗。【関連語】受効(134ページ)、受効(134ページ)

【受効】【電燐】了了了 口巾 màinfū

名 電気火花。火花。放電。【類語】効効(107ページ)

【受効】【電門】了了了 口巾 màinfū

名 電機。エレクトロード。【関連語】効効(145ページ)、効効(162ページ)

【受効】【電門】了了了 口巾 màinfū

名 電源スイッチ。ON・OFFスイッチ。

了了

【接】もしくならば。もしくだとすれば。ゝのときは。もし。仮に。万が一。／実現するかどうか不確実な未来の仮定、また現実と異なる過去や現在の仮定を前に置き、その結果を後に置く。実現する前提の条件を置く【羸(142バ)】との使い分けに注意。云(124バ)を伴って用いられることも多い。【類語】羸(142バ)【例文】巨羸云羸。啗于云。／もし仮に幽霊が出たら、すぐに引き返しなさい。」

【羸】【模真】アケ ヌーテ mûo'nim

【接】たとえゝしても。ゝしたとしても。仮にしても。／譲歩の接続詞。羸(136バ)と同様に仮定、後に結果を置く。【例文】状空丸、羸(136バ)常呈丸否。「私のことが嫌いになつても、私の言葉は忘れないでね。」

【羸】【痛】アケ 上古 mwuh
222 7画 mûo 後中 muh

【形】痛い。【不及動】負傷する。怪我する。傷つく。

【羸】【痛病】アケ ヲハヌ mûocûn

【名】怪我。ケガ。傷。外傷。負傷。

【羸】【許】アケ 上古 mjust
591 14画 mûo 後中 mut

【及動】SがOすることを根に対して「許可す

る。認める。許す。承認する。承諾する。／目上の者や特定の組織がある行為を許すこと。【不及動】SがOを「受け入れる。容認する。ゝと認識する。ゝと見なす。／特定のものに対して拒絶したり疑ったりせず、あるがままに受け取る行為。【類語】羸(137バ)

【羸】【容】アケ、口ト mûokûam

【及動】試験や面接などに合格させる。通過させる。クリアさせる。／学校や企業に入るための試験や、資格を得るための試験などで基準に達した者を認めること。試験に受かる」の意味で受け身の形が多く用いられる。【例文】丸耶羸(137バ)良老于本罷余。「私は最も行きたかった学校に合格した。」

【羸】【書】アケ、ハニエ mûo'sua

【及動】登録する。登記する。記録する。／主に公的な機関が、届け出などに基つて情報を台帳に記録すること。但し、Webサービスなどを利用するために登録することは単に(容(10バ))で表されることが多い。

【羸】【許通】アケ、ハニエ mûofân

【及動】許す。認める。通す。許可する。承認する。認証する。審査に通す。／羸(137バ)の

うち、特に行政を始めとする公的な機関が行うものを指す。【名】免許。許可。資格。ライセンス。証明書。／公的な機関が、普通は禁止されている行為に対して許しを与えたことを示す書類。【関連語】交羸(113バ)

【羸】【等】アケ 上古 musp
147 10画 mûos 後中 muns

【形】同じ。同一の。等しい。均等な。【副】も。も含めて。ゝであつても。【前置】しも。ゝも含めて。ゝと一緒に。【例文】吁(136バ)丸、玄(136バ)丸。／子供であつても、自らの自由な考えによつて行動するべきだ。」

【羸】【川】アケ 上古 mûosgallâsda

【名】正三角形。／三辺の長さが等しい三角形。

【羸】【等】アケ 上古 mûostâixembûos

【名】正十二面体。

【羸】【等】アケ 上古 mûostâilluxé

【名】正二十面体。

【羸】【等】アケ 上古 mûosti

【名】正四面体。

所羸羸

【皮動】分類する。

【師率】【等互】アケル ユヘテ mūsōba

一【形】互角の。伯仲した。同等の。同格の。

【師余磁】【等算律】アケル ユケン 日一 mūsōbiōgi 【名】等式。

【師図綫】【等方包】アケル 土ハム ユ mūsōtūngūhos 【名】立方体。正六面

体。【関連語】図綫(103ジベ) 【類語】師刀墨綫(138ジベ)

【師川墨綫】【等四平包】アケル ユ 凡 テキヤ ユケル mūsōfāxembūos 【名】正四面体。

【師論】【等斉】アケル 人トム mūsōva

【形】平等な。均等な。公平な。

【師規】【等同】アケル アハ mūsōmu

【形】平行な。パラレルの。／ユークリッド空間において直線を延長したときに、どこまでも交わらないような性質。【関連語】照舎(160ジベ)

【師刀墨綫】【等六平包】アケル 七 凡 テキヤ ユケル mūsōfāxembūos 【名】正六面体。立方体。【類語】師図綫(138ジベ)

【師刀墨綫】【等八平包】アケル 七 八 テキヤ ユケル mūsōfāxembūos 【名】正八面体。

【全】【卵】 380 画 アケム 上古 mung 後中 mung 【名】卵。たまご。エッグ。卵生生物の産むたまご。【例文】卵対狂金史(金史)金史。【母は朝食に卵を使ったおいしい料理を作ってくれます。】(ZpDc #)

【全卵】【卵柑】アケム ムハセ mūngitai

【名】レモン。檸檬。シトロ。枸櫞。【例文】川印大書舎、掲題全卵世説(石版)石版。【揚げ物にレモンを絞って掛けるかどうかについて二人が口論した。】

【全囚】【卵周】アケム ユケン mūngūfū

【名】卵白。白身。卵の外側の部分。

【全回】【卵史】アケム ヌヘ mūngūnā

【名】卵黄。黄身。卵の黄色い部分。

【来】 536 画 アケム 上古 mjung 後中 mung 【不及動】①浮く。浮かぶ。浮遊する。／水面や空中などを物体が移動することを指す。②急に現れる。突然出てくる。【形】①ぐらついた。不安定な。定まらない。②無所属の。無職の。フリーな。自由な。

【来冠】【浮働】アケム 凡 ム mūngk

【形】無職の。職なしの。失業した。二一トの。

【来砂】【浮知】アケム 凡 ム mūngq

【及動】①気付く。気がつく。感づく。思い出す。②閃く。察する。理解する。／今まで考えになかったものが直感的に思考と繋がることを指す。【例文】来砂 平次 破入 鳴真 幸宜 田。【この重要な法則に気づいた読者は、鋭い観察眼をお持ちだろう。】

【来平】【浮手】アケム ムヘ mūngt

【形】自由な。気ままな。気まぐれな。勝手な。奔放な。マイペースな。／私心(3ジベ)は制限がなく自由である様子を指すのに対して、来平(138ジベ)は周りの目や規則を気にせず自分の思うままに振る舞う様子を指す。

良いニュアンス、悪いニュアンスの両方で用いられる。【例文】^{トモ}咄^{トモ}咄^{トモ}飛^{トモ}飛^{トモ}半^{トモ}、^{トモ}旭^{トモ}天^{トモ}架^{トモ}瑛^{トモ}雲^{トモ}迷^{トモ}。『彼女はあまりに自由奔放なので、皆に少し迷惑に思われている。』

【来^{トモ}臨^{トモ}】【浮客】アケム ナツト ムンゴド

【名】旅人。放浪者。過客。バックパッカー。／一定の住居を持たず各地を転々としながら暮らす旅人。現代では単に「旅好きな人」という意味でも用いられる。

【来^{トモ}上^{トモ}吟^{トモ}】【浮上時】アケム セーハム

【形】^{トモ}muongingitua 【成句】Sが^{トモ}巫しながら一時間に浮かぶ。過す。暮らす。生活する。時間を費やす。月日を送る。／何かをしたり、ある場所にいたりしながら時間を費やすこと。【例文】^{トモ}来^{トモ}上^{トモ}吟^{トモ}巫^{トモ}破^{トモ}破^{トモ}、^{トモ}巫^{トモ}方^{トモ}停^{トモ}。『本を読みながら過こしていたら、日が暮れてしまった。』

【来^{トモ}炯^{トモ}】【浮開】アケム ナツト ムンゴウェ

【形】緊急の。非常の。変事の。／白^{トモ}眩^{トモ}(^{トモ}lɔɔɔ)は単に普段の様子と異なる状態を指す。対して来^{トモ}炯^{トモ}(^{トモ}lɔɔɔ)は、突発的に起こり、すぐに対処が必要な状態を指す。

【来^{トモ}炯^{トモ}出^{トモ}】【浮開出門】アケム ナツト

干^{トモ} □フヘム ケケヌ ムンゴウェkongfuan
【名】非常口。緊急出口。非常出口。

【来^{トモ}炯^{トモ}夏^{トモ}】【浮開事】アケム ナツト 日早

ムンゴウェゲ 【名】緊急事態。非常事態。変事。事件。事案。

【碎^{トモ}】【空】678 13画 アケム 上古 njui
miol 後中 muh

【形】①まっさらな。白紙の。空白の。プレーンの。生の。素の。／紙やキャンバスに何も書かれていない、また人の手が加わっていない様子。②邪念のない。純粹な。素直な。無邪気な。③可愛い。かわいい。あどけない。愛らしい。／子供や動物などの弱い存在を、愛らしく思う様子。

【碎^{トモ}小^{トモ}】【空山】アケム ナツル ムニダス

【名】自然。自然環境。野生。天然。／人の手が加わっていない自然環境。ここでの「小(44)」は自然の象徴として用いられているだけであるので、平原や海、砂漠の自然も含まれる。

【碎^{トモ}虫^{トモ}】【空軽】アケム ナツル ムニルカ

【形】無罪の。無実の。潔白の。無辜の。／責められるような罪を犯していない様子。

【碎^{トモ}紙^{トモ}】【空紙】アケム ナツル ムニルナ

【名】白紙。空欄。／何も書き込まれていない紙。

7
1

𡗗
 584【土】
 5画
 七木
 上古
 後中
 𡗗
 pjat
 'ah

名 労働者。勤め人。／日用語としては疋(一六)を指す。

接尾 (一六)が多く用いられる。

者 士。官。職人。／ある仕事を職業として専門的に行う者を指す。例えば、疋(一六)大(一六)は単に「車を運転している者」という意味に取られるが、疋(一六)大(一六)とすると「車を運転する職業に就いている者」を指すようになる。

199
【秒】
11画
上古 kleps
後中 'lap

名秒。一秒。／永球の計時単位の一つであり、0.836地球秒に相当する。永球の一日を103680等分したものととして定義される。

紮

135
【筋】
9画

las 七不允
後中 上古 kɿwans
'lash

名 ①筋。支え。②線。ライン。／細長く連続するもの。

例文 芋^{kin shio}石^{shi}臼^{hi}臼^{ka} 牽^{hiko}杖^{tsue} 尺^{chi}。

「もし白線以外を歩けばあなたは死ぬだろう。」

机 252
10画
lās 七木八
後中 上古
'lasp kijasp

机。デスク。テーブル。カウンター。台。

上半身の高さで使う様々な用途の台を指す。高さとは直接的には関係ないため、ちやぶ台など、座った状態で使う低い机もこれに該当する。

【関連語】**珓** (150ページ) 【例文】**飛飛**「**珓**」。「水入りのコップが机の上にある。」

【机脳】七木ハ口ハ、lāshǎ
名

賭博 【机楽】 七ヶへル 丁、lâyào
名 賭け事。ギャンブル。賭博。博打。／金銭
 を賭けて争う遊びの総称。【類語】 痞 (128頁)

659
【幕】
15画
lan
七ノ文
上古
後中
klwans
'lanh

名 ① 垂れ幕。暗幕。カーテン。帳。／上から垂れ下げて、人目や光などを遮るための布。
 ② 帽子。冠。王冠。被り物。／防寒や装飾のために頭につける衣服。また、貴族や旭天などが地位を示すために頭に被った装飾品。
 日用語としてはそれぞれ猶^{なほ}④(14ページ)、妹猶^{いもうと}(19ページ)が用いられることが多い。

緞衣 七ふえ 又千七 lánè

名 帽子。ハット。キャップ。被り物。防寒や
装飾のために頭につける衣服。鎭(140ページ)の
項も参照。

【幕整】七十又七十 lánlào 形

●一礼儀正しい。丁寧な。行儀の良い。／＼(140ページ)(二冠)と(146ページ)「整える」より、社会の規律をわきまえ、敬意を持つて他人に接するような気質の形容。●堅苦しい。格式張った。かしこまった。／＼前述の語義を悪いニュアンスで捉えたもの。必要以上に厳格で、窮屈に感じるような性質の形容。【例文】平(147ページ)「此等奇奇怪々皆礼儀正し。」この学校の学生は

采 646 【秀】 8画
le 七千之
後中 上古 plays
teh

形 Sが廬より規のことで優れている。秀でている。勝っている。より良い。適している。／ある視点で、特定の物が他の物よりも優れている様子。

采𠂔 秀倫 七千ノ 𠂔ノ létuo

【及動】 SがOを「得意とする。専門にする。」
八番である。／ある物事や分野で長け
たり、多くの知識を持っていたりすること。
【例文】 矢野龍渓は果敢と志願とで、新橋提灯。
その問題は私の得意分野だ。任せなさい。」

世 492 而 5画
le 古
後中 'let

後天的な練習や勉強に関係なく発揮できる生まれ持った能力や技術。

【五光】⁷【基善】⁷七々 三三 lén úas ^名

人道。道德。人倫。道義。／人として従うべき道。本来は木教用語だが、近代以降に語義が拡張された。

【策】⁶⁰⁷【埋】¹¹画 七フ 上古 plweks 後中 1ok

【不及動】①「Sが石に」埋まる。埋没する。埋もれる。沈む。潜る。潜り込む。／ある物が別の物の中に完全に入り込み、外部から見えなくなる。②「隙間を埋める」は燼(63ペ)で表されることに留意。③「亡くなる。死ぬ。没する。」「死ぬ」の遠回しな表現。公的な場面でも多く用いられる。【類語】尺(94ペ)、燼(63ペ)【例文】⁷策 尺 夙 至、⁷至 策 尺 燼 成 四。「彼は闇夜に紛れ、すぐに姿を消した。」

【策冊】⁷【埋羅道】⁷ 七フ 日ハ 日一

logan gim ^名 地下鉄。サブウェイ。メトロ。／地下のトンネルに敷かれた線路を通る鉄道。

【燼】⁵⁴⁹【泰】⁹画 七フ 上古 klaws 後中 1oh

【形】平和な。秩序ある。安全な。平安な。治安の良い。／多(19ペ)は病氣や憂いが無く平穏な状態を指すのに対し、燼(12ペ)は社会や集団の秩序が保たれており平和に治まっている状態を指す。

【燼】⁷【泰道】⁷ 七フ、日一 logim ^名

楼岑。楼岑州。ローギム。ロギム。／霧国を含む、大陸東部の地域を指す語。

【甲】⁸⁶【眠】⁷画 七フ、上古 plwet 後中 1ot

【不及動】眠る。寝る。【形】眠い。眠たい。【例文】⁷平 弘 至 夙 提 甲 尺 甲 平。「そろそろ布団で寝るのに良い時間ですよ。」

【甲全】⁷【眠庵】⁷ 七フ、ムハ lolang ^名

宿。ホテル。旅館。宿泊施設。

【甲和】⁷【眠食】⁷ 七フ、ヨ三 lobua ^名

あくび。欠伸。【不及動】あくびをする。欠伸をする。【世界観】霧地域では古来、眠気を主食とする悪魔が眠い人の口から眠気を吸い出そうと口を開けさせることで欠伸が起ると考えられていた為にこのような語が生まれた。

【甲全】⁷【眠床】⁷ 七フ、ア一 lo ming ^名

敷布団。布団。マットレス。／寝るときに床に直接敷く寝具。【関連語】縊(109ペ)、甲瑛(??ペ)

【甲全】⁷【眠巾】⁷ 七フ、リ一 loye ^名 布

団。寝具。／掛け布団と敷布団、つまり縊(109ペ)と甲全(142ペ)の総称。【例文】⁷平 弘 至 夙 提 甲 尺 甲 平。「そろそろ布団で寝るのに良い時間ですよ。」

【貢】⁶⁵⁸【冠】¹¹画 七フ、上古 klwens 後中 1onh

【接】くなら。の時に。のする。のした時は。の場合。のしたら。／話し手が実現するであろうと思っている未来の仮定、自分の意志で実現させる物事、普遍的な条件などを前に置き、それに対応する結果を後ろに置く。至(136ペ)は置かれた仮定が実現するかどうか分からないニュアンスを持つのにに対し、貢(142ペ)は実現することを前提に話を進めるニュアンスを持つ。【名】(arg)と読む帽子。冠。／縊(140ペ)の本字。本来はこれ象った文字であるが、現代ではこの意味では殆ど用いられない。【例文】⁷平 弘 至 夙 提 甲 尺 甲 平。「手を離すと物は垂直に落ちる。」

卓越した。高品質の。高級な。上等な。／物の程度や品質が容易に到達できないほど高い様子。専門的な学問や気品があつて洗練されている様子を形容する。【対義語】下竄（げせん）（162ページ）【例文】平定公策平李叙元下米平。玖可妄仄李一竄凶磁磁世玖急同嵐。このコミュニティには数学の天才がたくさんいるんだ。私は彼らの高度な討論を聞いてもさっぱり理解できないよ。」

上風 【上序】
 七一五 子一 lǐngbì
 形

前の。一つ前の。先の。【例文】平^{たい}分^{ぶん}呷^{はく}川^{せん}迷^{まい}状^{じょう}寛^{かん}命^{めい}一^{いつ}風^{ふう}分^{ぶん}。「この家（の面積）は前の家の三倍の面積だ。」

上奸 上母 【上母】 七一五 ㄊㄩㄣˋ ㄌㄩㄥˋ lǐngbù

名 祖母。おばあちゃん。

上端 七一_上 十一_上 lǐngzìng

名 上限。限界。最大。頂点。／物事のうち上側の限界。

上門 七一へ五 勺々へ又 lingfuo

133
ページ

ニ
名 (電極の) 正極。陽極。
関連語 受入 (

上求 七一五 人巾 lǐngváo

【成句】自由に。お好きに。好きなように。○勝
手に。○前置詞句として用いる。【例文】
勝手^{がらひ}に、^お好き^がに。○「カッパは右側に置
いてありますので、ご自由にお取りくださ
い。」

上 𠂇
【上幹】 七へ五 了又 lǐngmà

ニ **名** ①祖先。先祖。始祖。②根源。起源。
由来。来歴。由緒。／歴史的、また文化的な
意味での起源。

上策
【上数】
七十一
了
lǐngmǐs

名 正数。正の数。**対義語** 丁菜(162ジペー)

上栗 七^一八^五 七^一了 斗^一个

linglindiol 名 陽イオン。カチオン。

上 𠂇
【上】 𠂇 𠂇
Lǐnglúa

【及動】 報告する。告げる。上申する。告げ口する。通報する。／主に、立場が高い者に対してある内容を伝えることを指す。

上 五
【上爻】
七一へ五 二凡へ八
lǐng yāi

名 祖父。おじいちゃん。

𡗗
 287
 【架】
 8画
 上 古
 後 中
 𡗗
 𡗗

名 一橋。二 繋がり。つながり。関係。絆。
及動 関わる。交流する。／日用語としては
硫黄（83ページ）が多く用いられる。

架粒 セリ セリ Induol

名 イオン。離子。／電気を帯びた原子や基。

関連語 ー¹⁴⁵、ー¹⁶²

架二 【架氣】
七ー了
八一五
lín-sing

〔名〕 プラズマ。電漿。／主に加熱や磁場によつて生成する、電離した状態の気体。〔例文〕
 吾ハ今夕勿ヲ忍ビ廿廿百荒三不ヲ、提辺四不ヲ入刃致矣。「その星は自分の惑星を蒸発させてプラズマとし、そいつに一瞬でも見えるようにしたのかもしれない。」（後端の〇〇）

某人
 【架人】
 七一 只木 línhà
 名

友人。友達。仲のいい人。例文
トモ・トモダチ・ナカヨイヒト
 五可^{ゴカ}羞^{ハズカシ}匹^{ヒツ}荒入^{アライル}石^{イシ}墓^{ムリ}四^シ立^{タテ}多^タ。
 「休日の夜は友人と音楽を聴きながら過ごすのが好きです」(ZADIC #3)

𠂔

191
【八】
5画

𠂔 七
中 上
後 古
中 古
up
up

【類語】**罇**(172ページ)、**浴**(81ページ)、**否**(76ページ)
 【例文】**執罇田状** **司** **本** **入**。「私にはちようど君の言うプレイヤーが見えるぞ。」(後端 1:1)

【**司** **示**】**【日名】** 七三 一七モ **luajial**

【**及動**】SがOを根に「話しかける。語りかける。声を掛ける。誰何する。」人に呼びかけて会話を仕掛けること。また、一方的に語りかけること。【類語】**罇** **司** (11ページ) 【例文】**四** **委** **風** **世** **琰** **吟** **燧** **之**。 **平** **季** **亦** **委** **風** **規** **司** **示**。 「慶さんはいつも忙しそうに見える。今は話しかけられるタイミングでは無そうだった。」

【**司** **罇**】**【日報】** 七三 十ハモ **luawai**

【**名** **情報**】インフォメーション。知らせ。通知。ある物事について、人から伝えられたり人に伝えたりする内容。【例文】**紀** **矣** **入** **罇** **吟** **司** **示** **八**。「つまりそいつもまた、恒星からの情報だ。」(後端 52:2)

【**司** **慘**】**【日煙】** 七三 十凡モ **luawail**

【**名**】**狼煙**。のろし。① **合** **罇**。きつかけ。比喩的に用いられる。

【**司** **光**】**【日善】** 七三 三ハ **luatas**

【**不** **及動**】Sが根に「感謝する。お礼を言う。」

ありがたい物事に対してお礼を言うこと。
 【**克**】**【帝** **画** 289 七三 上ハ **luawap**
 後中 **lah**

【**名**】**王**。皇帝。大統領。首相。元首。国の最高権力者。

【**克** **众** **中** **台**】**【帝政輔患】** 七三 三ハ

モ **日** **ハ** **ハ** **ハ** **luapelo'sao** 【**名**】**君主主義**。

【**克** **众** **罇**】**【帝政國】** 七三 三ハ ヌハ

ヌ **luapelnun** 【**名**】**王国**。帝国。君主制国家。

【**克** **楓** **出**】**【帝灯火】** 七三 三ハ ヌハ

ヌ **luapungtang** 【**成句**】**王の灯し火**。門外不出。秘伝。内密。一子相伝。秘密。／外部に知られていない、限られた人々の間で伝わる技術や知識。転じて、世間に出すことが憚られるような事実や情報も指す。

【**台**】**【定** **画** 412 七三 上ハ **luat**
 後中 **lat**

【**名**】**基準**。標準。単位。人為的に定められた尺度。① **現** **界** **に** **お** **ける** **「** **リ** **テ** **ン** **」** **の** **音** **写** **の** **略**。【**及動**】**決** **め** **る**。**決** **定** **す**。決定する。決定する。副 **ち** **ゃ** **ん** **と**。しっかりと。正確に。正しく。

／道理から外れたり、規律を破ったりしない様子。**卑**(86ページ)とは異なり、「くまなく」のような意味は含まない。

【**台** **眾**】**【定字】** 七三 三ハ **luago** 【**名**】

ラテン文字。ラテンアルファベット。ローマ字。【**世界観**】**音** **写**。現界でのラテン文字。俗に言う「アルファベット」。

【**台** **否**】**【定言】** 七三 三ハ ヌハ **luahun**

【**名**】**ラテン語**。【**世界観**】**音** **写**。現界でのラテン語。

【**台** **琰**】**【定魂】** 七三 ヌハ **luahun**

【**不** **及動**】Sが根について「石と」決断する。判断する。決定する。結論づける。／ある事柄について評価や熟考をした上で、最終的な結論を出すこと。

【**台** **云**】**【定固】** 七三 ヌハ **luahun**

【**形**】**真面目な**。誠実な。頑固な。素直な。真摯な。初志貫徹の。／妥協や横着をせず、物事に対して真剣に向かう態度を指す。文脈によっては「融通が利かない」のような否定的なニュアンスを持つことがあるので注意。

【**類語**】**氷** **燈** (63ページ)

【旋】 689 12画 上古 lwian 後中 linh

【不及動】渦巻く。渦になる。旋風が起る。／
空気や水など、流体が渦を巻いて螺旋状に
流れること。【名】渦。渦巻き。螺旋。【及動】振
る。振り下ろす。スイングする。振る。つ。／剣
や斧など、棒状の物体を手握って振る動
作。

【蛇】 717 10画 上古 luanken

【名】竜巻。トルネード。つむじ風。辻風。／
渦を巻いて発生する、激しい突風を伴う気
象現象。

【籠】 717 10画 中古 luangan

【成句】一網打尽にする。根こそぎにする。
一括でまとめて。一気に。／大量に散らば
ったものを一気に処理すること。

【糸】 717 10画 上古 luanas

【名】ばね。バネ。スプリング。発条。／主に金
属製の線をらせん状に巻き、弾性を持たせ
た機械部品。

【螺】 717 10画 上古 luantam

【形】螺旋の。螺旋形の。

渦巻きの。スパイラル形状の。／文字通りに
は「ばね状」である。

【突】 35 8画 上古 lim 後中 linh

【名】リーダー。トップ。長。主任。／集団の中
で最も立場が高い人物を指す。国家の元首
は突(149)ではなく克(149)で表される
ため転写に惑わされないよう注意。

【突】 613 8画 上古 lwaw 後中 lu

【及動】①助ける。応援する。支援する。励ま
す。支持する。支える。／孤(217)が人を
元気づけること、孤(419)が人の仕事を
肩代わりして助けることを指すのに対し、
果(149)は人の行動を後ろから支えるこ
とを指す。言葉で応援したり、金銭や知識を
与えて助けるなどの行為が含まれる。②
SがOを根に「勧める。推奨する。推薦す
る。奨励する。おすすめる。」【名】票。得票。投
票。／札や挙手など、投票において候補の中
から何を選ぶかという意志を示すもの。助
数詞には件(70)が用いられる。【例文】
「私(149)は先日の投票で8票獲得した。」

【票】 717 10画 上古 luoku 後中 lu

【募】 717 10画 上古 luoku 後中 lu

【募】 717 10画 上古 luoku 後中 lu

金。寄付。寄付金。援助金。義援金。

【募】 717 10画 上古 luoku 後中 lu

【募】 717 10画 上古 luoku 後中 lu

【募】 717 10画 上古 luoku 後中 lu

【募】 717 10画 上古 luoku 後中 lu

【募】 717 10画 上古 luoku 後中 lu

【募】 717 10画 上古 luoku 後中 lu

【募】 717 10画 上古 luoku 後中 lu

【募】 717 10画 上古 luoku 後中 lu

【募】 717 10画 上古 luoku 後中 lu

【募】 717 10画 上古 luoku 後中 lu

【募】 717 10画 上古 luoku 後中 lu

【募】 717 10画 上古 luoku 後中 lu

【募】 717 10画 上古 luoku 後中 lu

名 妻。女性であるパートナー。

𠂔 628
【𩚑】
6画
𠂔 又 𠂔
上 古 skjan
後 中 xan

た、硬く尖った器官。**語成分** **突起。出っ張り。**

𪛗 **【角字】** 𪛗 口𠂇 𪛗 𠂇 **hango** **名**
漢字。真名。

【角麦】可又 𪎭 hànqū 名

大麦。

耶谷 【**角言**】
ヨコ又 ユハ又 hanbun

名 漢文。文言。／文語としての古典中国語。

【角笛】
カクフ 子ハ hanbue

名
角笛。

【角地】
 可_レ又 可_レフ
 hānho
 名

半島。岬。崎。／海や湖に向かって突き出した、三方を水に囲まれた土地。

699
哈
 13画
 he 口干
 後中 上下
 xe skye

ト。ハハハ。フハハ。あはは。／笑い声のオノマツカ

𢇛
297
【違】
10画
he 𠂔
後中 skaj's
xeh

及動 くを違える。く₁に反する。く₂に違反する。(規則を)破る。

罪。犯罪。非行。惡事。

悞倫 口干 𠵿个 hétúo 感

一般的な謝罪表現であり、主に対等な立場の相手に使われる。【例文】
平昔、厄恥致^ステ^ニ至^リテ^モ、困。【無茶】「今頃は予定が詰まってるから、そのパーティーには行けないんだ。ごめんね。」

【違則】
可乎 人乎
hécua

夙
201
【永】
7画
くすくす
héshàng
後上古
中skjets
xesh

く。【例文】**矣可碯巧对登夙吟**。—その物語は長い間語り継がれている。」

【永印】
口干 儿三 hēsúa

電子的なデータなどについて使われる。

【永代】
永久にわたる。ひきつらぬ。
マナシ
エラ
hēsyo

形 ① 不滅の。永生の。不死の。永續する。

【面】
口干へ上
skienok

のを指す。**例文** 忤死瓶帛墜入。「あの男は完全な悪者というわけではない。」

【彼篋】
可干へ 中 hengqi

代名 あんな。あのような。ああいった。あれくらい。／様子と程度の遠称代名詞。副 あれ

ほど。あんなに。あそこまで。あれだけ。

【芥平】【彼手】ロ千へム巾へム hengtiào

代名 あつち。あれ。あちら。／選択の遠称代名詞。少数の選択肢から選ぶ際に用いる。

【芥全】【彼処】ロ千へム 兀 hengqū

代名 あそこ。あちら。あつち。あの場所。

【豆】180【地】画 ロフへ 上古 skwep 後中 xop

名 ①地面。大地。②階層。フロア。／主に助数詞繼(183ジ)と共に用いられ、建物などのフロアを指す。【例文】平仄又冊繼豆本去余。「これは8階建てのビルだ。」

【豆步】【地債】ロフへ 豆ト hòguà

地震。地揺れ。

【豆步亮】【地債揺】ロフへ 豆ト 豆ト hòguàliàng

名 hòguàliàng 地震波。

【豆泉】【地温】ロフへ ム巾へム hòtuán

名 温泉。湧き出る熱水。

【豆風】【地霊】ロフへ ト巾へム hòdiū

名 幽霊。お化け。死者の霊。／風(182ジ)の

うち、特に死者の霊を指す。【例文】豆風云翳牽吟云吟。「もし仮に幽霊が出たら、すぐに引き返したい。」

【豆回】【地回】ロフへ 老千ト hòpéi

自転。／天体がその内部の回転軸を中心に回転する運動。【関連語】豆回(183ジ)

【豆伍】【地建】ロフへ 千千ト hòxés

及動 建設する。工事する。建てる。建築する。／建物や道路、ダムなど、建造物を作る作業の全般を指す。一度作った建造物の補修や改築などの作業も含まれる。【例文】豆伍平(184ジ)起回(185ジ)交軌白(186ジ)。「現在の道を工事しているため、通行止めです。他の道をお使いください。」

【豆兀】【地水】ロフへ 八フへ hòsò

湧き水。地下などから湧く水。

【豆兀】【地端】ロフへ ト千ト hòzìng

名 ①地平線。②水平。フラット。／兀(124ジ)や(131ジ)が体の向きを基準とするのに対し、こちらは重力方向と垂直に交わる方向を指す。【関連語】坪五(187ジ)

【豆旦】【地洞】ロフへ ト巾へム hòzàos

名 洞窟。洞穴。地中に存在する空間。

【豆亼】【地世】ロフへ ム巾 hòfúa

現界。この世。地球世界。現世。基底現実。／霧界と対比して、地球が位置しているこちら側の世界。

【豆父】【地丸】ロフへ 七千ト hòlíang

名 地球。アース。／現界の地球。漢語「地球」の翻訳借用から。

【豆父】【地丸日】ロフへ 七千ト 口ト hòlíangkuáng

名 地球太陽。太陽。／現界の太陽。

【豆父夕】【地丸月】ロフへ 七千ト 人ト hòlíangguó

名 地球月。月。太陰。ムーン。／現界の月。

【豆亼】【地廻】ロフへ ト千ト hòwáng

名 公転。／天体が別の天体を中心として回転する運動。【関連語】豆回(183ジ)

【豆風】【地季】ロフへ ト千ト hòwài

【建造】ローテ テキル himxés

【及動】制作する。製作する。造る。製造する。
／実体のある物事を、実際に行動を起こして作り上げる。／

【玄】173【做】画 ローヘ 上古 skilt
三 後中 xilt

【及動】する。行う。【例文】×齒善十、玄意米
畢。「年月は素早く過ぎ去り、することは多くあった。」(後端 3:4)

【玄咒】【做字】ローヘ 中フ hūgo 【名】

動詞。／零語における伝統的な品詞分類の1つ。

【玄櫃】【做鍵】ローヘ ロルテ hūjām

【不及動】「Sが木の」鍵を開ける。解錠する。鍵を開ける。開放する。

【玄櫃】【做錠】ローヘ 十ハル hūzús

【不及動】「Sが木の」鍵を掛ける。施錠する。ロックする。鍵を閉める。門を掛ける。

【玄玄】【做求】ローヘ 人中 hūváo

【及動】「SはOを」必要とする。要する。不可欠である。時間や金銭が掛かる。／ある物

事を行うのに、その要素が欠けてはならないということ。【例文】×倉八否、状痴状
玄玄 本倉回「そして宇宙は、君が必要とする全ての物は君が持っていると言った。」(後端 6:4)

【玄九】【做力】ローヘ 又ル hūnai

【名】エネルギー。／特に物理の文脈で、仕事を
をする能力を指す。【類語】九(123)【例文】
突入純吟 倉八本批概今現、要于今日
状态至日玄九格響。「そいつは時々宇宙
のモデルを頭の中で組み立てた。空っぽの広
い空間の中を行き交うエネルギーのかけら
として。」(後端 53:4)

【玄玄】【做能】ローヘ 十ハル hūvái

【名】機能。技能。力量。能力。性能。

【玄三】420【西】画 ローハ 上古 skuks
5 後中 xuk

【名】西。東の反対方向。灼陽が沈む方角。

【玄三豆】【西地】ローハ ロフ hūno 【名】

雲国から見た西方。列州やオルスワを指す。
【名】手のひら。【及動】叩く。打つ。／櫃(30)【

は傷つけることを目的に、石や拳などの固
いもので殴ることを指すのに対し、拱(156
ジ)は単に衝撃を与えることを指す。【接頭】
ぶち。激しくする。／「ぶち込む」や「ぶつ
た切る」のような、激しく瞬間的な動作の二
ュアンスを動詞に付け加える。公的な場面では
用いられない、口語的な表現であることに
留意せよ。【例文】拱 社 嚙 留 世 嚙 飯。「テレ
ジを叩いて治す。」

【拱叩】【掌符】ローハ ロハ hūku

【及動】ぶつ殺す。ぶち殺す。／叩(4)に接
辞拱(156)が付いた形。

【拱敲節】【掌奏具】ローハ 中ル 老凡

／hūgāipai 【名】打楽器。パーカッション。
ドラム。太鼓。／打撃によって音を出す楽器
の総称。

【拱櫃】【掌撃】ローハ ムト hūta

【不及動】「Sが木の」ぶん殴る。殴りつける。ぶ
つ叩く。／櫃(30)に接辞拱(156)が付いた
形。

【拱毆】【掌毆】ローハ ヌハ hūdu 【名】

グローブ。軍手。手袋。籠手。／汚れや負傷

また戦闘においては斬撃から手を守るために使われる、丈夫な布や革や金属で作られた頑丈な手袋。毛でできた防寒用の手袋は半袋(37ジ)と呼ばれる。

鉄拵【掌投】ロハ、グー hucil

及動 ぶん投げる。ぶつ飛ばす。かつ飛ばす。／造(57ジ)に接辞鉄(16ジ)が付いた形。

鉄叩【掌刃】ロハ、又ハ hūnā 及動

ぶつた切る。叩き切る。／叩(16ジ)に接辞鉄(16ジ)が付いた形。

汎【使】117 画 ロハ、上古 skup 後中 xup

及動 使う。使用する。前置くによって。／より。／句を形成して主語の代わりとして用いることが出来る。主に受動文の主語として使われる。【例文】汎汎矣。[「そのつ名前を使おう。」(後端 33:1)]

汎汎【使能】ロハ、ハハ hūwāl 名

権利。資格。特権。

鋼【浪】638 画 ロハ、上古 skusp 後中 xusp

名 波。波浪。ウェーブ。／自然現象としての波。つまり液体の表面に生じるうねり

を指す。①凸凹。凹凸。段差。起伏。高低差。／物体の表面の、不均二で出っ張ったり凹んだりしている部分。

鋼壳【浪海】ロハ、日 hūgūan

名 荒海。荒波。しけた海。／暴風雨などの中で、激しく襲いかかってくるような波が立っている海。

鉄【鉄】219 画 ロ中、上古 hwej 後中 ho

名 鉄。用途が幅広い固い金属。①鉄元素。／崑風(17ジ)の略。

崑風【鉄材】ロ中、ハハ hāojāim

名 鉄元素。②。

崑鉄【鉄瓶】ロ中、ハハ hāozuā 名

スチール缶。

風【風】179 画 ロ中、上古 hwevs 後中 hoH

接尾 くさん。く様。相手に使う敬称。代名 あなた。あなた様。貴殿。／目上の相手に対して使う二人称。【例文】風口、平心風本守空。「黙れ。蛙様の御前だぞ。」

風大【仁大】ロ中、中 hāoqēm

形 偉大な。

魁【硫】217 画 ロ中、上古 hweomp 後中 homp

名 硫黄。硫化物の鉱石。①硫黄。硫黄元素。／魁風(17ジ)の略。

魁風【硫材】ロ中、ハハ hāomjāi 名 硫黄。S。

福【福】295 画 ロハ、上古 hway 後中 he

形 幸せな。恵まれた。幸福な。名 幸福。幸運。／人の身に起る良い出来事。運命的なものか偶然かは含意しない。

喜【喜】93 画 ロハ、上古 hays 後中 heh

及動 喜ぶ。くを喜ぶ。形 おめでたい。

喜状【喜汝】ロハ、ハハ hāikūs

感 ちうそ。うらやま。／来客に対する歓迎の挨拶。来客が親しい人間であってもよく用いられる。[「へようこそ」という表現では喜状(17ジ)現(130ジ)卑(19ジ)、「喜状(17ジ)后(98ジ)」などの表現が多く使われる。

喜尙【喜尙】ロハ、ハハ hāijū 感 お

はよう。おはようございます。／目覚めてから最初に顔を合わせる人に対して用いる挨拶。この挨拶をされた人は嘸々嘸々(124ページ)という挨拶を返す。早い時間帯であっても寝起きでなければ挨拶には多風(179ページ)を用いるのが一般的である。

【喜伴慶】ロハ、ヌヘ、ヌハ

【感】おめでとう。おめでとう。／祝いの挨拶。相手の身に喜ばしいことがあったときに使う挨拶。目上から対等まで幅広く使える。

【喜夜】ロハ、七ハ、hai'iai 【感】

こんばんは。良い夜を。／主に夜の時間帯に使う挨拶。

【絞】362 画 ロハ、上古 hiesi
【後中 het】

【及動】力をかけて内容物を出す。絞る。【例文】川印入蜜杏：規、全、甘、結、石、果、采、下。／揚げ物にレモンを絞って掛けるかどうかについて二人が口論した。」

【絞平】ロハ、ニヘ、hai'iem

【及動】押しつぶす。ぺちゃんこにする。ひしべ。熨す。プレスする。平らにする。／物体に強

い力をかけて平たい形にする動作。【例文】日、飛、蜂、八、空、の、ペ、ット、ボ、ト、ル、は、潰、し、て、か、ら、捨、て、な、け、れ、ば、な、ら、な、い、。／

【絞結】ロハ、了、五、hai'muan

【及動】縛る。拘束する。固定する。糸などで巻いて動かないようにする。

【絞糖】ロハ、七、hai'li 【名】

●絞った蜜。●成果。実績。産物。結果。收穫。賜物。利益。／仕事や努力の末に得られた成果や利益。

【石】207 画 ロハ、上古 hiesp
【後中 hesp】

【名】石。岩。鉱物でできた固い素材。【例文】見、父、岩、又、丁、倉、夫、主、本、此、風、回、父。／溶けた石の球は、三十五万倍もの重さがあるガスの球の周りを回っていた。」(後端 41:2)

【石糸】ロハ、ユヘ、hai'shuo

【名】鉱物繊維。

【石筆】ロハ、ハ、ハ、hai'sia

【名】鉛筆。ペンシル。

【石床】ロハ、ハ、了、一、hai'smin

【名】石畳。敷石。石敷き。／地面に石を敷き詰めた庭や道などの場所。

【少】477 画 ロハ、上古 hien
【後中 hien】

【形】少ない。少量の。少しの。【副】少し。少しだけ。短い間。少しの間。【数】●幾らか。いくつ。か。少しの。／不確定であるが小さい数値を表す。一般的には「1」程度の数として認識される。●0.1。12分の1。【例文】平、后、果、堆。／「電車が数分でここに到着するだろう。」

【少貨】ロハ、ハ、hainku 【形】

安い。低価格な。安価な。低額な。

【少抛】ロハ、ハ、haincan

【前置】以下の。／語源的には「より小さい」であるが、基準を含んでそれより数量的に小さい範囲を指す。

【少隣】ロハ、了、一、hainmo

【副】すべし。まもなく。おつすべし。近く。【例文】平、后、果、堆。／「この電車はまもなく燦川駅に到着します。」

名 玼 𠂔𠂔
 胸。むね。胴体の前面上部。
名 ユリ。百合。
334 胸 𠂔𠂔へ又
 8画 上古
 hyon 後中
 hunt hunt

y

下 ³⁷ 下 _{2画} ㇿ 上古 yat 後中 yat

【名】下。前置 ㇿの下に。【例文】ㇿ下、ㇿ下、ㇿ下。「落ちる、落ちる、落ちる。」(竹六八二)

下 ⁴⁰ 下 _{2画} ㇿ 上古 yātā 下

【形】不調な。不振な。右肩下がりの。【対義語】一極(144ジベ)

下 ⁴¹ 下 _{2画} ㇿ 上古 yātā 下

午後。昼過ぎ。昼下がり。アフタヌーン。／正午から日の入りまで。吐(30ジベ)の一部と食(45ジベ)に跨る時間帯を指す。【世界観】霧界の時刻観念については、一吐(144ジベ)の項も参照。【関連語】一吐(144ジベ)、吐風(31ジベ)

下 ⁴² 下 _{2画} ㇿ 上古 yātā 下

【形】低級な。下等の。低レベルな。低品質な。低俗な。下品な。初歩的な。／物事の程度や品質が低い様子。序列の下の方に位置しているものや下品な様子。粗悪な製品などを形容する。【対義語】一宣(144ジベ)

下 ⁴³ 下 _{2画} ㇿ 上古 yātā 下

【形】低級な。下等の。低レベルな。低品質な。低俗な。下品な。初歩的な。／物事の程度や品質が低い様子。序列の下の方に位置しているものや下品な様子。粗悪な製品などを形容する。【対義語】一宣(144ジベ)

の。一つ後の。先の。

下 ⁴⁴ 下 _{2画} ㇿ 上古 yātā 下

【名】下。召使。下働き。／権力者の屋敷などで、家事や雑用を任せるために雇われた使用人。

下 ⁴⁵ 下 _{2画} ㇿ 上古 yātā 下

【名】下。召使。下働き。／権力者の屋敷などで、家事や雑用を任せるために雇われた使用人。

下 ⁴⁶ 下 _{2画} ㇿ 上古 yātā 下

【名】下。召使。下働き。／権力者の屋敷などで、家事や雑用を任せるために雇われた使用人。

下 ⁴⁷ 下 _{2画} ㇿ 上古 yātā 下

【名】下。召使。下働き。／権力者の屋敷などで、家事や雑用を任せるために雇われた使用人。

下 ⁴⁸ 下 _{2画} ㇿ 上古 yātā 下

【名】下。召使。下働き。／権力者の屋敷などで、家事や雑用を任せるために雇われた使用人。

【数】9(12)。ちゅう。

下 ⁴⁹ 下 _{2画} ㇿ 上古 yātā 下

【名】下。召使。下働き。／権力者の屋敷などで、家事や雑用を任せるために雇われた使用人。

下 ⁵⁰ 下 _{2画} ㇿ 上古 yātā 下

【名】下。召使。下働き。／権力者の屋敷などで、家事や雑用を任せるために雇われた使用人。

下 ⁵¹ 下 _{2画} ㇿ 上古 yātā 下

【名】下。召使。下働き。／権力者の屋敷などで、家事や雑用を任せるために雇われた使用人。

下 ⁵² 下 _{2画} ㇿ 上古 yātā 下

【名】下。召使。下働き。／権力者の屋敷などで、家事や雑用を任せるために雇われた使用人。

下 ⁵³ 下 _{2画} ㇿ 上古 yātā 下

【名】下。召使。下働き。／権力者の屋敷などで、家事や雑用を任せるために雇われた使用人。

下 ⁵⁴ 下 _{2画} ㇿ 上古 yātā 下

【指紋】ユフ ヴハ ユフト 名

矢印。方向表示。指印。【世界観】霧界において、方向を示すために最も一般的に用いられる記号は伸ばした指、またそれを抽象化した記号である。

【指廻】ユフ ヴハ ユフト 名

指輪。リング。

【内】ユフ ヴハ ユフト 名

内側。内部。内。【前置】〜の中で。【例文】

「長い夢に生まれ変わろう。」
(後端 36:8)

【内物】ユフ ヴハ ユフト 名

中身。内容。内容物。／あるものの内部に入っているもの。

【内帳】ユフ ヴハ ユフト 名

ファイル。紙をたくさん綴じておける用具。

【內衣】ユフ ヴハ ユフト 名

下着。肌着。インナー。【対義語】白秋(155)

【森】ユフ ヴハ ユフト 名

森。林。木がたくさん生えている場所。【例文】

「森は、木がたくさん生えている場所。この世界はそいつが作り出した自分の小さな世界にある。そしてそいつの住む世界を作ったのは……」(後端 52:4)

【森犬】ユフ ヴハ ユフト 名

狐。キツネ。

【追】ユフ ヴハ ユフト 名

〜として。次いで。続いて。〜で。／最も基本的な接続詞。主として時系列上で隣接する二つの文を繋げる時に用いられる。【助数】

〜回。繰り返される事象の数を表す。【助数】

【文法】本来は助詞として使われないが、「掛ける」の意味として使う場合には修飾構造にあるという認識が薄れているため、ここでは助詞とする。また「A追B」は「BがA倍」というニュアンスで順序が逆転していることに注意。【類語】

【例文】

氷が割れた。【例文】

簪

379 針 14画 上古 phekss
wā 後中 nggagk

名 針。はり。ピン。／裁縫や狩りなどに用いられる。先端を鋭く尖らせた道具。材質は問わない。及動 刺す。突き刺す。突き抜く。刺やる。類語 ＊柳 (46 ペ)

簪

10 針葉 10 十凡 wāwain

名 注射。針によって薬を投与する方法。

来

634 尖 10画 上古 ngjart
wā 後中 ngah

形 ① 尖った。鋭い。角張った。／物体の先が細くなっており、刺さりやすいような状態。② 辛い。スパイシーな。辛口の。／唐辛子や山葵などに代表される、激しく刺激的な味。名 ③ トゲ。棘。④ (動植物の) 針。毒針。／生物が自衛のために持つ針状の器官。種によっては毒を持つものもある。

来

10 尖筋 10 日ハ 七ト

名 有刺鉄線。バラ線。

来

10 尖果 10 子中 wābāon

名 スパイス。香辛料。香味。／金葱 (19 ペ)

が香り付けのための植物全般を指すのに対し、来吟 (19 ペ) はその中でも特に辛味がある香辛料の類を指す。

来

10 尖光 10 了ト wāmān

名 星形。星印。四芒星。／中心から尖った部分が多方向に伸びているような図形。永球では天体の星といえば四芒星がイメージされる文化圏が多いが、霧国では星が丸型で描かれることが多く、四芒星は眩しい光の表現として多く用いられる。

来

10 尖葱 10 十フ wāwóng

名 にんにく。大蒜。

来

686 郷 12画 上古 ngjark
wā 後中 ngah

名 村。人里。町。集落。聚落。／人が集まって生活を営んでいる共同体。音 (32 ペ) よりも小規模で、落ち着いた場所としてイメージされることが多い。現代的な町であっても小さなものはよくこの概念に含まれる。

来

10 郷田 10 一ト wācin

名 田舎。農村。里山。地方。／都市から離れており、田畑や自然が多く見られるようなのどかな地域。

啞

565 凝 9画 上古 pket
wā 後中 nggat

不及動 ① 固まる。硬化する。凝固する。硬直する。／柔らかいものや液体が固くなることを指す。② (筋肉が) 攣る。痙攣する。関連語 啞呷 (16 ペ)

啞

10 凝乳 10 人凡 wātai

チーズ。

啞

10 凝石 10 口凡 wāhāis

名 コンクリート。混凝土。

啞

18 赤 7画 上古 srwis
wās 後中 rhis

名 赤色。形 赤い。例文 多敗輝本于暗日 多敗輝本于暗日。りんごが好きな子供は、毎日母から赤いりんごをもらつ。(ZpDc (#4))

啞

10 赤路 10 口ケ wāskuo

動脈。関連語 虫細 (86 ペ)

啞

10 赤粒石 10 人 十ケ 口凡

名 花崗石。

啞

10 赤果 10 子中 wābāon

名 熟れた果実。熟した果実。果物。フルー

遊具として設置される、地面に砂を満たした遊び場。

三時 沙鰻 十不子 万二五 wànduà

界の穴子や鰐に似た海水魚で、海底近くやその砂の下に生息する。食用になる。

影彦 沙霞 十不子 壬午 壬午 wampes

形 ぼんやりした。曇った。ぼやけた。かすれた。ボケた。朧な。／くつきりしていない様子。鮮明でない様子。

影參眞

【沙霞瑠】 十木子 芝千儿 下

ト wámpésjà 名 曇りガラス。すりガラス。／裝飾に用いられる、表面を加工して透明度を下げたガラス。

三登 沙跨 十不兮 日兮 wànyu

三 **[名]** 砂浜。水際。ビーチ。汀渚。**[例文]** 浜辺で散歩しましょう。

好 121
6画 wam
後中 rhip

【及動】**好く・好む**／ある物事に対して魅力を感じること。恋愛感情は含意しない。

例文 功^{こう}を平^{へい}に^て入^いる。
「私はこのプレイヤーが

好きだ。」(後端5:1)

【好人】 十不 只不 wànha

〔名〕愛好家。マニア。〜好き。オタク。〜通。特定の事物を好んで趣味としている人。一般的に、その事物に精通しているというニュアンスが含まれる。

𠂔 175
 能 6画
 wài 外
 後中 ngai 古

副 ～できる。／可能である。／可能を表す文法的副詞。
才能【類語】米九(23頁) 【例文】突入(7) 必死(8)
双犬(9) 奮闘(10)。 「そいつは我々の考えることを見透かせるのだ。」(後端 34)

元 243
乙 5画
wài 十
後中 上古
rhail kjal

楚
B(12) 楚(11(10))

【名】 2【英】 wall 後中 ngilip
【名】 13【英】 後中 ngilip

広める。流布する。知らしめる。／特定の人
物に限らず、広範囲へ事柄を広めることを
指す。【類語】 蜀(147ページ)、牯(81ページ)

【報土】 十八ハチ 十三ミナ

ワルファ・ラ
名 アナウンサー。報道陣。二

ユースを伝える人。

【報兵】
 十々^へ七 又十^へ七 wânai

【名】伝令。使い。使者。伝令使。メッセンジャー。／軍隊や政治などで、意思決定された内容を伝達する者。

【報明】
十^へ七^七 又^八 wainu
名

宣言提言

乙午 所聞。所聞低。

107
開
7画
十

● 始まる。開始する。スタートする。

始める。開始相。例文
 奏入眉相針多。[子
 奏入眉相針多。[子

し、方¹を²来³な⁴か⁵、方⁶に⁷女⁸と⁹な¹⁰。』(行¹¹傳¹²
27:1)

𢇛 𢇜 𢇝 𢇞 𢇟 𢇠 𢇡 𢇢 𢇣 𢇤 𢇥 𢇦 𢇧 𢇨 𢇩 𢇪 𢇫 𢇬 𢇭 𢇮 𢇯 𢇰 𢇱 𢇲 𢇳 𢇴 𢇵 𢇶 𢇷 𢇸 𢇹 𢇺 𢇻 𢇼 𢇽 𢇾 𢇿 𢈀 𢈁 𢈂 𢈃 𢈄 𢈅 𢈆 𢈇 𢈈 𢈉 𢈊 𢈋 𢈌 𢈍 𢈎 𢈏 𢈐 𢈑 𢈒 𢈓 𢈔 𢈕 𢈖 𢈗 𢈘 𢈙 𢈚 𢈛 𢈜 𢈝 𢈞 𢈟 𢈠 𢈡 𢈢 𢈣 𢈤 𢈥 𢈦 𢈧 𢈨 𢈩 𢈪 𢈫 𢈬 𢈭 𢈮 𢈯 𢈰 𢈱 𢈲 𢈳 𢈴 𢈵 𢈶 𢈷 𢈸 𢈹 𢈺 𢈻 𢈼 𢈽 𢈾 𢈿 𢉀 𢉁 𢉂 𢉃 𢉄 𢉅 𢉆 𢉇 𢉈 𢉉 𢉊 𢉋 𢉌 𢉍 𢉎 𢉏 𢉐 𢉑 𢉒 𢉓 𢉔 𢉕 𢉖 𢉗 𢉘 𢉙 𢉚 𢉛 𢉜 𢉝 𢉞 𢉟 𢉠 𢉡 𢉢 𢉣 𢉤 𢉥 𢉦 𢉧 𢉨 𢉩 𢉪 𢉫 𢉬 𢉭 𢉮 𢉯 𢉰 𢉱 𢉲 𢉳 𢉴 𢉵 𢉶 𢉷 𢉸 𢉹 𢉺 𢉻 𢉼 𢉽 𢉾 𢉿 𢊀 𢊁 𢊂 𢊃 𢊄 𢊅 𢊆 𢊇 𢊈 𢊉 𢊊 𢊋 𢊌 𢊍 𢊎 𢊏 𢊐 𢊑 𢊒 𢊓 𢊔 𢊕 𢊖 𢊗 𢊘 𢊙 𢊚 𢊛 𢊜 𢊝 𢊞 𢊟 𢊠 𢊡 𢊢 𢊣 𢊤 𢊥 𢊦 𢊧 𢊨 𢊩 𢊪 𢊫 𢊬 𢊭 𢊮 𢊯 𢊰 𢊱 𢊲 𢊳 𢊴 𢊵 𢊶 𢊷 𢊸 𢊹 𢊺 𢊻 𢊼 𢊽 𢊾 𢊿 𢋀 𢋁 𢋂 𢋃 𢋄 𢋅 𢋆 𢋇 𢋈 𢋉 𢋊 𢋋 𢋌 𢋍 𢋎 𢋏 𢋐 𢋑 𢋒 𢋓 𢋔 𢋕 𢋖 𢋗 𢋘 𢋙 𢋚 𢋛 𢋜 𢋝 𢋞 𢋟 𢋠 𢋡 𢋢 𢋣 𢋤 𢋥 𢋦 𢋧 𢋨 𢋩 𢋪 𢋫 𢋬 𢋭 𢋮 𢋯 𢋰 𢋱 𢋲 𢋳 𢋴 𢋵 𢋶 𢋷 𢋸 𢋹 𢋺 𢋻 𢋼 𢋽 𢋾 𢋿 𢌀 𢌁 𢌂 𢌃 𢌄 𢌅 𢌆 𢌇 𢌈 𢌉 𢌊 𢌋 𢌌 𢌍 𢌎 𢌏 𢌐 𢌑 𢌒 𢌓 𢌔 𢌕 𢌖 𢌗 𢌘 𢌙 𢌚 𢌛 𢌜 𢌝 𢌞 𢌟 𢌠 𢌡 𢌢 𢌣 𢌤 𢌥 𢌦 𢌧 𢌨 𢌩 𢌪 𢌫 𢌬 𢌭 𢌮 𢌯 𢌰 𢌱 𢌲 𢌳 𢌴 𢌵 𢌶 𢌷 𢌸 𢌹 𢌺 𢌻 𢌼 𢌽 𢌾 𢌿 𢍀 𢍁 𢍂 𢍃 𢍄 𢍅 𢍆 𢍇 𢍈 𢍉 𢍊 𢍋 𢍌 𢍍 𢍎 𢍏 𢍐 𢍑 𢍒 𢍓 𢍔 𢍕 𢍖 𢍗 𢍘 𢍙 𢍚 𢍛 𢍜 𢍝 𢍞 𢍟 𢍠 𢍡 𢍢 𢍣 𢍤 𢍥 𢍦 𢍧 𢍨 𢍩 𢍪 𢍫 𢍬 𢍭 𢍮 𢍯 𢍰 𢍱 𢍲 𢍳 𢍴 𢍵 𢍶 𢍷 𢍸 𢍹 𢍺 𢍻 𢍼 𢍽 𢍾 𢍿 𢎀 𢎁 𢎂 𢎃 𢎄 𢎅 𢎆 𢎇 𢎈 𢎉 𢎊 𢎋 𢎌 𢎍 𢎎 𢎏 𢎐 𢎑 𢎒 𢎓 𢎔 𢎕 𢎖 𢎗 𢎘 𢎙 𢎚 𢎛 𢎜 𢎝 𢎞 𢎟 𢎠 𢎡 𢎢 𢎣 𢎤 𢎥 𢎦 𢎧 𢎨 𢎩 𢎪 𢎫 𢎬 𢎭 𢎮 𢎯 𢎰 𢎱 𢎲 𢎳 𢎴 𢎵 𢎶 𢎷 𢎸 𢎹 𢎺 𢎻 𢎼 𢎽 𢎾 𢎿 𢏀 𢏁 𢏂 𢏃 𢏄 𢏅 𢏆 𢏇 𢏈 𢏉 𢏊 𢏋 𢏌 𢏍 𢏎 𢏏 𢏐 𢏑 𢏒 𢏓 𢏔 𢏕 𢏖 𢏗 𢏘 𢏙 𢏚 𢏛 𢏜 𢏝 𢏞 𢏟 𢏠 𢏡 𢏢 𢏣 𢏤 𢏥 𢏦 𢏧 𢏨 𢏩 𢏪 𢏫 𢏬 𢏭 𢏮 𢏯 𢏰 𢏱 𢏲 𢏳 𢏴 𢏵 𢏶 𢏷 𢏸 𢏹 𢏺 𢏻 𢏼 𢏽 𢏾 𢏿 𢐀 𢐁 𢐂 𢐃 𢐄 𢐅 𢐆 𢐇 𢐈 𢐉 𢐊 𢐋 𢐌 𢐍 𢐎 𢐏 𢐐 𢐑 𢐒 𢐓 𢐔 𢐕 𢐖 𢐗 𢐘 𢐙 𢐚 𢐛 𢐜 𢐝 𢐞 𢐟 𢐠 𢐡 𢐢 𢐣 𢐤 𢐥 𢐦 𢐧 𢐨 𢐩 𢐪 𢐫 𢐬 𢐭 𢐮 𢐯 𢐰 𢐱 𢐲 𢐳 𢐴 𢐵 𢐶 𢐷 𢐸 𢐹 𢐺 𢐻 𢐼 𢐽 𢐾 𢐿 𢑀 𢑁 𢑂 𢑃 𢑄 𢑅 𢑆 𢑇 𢑈 𢑉 𢑊 𢑋 𢑌 𢑍 𢑎 𢑏 𢑐 𢑑 𢑒 𢑓 𢑔 𢑕 𢑖 𢑗 𢑘 𢑙 𢑚 𢑛 𢑜 𢑝 𢑞 𢑟 𢑠 𢑡 𢑢 𢑣 𢑤 𢑥 𢑦 𢑧 𢑨 𢑩 𢑪 𢑫 𢑬 𢑭 𢑮 𢑯 𢑰 𢑱 𢑲 𢑳 𢑴 𢑵 𢑶 𢑷 𢑸 𢑹 𢑺 𢑻 𢑼 𢑽 𢑾 𢑿 𢒀 𢒁 𢒂 𢒃 𢒄 𢒅 𢒆 𢒇 𢒈 𢒉 𢒊 𢒋 𢒌 𢒍 𢒎 𢒏 𢒐 𢒑 𢒒 𢒓 𢒔 𢒕 𢒖 𢒗 𢒘 𢒙 𢒚 𢒛 𢒜 𢒝 𢒞 𢒟 𢒠 𢒡 𢒢 𢒣 𢒤 𢒥 𢒦 𢒧 𢒨 𢒩 𢒪 𢒫 𢒬 𢒭 𢒮 𢒯 𢒰 𢒱 𢒲 𢒳 𢒴 𢒵 𢒶 𢒷 𢒸 𢒹 𢒺 𢒻 𢒼 𢒽 𢒾 𢒿 𢓀 𢓁 𢓂 𢓃 𢓄 𢓅 𢓆 𢓇 𢓈 𢓉 𢓊 𢓋 𢓌 𢓍 𢓎 𢓏 𢓐 𢓑 𢓒 𢓓 𢓔 𢓕 𢓖 𢓗 𢓘 𢓙 𢓚 𢓛 𢓜 𢓝 𢓞 𢓟 𢓠 𢓡 𢓢 𢓣 𢓤 𢓥 𢓦 𢓧 𢓨 𢓩 𢓪 𢓫 𢓬 𢓭 𢓮 𢓯 𢓰 𢓱 𢓲 𢓳 𢓴 𢓵 𢓶 𢓷 𢓸 𢓹 𢓺 𢓻 𢓼 𢓽 𢓾 𢓿 𢔀 𢔁 𢔂 𢔃 𢔄 𢔅 𢔆 𢔇 𢔈 𢔉 𢔊 𢔋 𢔌 𢔍

及動 動かす。起動する。作動させる。エンジン

械に動力を与え、実際に機能する状態にす

トウェアなどを作動させること。

例文 西条 西条 西条

イ 38 左 2画 十フ 上古 pkaw
wò 後中 ngso
【例文】Left hand is left hand, right hand is right hand. 左の北口を出て左に進む。」「駅

イ半 1 左手 十フ 中巾ハ wòtāos
【名】●左手。弓手。／本人から見て左側の手である。●左側。左方面。左の方。【関連語】ト半(112ページ)

丕 331 莖 6画 十フ 上古 swu
wò 後中 rhu
【名】莖。くき。植物の体を支える硬い組織。

廂 616 檻 16画 十フ 上古 ngus
wò 後中 ngui
【名】檻。かご。囲い。ケージ。箱。／動物や人間が逃げないように入れておく箱や部屋。

【例文】平硯又曰臺又曰牀。今臺合本廂。「この物語は危なくないやり方で、言語の檻の中に真実を含んでいる。」(後端 30:2)

廂 616 檻 16画 十フ 上古 ngus
wò 後中 ngui
【名】檻。かご。囲い。ケージ。箱。／動物や人間が逃げないように入れておく箱や部屋。

【例文】平硯又曰臺又曰牀。今臺合本廂。「この物語は危なくないやり方で、言語の檻の中に真実を含んでいる。」(後端 30:2)

廂 616 檻 16画 十フ 上古 ngus
wò 後中 ngui
【名】檻。かご。囲い。ケージ。箱。／動物や人間が逃げないように入れておく箱や部屋。

廂 616 檻 16画 十フ 上古 ngus
wò 後中 ngui
【名】檻。かご。囲い。ケージ。箱。／動物や人間が逃げないように入れておく箱や部屋。

廂 616 檻 16画 十フ 上古 ngus
wò 後中 ngui
【名】檻。かご。囲い。ケージ。箱。／動物や人間が逃げないように入れておく箱や部屋。

マ 151 脚 2画 十フ 上古 ngups
wò 後中 ngup
【名】脚。足首から股までの下半身。【例文】脚マ 収収。「その動物は脚が太い。」

マ収 1 脚衣 十フ 又キエ wònei
【名】スポン。下半身の外側に着る衣類。

マ齒 1 脚廻 十フ 十ハ wòwàng
【名】アンクレット。足輪。

収 361 吸 14画 十フ 上古 ngut
wò 後中 ngut
【不及動】吸う。吸い込む。息を吸う。【及動】吸収する。取り込む。外にあるものを中に含む。取り入れる。【例文】収収収。齒収収。瘡収収。「呼吸を交す。」「息を吸うんだ。今。もう一度吸おう。君の肺が空気で満たされるのを感じて。」(後端 36:1-3)

収 361 吸 14画 十フ 上古 ngut
wò 後中 ngut
【不及動】吸う。吸い込む。息を吸う。【及動】吸収する。取り込む。外にあるものを中に含む。取り入れる。【例文】収収収。齒収収。瘡収収。「呼吸を交す。」「息を吸うんだ。今。もう一度吸おう。君の肺が空気で満たされるのを感じて。」(後端 36:1-3)

収 361 吸 14画 十フ 上古 ngut
wò 後中 ngut
【不及動】吸う。吸い込む。息を吸う。【及動】吸収する。取り込む。外にあるものを中に含む。取り入れる。【例文】収収収。齒収収。瘡収収。「呼吸を交す。」「息を吸うんだ。今。もう一度吸おう。君の肺が空気で満たされるのを感じて。」(後端 36:1-3)

収 361 吸 14画 十フ 上古 ngut
wò 後中 ngut
【不及動】吸う。吸い込む。息を吸う。【及動】吸収する。取り込む。外にあるものを中に含む。取り入れる。【例文】収収収。齒収収。瘡収収。「呼吸を交す。」「息を吸うんだ。今。もう一度吸おう。君の肺が空気で満たされるのを感じて。」(後端 36:1-3)

収 361 吸 14画 十フ 上古 ngut
wò 後中 ngut
【不及動】吸う。吸い込む。息を吸う。【及動】吸収する。取り込む。外にあるものを中に含む。取り入れる。【例文】収収収。齒収収。瘡収収。「呼吸を交す。」「息を吸うんだ。今。もう一度吸おう。君の肺が空気で満たされるのを感じて。」(後端 36:1-3)

収 361 吸 14画 十フ 上古 ngut
wò 後中 ngut
【不及動】吸う。吸い込む。息を吸う。【及動】吸収する。取り込む。外にあるものを中に含む。取り入れる。【例文】収収収。齒収収。瘡収収。「呼吸を交す。」「息を吸うんだ。今。もう一度吸おう。君の肺が空気で満たされるのを感じて。」(後端 36:1-3)

収 361 吸 14画 十フ 上古 ngut
wò 後中 ngut
【不及動】吸う。吸い込む。息を吸う。【及動】吸収する。取り込む。外にあるものを中に含む。取り入れる。【例文】収収収。齒収収。瘡収収。「呼吸を交す。」「息を吸うんだ。今。もう一度吸おう。君の肺が空気で満たされるのを感じて。」(後端 36:1-3)

𧈧 601 葱 13画 十フ 上古 kwung
wóng 後中 rhung
【名】ユリ。百合。ネギ。葱。／ユリ科やネギ科

𧈧 601 葱 13画 十フ 上古 kwung
wóng 後中 rhung
【名】ユリ。百合。ネギ。葱。／ユリ科やネギ科

𧈧 601 葱 13画 十フ 上古 kwung
wóng 後中 rhung
【名】ユリ。百合。ネギ。葱。／ユリ科やネギ科

𧈧 601 葱 13画 十フ 上古 kwung
wóng 後中 rhung
【名】ユリ。百合。ネギ。葱。／ユリ科やネギ科

𧈧 601 葱 13画 十フ 上古 kwung
wóng 後中 rhung
【名】ユリ。百合。ネギ。葱。／ユリ科やネギ科

𧈧 601 葱 13画 十フ 上古 kwung
wóng 後中 rhung
【名】ユリ。百合。ネギ。葱。／ユリ科やネギ科

𧈧 601 葱 13画 十フ 上古 kwung
wóng 後中 rhung
【名】ユリ。百合。ネギ。葱。／ユリ科やネギ科

𧈧 601 葱 13画 十フ 上古 kwung
wóng 後中 rhung
【名】ユリ。百合。ネギ。葱。／ユリ科やネギ科

𧈧 601 葱 13画 十フ 上古 kwung
wóng 後中 rhung
【名】ユリ。百合。ネギ。葱。／ユリ科やネギ科

𧈧 601 葱 13画 十フ 上古 kwung
wóng 後中 rhung
【名】ユリ。百合。ネギ。葱。／ユリ科やネギ科

に属する植物の総称。【関連語】 眼燐(10ジ)、燐燐(17ジ)

【燐燐】【菊菜】 トフマロハヒ wóngiul

【名】ネギ。葱。オニオン。／燐(17ジ)の内、食用に栽培されるもの。

【燐】 696 【漢】 燐 15画 トフマ 上古 prjun 後中 rhun

【名】石英。水晶。クオーツ。／日用語としては燐(17ジ)が多く用いられる。また宝石としては燐(17ジ)と呼ばれることが多い。

【燐質】【瑛瑠】 トフマ ロト wóngja 【名】

水晶。クオーツ。クリスタル。／燐(17ジ)の中でも、特に透明度が高く宝石として珍重されるもの。

【燐風】【瑛材】 トフマ ロハヒ wóngiam

【名】ケイ素。珪素。Si。

【燐月】【瑛爪】 トフマ ルマ wóngsin

【名】ニチップ。集積回路。半導体チップ。／燐(17ジ)と同様に集積回路、またそれらを内蔵した電子部品そのものを指すより一般的な表現。報道等でもこちらが用いられることが多い。【形】 ハイテクの。電子の。

デジタルの。／日本語の「デジタル」と同様に、電子部品を内蔵したハイテク製品を全般的に指す表現。

【燐晃】【瑛石】 トフマ ロハヒ wónghais

【名】石英。水晶。クオーツ。／燐(17ジ)とほぼ同義。

【端】 674 【遠】 10画 トフマ 上古 pkvem 後中 ngom

【形】 ① 広大な。壮大な。莫大な。遙かな。巨大な。遠方の。／空間や規模が巨大、またある地点までが非常に遠い様子。② 途方もない。甚だしい。ひどい。著しい。凄まじい。とてもない。【副】 非常に。甚だ。ひどく。とても極めて。／程度が非常に大きい様子。または、単なる強調に用いる。

【端】 486 【和】 6画 トフマ 上古 ngum 後中 ngumhi

【不及動】 合う。一緒になる。くっつく。合体する。【名】 集まり。塊。集合体。複合体。／複数の部分が集まって一体になっているものを指す。【副】 もっと。更に。さらに。より。一層。

【類語】 ＊炊(17ジ) 【例文】 びんを合(17ジ)。(後端 5:11)

【端冊】【和羅】 トフマ ロハヒ wóngia

【不及動】 Sがびんと一連合する。団結する。協力する。【名】 連合。連盟。聯合。【例文】 びんを合(17ジ)。(後端 13:11)

【端】 674 【遠】 10画 トフマ 上古 pkvem 後中 ngom

【及動】 統一する。統べる。征服する。／複数の国や地域をまとめ上げることを指す。

【端】 674 【遠】 10画 トフマ 上古 pkvem 後中 ngom

【不及動】 増える。増加する。加わる。／端(19ジ)とほぼ同義。【形】 追加の。加わった。追加された。

【端】 674 【遠】 10画 トフマ 上古 pkvem 後中 ngom

【形】 同じ。一つの。等しい。揃った。均等な。／端(17ジ)は複数のものを比較して同一であることを指すが、端(17ジ)は複数のものが特定の性質に揃っている状態を指す。【類語】 揃(12ジ)

【端】 674 【遠】 10画 トフマ 上古 pkvem 後中 ngom

【数】 1。いち。【例文】 びんを合(17ジ)。(後端 5:11)

一 卯 二 終 十 ㄣ ㄨ ㄧㄣˊ 形 使
い捨ての。使い切りの。一度きりの。／一度使

用した時点で役目を終えることが想定され
た製品。【対義語】風形(152ページ)

一 倉 二 間 十 ㄣ ㄨ ㄢˊ 名 暫く
の間。しばらく。少しの間。当分の間。／短

くはないが、長いとも言えない幾らかの時
間。【形】しばらくの。一時的な。少しの間の。

【類語】卒一倉(165ページ)【例文】尸吼一倉【音】
憂。「死はただ少しの間の不都合に過ぎな
かった。」(後端 15:2)

一 片 二 片 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 一
一欠片。ひとかけ。【例】手本。見本。実例。

サンプル。／物事の説明を分かりやすくす
るために抜粋して示される、代表的な事例
を指す。

一 風 二 序 十 ㄣ ㄨ ㄒ 形 最初
の。初めの。先頭の。／順に並んだ物事や期

間のうち、一番最初に位置する要素を指す。

【副】初めて。最初に。初回に。／それまじにな
かった事柄が最初に起る様子。【類語】初

凡(173ページ)【対義語】卯風(40ページ)【例文】凡

一 風 四 平 ㄣ ㄨ ㄒ 形 一「こんなに黒いインクは
初めて見たよ。」

一 𠂔 二 指 十 ㄣ ㄨ ㄒ 形 僅
かな。わずかな。ほんの少しの。微量の。少な

い。【例文】私交今交必全一𠂔【音】𠂔
ムの僅かな時間の夢の中では無理だ。」(後端
15:4)

一 𠂔 二 哀 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggih
悲しむ。切なく思う。嘆く。悲嘆する。

【類語】𠂔【音】𠂔「でもその
長い夢の中では、時には悲しくなる。」(後端
18:1)

一 𠂔 二 交 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggit
【音】𠂔「交わる。交差する。」

【音】𠂔「交わる。交差する。」

一 𠂔 二 交 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggit
【音】𠂔「交わる。交差する。」

一 𠂔 二 交 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggit
【音】𠂔「交わる。交差する。」

一 𠂔 二 交 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggit
【音】𠂔「交わる。交差する。」

一 𠂔 二 交 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggit
【音】𠂔「交わる。交差する。」

す。【例】背が高い。大柄な。上に長い。／人の
背丈や建物などが上に長い様子。【例】身

分が高い。高貴な。【対義語】𠂔(17ページ)、𠂔(9
ページ)、𠂔(165ページ)【例文】𠂔入𠂔𠂔𠂔左𠂔全。

「そいつはまだ最高のレベルには達していな
い。」(後端 15:2)

一 𠂔 二 高 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggit
【音】𠂔「交わる。交差する。」

一 𠂔 二 高 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggit
【音】𠂔「交わる。交差する。」

一 𠂔 二 高 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggit
【音】𠂔「交わる。交差する。」

一 𠂔 二 高 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggit
【音】𠂔「交わる。交差する。」

一 𠂔 二 高 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggit
【音】𠂔「交わる。交差する。」

一 𠂔 二 高 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggit
【音】𠂔「交わる。交差する。」

一 𠂔 二 高 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggit
【音】𠂔「交わる。交差する。」

一 𠂔 二 高 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggit
【音】𠂔「交わる。交差する。」

一 𠂔 二 高 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggit
【音】𠂔「交わる。交差する。」

一 𠂔 二 高 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggit
【音】𠂔「交わる。交差する。」

一 𠂔 二 高 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggit
【音】𠂔「交わる。交差する。」

一 𠂔 二 高 十 ㄣ ㄨ ㄒ 名 後中 nggit
【音】𠂔「交わる。交差する。」

ばざるが如し。」

𪛗𪛗【溢日】 ヨモ □ 𪛗 ualkiang

〔名〕閏日。うるう日。閏。〔世界観〕旭曆において、永球の公転周期が59030日であることによるズレを補正するため36年に一度設けられる日。年の56日目として設けられる。〔関連語〕大𪛗𪛗(21ページ)

𪛗𪛗【溢浸】 ヨモ ヨモ 𪛗 ualhai 〔名〕

洪水。氾濫。浸水。〔不及動〕●(川が)氾濫する。溢れる。●(土地が)浸水する。冠水する。

𪛗𪛗【溢熱】 ヨモ 𪛗 ualsuo

〔不及動〕過熱する。オーバーヒートする。機械の内部などで温度が異常に上昇し、動作不良をきたすような状態。